

平成24年 (2012年)

# 久米島町議会会議録

第3回定例会 (6月13日～14日)

2日間

久米島町議会

# 目 次

目 次	I
平成24年第3回久米島町議会定例会会期日程	III
平成24年第3回定例会一般質問通告一覧表	IV

## 〈平成24年第3回久米島町議会定例会（6月13日）〉

### 第1号（6月13日）

出席議員	1
議事日程第1号	2
開会	3
日程第1 会議録署名議員の指名	3
日程第2 会期の決定	3
日程第3 議長諸般の報告	3
日程第4 一般質問	3
散会	70

## 〈平成24年第3回久米島町議会定例会（6月14日）〉

### 第2号（6月14日）

出席議員	73
議事日程第2号	74
開会	75
日程第1 会議録署名議員の指名	75
日程第2 承認第1号 専決処分（久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例） の承認を求めることについて	75
日程第3 承認第2号 専決処分（久米島町税条例の一部を改正する条例）の承認を求 めることについて	76
日程第4 承認第3号 専決処分（久米島町固定資産税の課税免除の特例に関する条例 の一部を改正する条例）の承認を求めることについて	77
日程第5 承認第4号 専決処分（平成24年度久米島町一般会計補正予算（第1号）の承認 を求めることについて	78
日程第6 議案第24号 久米島町課設置条例の一部を改正する条例について	81
日程第7 議案第25号 久米島町火災予防条例の一部を改正する条例について	82

日程第 8	議案第26号	久米島町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する 条例について	83
日程第 9	議案第27号	久米島町手数料徴収条例の一部を改正する条例について	84
日程第10	議案第28号	久米島町暴力団排除条例の一部を改正する条例について	84
日程第11	議案第29号	久米島町墓地等の経営の許可等に関する条例の制定について	85
日程第12	議案第30号	平成24年度久米島町一般会計補正予算（第2号）について	88
日程第13	議案第31号	平成24年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第1号） について	104
日程第14	同意第2号	久米島町固定資産評価審査委員会委員の選任について	106
日程第15	同意第3号	教育委員会委員の任命について	107
日程第16	報告第1号	平成23年度久米島町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告に ついて	108
	閉会		109

## 平成24年第3回久米島町議会定例会 会期日程

開 会      平成24年6月13日（水）  
 閉 会      平成24年6月14日（木）      会期2日間

月 日	曜日	会議別	開議時刻	摘 要																					
6月13日	水	本会議	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開会</li> <li>○ 会議録署名議員の指名</li> <li>○ 会期の決定</li> <li>○ 議長諸般の報告</li> <li>○ 一般質問</li> </ul>																					
6月14日	木	本会議	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開議</li> <li>○ 会議録署名議員の指名</li> <li>○ 議案審議                             <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>承認第1号</td> <td>承認第2号</td> <td>承認第3号</td> </tr> <tr> <td>承認第4号</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>議案第24号</td> <td>議案第25号</td> <td>議案第26号</td> </tr> <tr> <td>議案第27号</td> <td>議案第28号</td> <td>議案第29号</td> </tr> <tr> <td>議案第30号</td> <td>議案第31号</td> <td></td> </tr> <tr> <td>同意第2号</td> <td>同意第3号</td> <td></td> </tr> <tr> <td>報告第1号</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </li> <li>○ 閉会</li> </ul>	承認第1号	承認第2号	承認第3号	承認第4号			議案第24号	議案第25号	議案第26号	議案第27号	議案第28号	議案第29号	議案第30号	議案第31号		同意第2号	同意第3号		報告第1号		
承認第1号	承認第2号	承認第3号																							
承認第4号																									
議案第24号	議案第25号	議案第26号																							
議案第27号	議案第28号	議案第29号																							
議案第30号	議案第31号																								
同意第2号	同意第3号																								
報告第1号																									

## 平成24年第3回定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	頁
1	翁長学議員	1. 農家への支援策と、観光産業に対する支援	3p～9p
2	幸地猛議員	1. 総合運動公園等の整備について 2. イーフビーチの管理について 3. 農業の振興について 4. 太陽光発電の推進について 5. 公衆トイレについて	9p～17p
3	棚原哲也議員	1. 高速船の早期導入に向けて検討委員会の設置と関係機関との協議を早急にせよ 2. 県道の未整備区間の早期整備と子供たちを事故から守るための対策を問う 3. 観光施設の安全対策を早急にせよ	17p～23p
4	玉城安雄議員	1. 中学校統廃合について 2. 久米島一周線（儀間～真我里間）の歩道及び街灯の整備について 3. 一般質問の検討事項の報告について	23p～29p
5	宇江原総清議員	1. 鳥島射爆撃場の早期返還について 2. コンクリート護岸の撤去と、これに伴う潮害防備保安林等の植栽について（河川を含む） 3. 沖縄角力協会久米島支部への助成増額について	29p～39p
6	仲村昌慧議員	1. 持ち家手当について 2. ショウキズイセンの群落について	39p～44p
7	安村達明議員	1. 久米アイランド前の道路整備について 2. 鳥害について	44p～49p
8	平良義徳議員	1. 椎名川の倒木の除去について	49p～52p
9	島袋完英議員	1. 兼城港から県道バイパスまでの新道路建設について 2. 字兼城（新城整備工場前）から字大田（久米島総業前）までの、歩道建設について 3. 大田橋の移設保存について 4. 町営遊技場（パチンコ・スロット）の建設を 5. 格安航空会社（LCC）の誘致委員会の結成を	52p～59p
10	喜久村等議員	1. 区長手当（業務委託）の見直し及び区長会長手当について	59p～61p
11	崎村正明議員	1. 中学校統廃合の進捗状況について	61p～66p
12	饒平名智弘議員	1. 久米島町職員受験資格について 2. イーフ・銭田地区について	66p～70p

平成24年（2012年）

## 第3回久米島町議会定例会

1 日 目

6 月 13 日

平成24年第3回久米島町議会定例会

会議録 第1号

招集年月日	平成24年6月13日（水曜日）			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開散会日時 及び宣言	開会	6月13日 午前10時00分	議長	喜久里 猛
	散会	6月13日 午後5時05分	議長	喜久里 猛
応招議員 出席議員  出席14名 欠席0名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	棚原 哲也	8番	島袋 完英
	2番	幸地 猛	9番	崎村 正明
	3番	平良 義徳	10番	饒平名 智弘
	4番	翁 長 学	11番	山里 昌輝
	5番	宇江原 総清	12番	仲村 昌慧
	6番	安村 達明	13番	玉城 安雄
	7番	喜久村 等	14番	喜久里 猛
(不応招) 欠席議員				
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番		番	
会議録署名議員	11番	山里 昌輝	12番	仲村 昌慧
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	桃原 秀雄		
	書記	大城 良乃		
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	平良 朝幸	教育課長	保久村 学	
副町長	大田 治雄	環境保全課長	佐久田 等	
教育長	比嘉 隆	建設課長	盛本 實	
総務課長	仲村渠 一男	産業振興課長	平良 朝幸	
町民課長	真栄平 建正	農業委員会事務局長	上江洲 勝志	
プロジェクト推進室長	中村 幸雄	上下水道課長	又吉 敏雄	
税務課長	田端 智	消防長	上里 浩	
福祉課長	山城 保雄	行政改革推進室長	平田 明	
会計管理者	仲地 泰			





(午前 10時00分 開議)

○ 議長 喜久里猛

おはようございます。ただいまから平成24年第3回久米島町議会定例会を開会します。

本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 喜久里猛

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、11番山里昌輝議員、12番仲村昌慧議員を指名します。

日程第2 会期の決定

○ 議長 喜久里猛

日程第2、会期の決定を行います。

お諮りします。本定例会の会期は本日6月13日と6月14日の2日間としたいと思います。

ご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしと認めます。従って会期は本日6月13日と6月14日の2日間に決定しました。

日程第3 議長諸般の報告

○ 議長 喜久里猛

日程第3、議長諸般の報告を行います。

平成24年3月24日から私が出席しました会議等の内容をお手元に配布してありますので、ご覧になっていただきたいと思います。

次に、地方自治法第235条の2第3項の規定により、例月現金出納検査の結果をお手元

に配布してあります。朗読は省略します。

次に、町長から平成24年3月以降の町政一般報告書が別紙のとおりありましたので、お手元に配布してあります。朗読は省略いたします。

これで諸般の報告を終わります。

日程第4 一般質問

○ 議長 喜久里猛

日程第4、ただいまから一般質問を行います。一般質問の時間は会議規則第56条の第1項の規定によってこれまでどおり30分以内とします。それでは順次発言を許します。

4番翁長学議員。

(翁長学議員登壇)

○ 4番 翁長学議員

おはようございます。4番翁長です。私は農家と観光に対しての質問をいたします。質問事項、農家への支援策とそして観光産業に対しての支援。

1、今期の製糖は過去最悪の収穫量でした。町としての支援策はそして、他の農作物に対してもです。

2番、低迷する観光入客数に対して、町としてどう対応しているのか伺いたいです。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

おはようございます。4番翁長学議員の質問にお答えいたします。農家への支援策について、今、製糖期は昨年低温日照不足や5月の台風によりサトウキビ生産実績が前年対比で43%も減収し、過去最低の35,300トンとなり大変厳しい状況にあります。町としては、

引き続き病害虫対策や農業共済組合加入促進に力を入れていきたいと考えています。

また、全体的な支援としては、地力増進を図るために堆肥購入価格の支援策を図っていききたいと考えております。

観光入域者数の増加対策についても引き続き観光協会や関係団体と連携を図りながら誘客宣伝活動に力を入れていきたいと考えております。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

まず最初に農業関係に対して質問させていただきます。今、町長からの答弁でサトウキビの収穫が過去最低の35,000トン台と久米島における農家の個数が一番多いのがサトウキビ産業です。このトン数を見ると各農家の収入減がサトウキビを中心とした収入が多いと思います。町として農家に対する支援策ということで、今、堆肥の購入支援とかいろいろ考えていると思います。農業共済もそうなのですが、以前に予算委員会の中でも私が質問した中で農業共済なのですが、やはりこういう時期、この不作の時に一番大事なのが農業共済ですよね、この農業共済、今年農家の皆さんが災害給付金ですか、そういうのはどういう状況でしょうか。ほとんどの農家がこの共済の恩典を受けるのか、そこからちょっと聞きたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

農業共済については、今、共済組合の方が現地の確認をして、その調査をやっていると

ころですので具体的な数字とか内容については、これからということになります。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

共済のこの算定は、これからということなのですが、もう来期の生産に対しての共済の受け入れはもうやっていると思うんですが、来期に向けての共済の申込加入数はどのようなものでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

来期の申込についても、まだ数字はこれからということになります。今、共済組合の職員、また関係者、一緒になってOCR調査の中で共済の制度の内容の説明をしながら確実に共済加入するよとということ、その取り組みを今やっている最中です。できるだけ共済加入者が増えるように町としても取り組んでいきたいと思っています。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

町としてもやはり農家の皆さんの収入減の時の対策として、この共済を加入促進をやってほしいと思います。そしてこの共済額3月の24年度の予算審議の中で足りなければ、農家数が多ければ補正で補うということで金額がその予算額をオーバーすると補うというそれは大丈夫ですね。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

農業共済の農家負担分の掛け金の助成につ

いては35%従来やっております。これを堅持して進めていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

支援策として、肥料の支援を図っていくと回答を受けましたが、それと他にいろいろな農薬補助とかありますよね。その補助を受ける場合、現在、町の税金ですよね。税金を納めない方々に関しては、該当しないという厳しい約束ごとがありますよね。今年こういう状態であるので、ぜひ、農家の皆さんがまず役場に来て税務課に来て納めることが出来れば、その時点で相談して税金を納めていない方にも多少の補助を受けられる方法はないでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

この件についても、課内でもこの分は検討すべきじゃないかなということで、やっているところではありますが、これはまた町の方針としての税金の納税義務の推進もありますので、そこらへんの兼ね合いも考えながら、検討をしていく必要があると思っております。

これからまた病虫害防除対策でイネヨトウの問題が緊急課題として上がってきて、これは一斉防除しないとこれは大変厳しい状況だということですね。この分については納税の確認の免除はするということで確認をして取り組んでおります。他のものについては、これから検討課題に上げていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

町の約束ごととして、滞納している方には、補助事業の恩典がないというのは分かっております。しかしながら、こういう状態であるので、こういう恩典も受けられるように、ちょっと配慮してほしいと思っております。

税務課長に伺いますが、窓口に個人が、相談が来れば何らかの考えはあるのでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

田端智税務課長。

○ 税務課長 田端智

こういった不作によって農家の収入が減となったときには、申告によって、そのへんの調整もできると思っております。

町も、収入減に対応した減免措置ということも検討して設けてある部分もありますので、そのへんまたやっていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

ぜひ、農家の生活が出来るように町としてもバックアップしてほしいと思っております。そしてサトウキビの他に野菜とかハウス施設、去った4月19日の夜から20日の朝にかけてすごい集中豪雨がありました。嘉手苅地区の椎名土地改良地区の施設がだいぶ冠水受けたと聞いておりますが、そういう他の農作物に対しても何か助成とかあるのでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

今のところそういった一部の分部については、町としては考えておりません。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

この町の恩典というのは、今サトウキビがそういう恩典、農薬の補助とかそういうのを受けているような感じがいたしますので、他作物に関しても町として農家の支援をよろしくお願ひしたいと思います。農家に対しての支援策に対しては、ぜひ町民が安心できるように町として農家の救済措置をぜひ図ってもらいたいと思います。1点目の質問を終わります。

続きまして2点目、観光客の産業に対しての支援ということで、質問させていただきます。観光に対しては、いろいろ町の方が後手後手に回っていると私は感じております。J T Aの減便ですよね。小型化になったR A Cに代えて以降、そして今あじま一館が休館しておりますよね。そういう対策として、観光に対しての取り組みが町としては、後手に回っているのではないかと思うんですが、その方はどうでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

観光振興については、観光協会を中心に動いているんですが、最初に関係団体ともいろんな協議というか連携取りながら今進めております。特に誘客活動については、今、関係団体揃って本土の各観光地の誘客に動いております。

それと今回は一括交付金も含めて、予算的にも約6千万円の予算も計上して、これから観光ピーアール、受入態勢、事務局態勢、そして観光の実態調査とかいろんな対策をこれから打っていこうということ、一緒にそれを連携しながら取り組んで行くということにな

っております。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

町としても観光協会に対して、毎年多額の助成金を観光協会に提供しております。この観光協会の誘客の活動に対しても何かあまり目に見えていないものが多いと思います。活動として観光協会ではどういう取り組みをやっているのか、協会長としての副長町の答弁を頂きたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄副町長。

○ 副町長 大田治雄

ただいまの担当課長より説明がありましたが、下期の誘客キャンペーンにおいては、去る月曜日より6名1組で、西日本、今ちょうど行っている最中でありまして。そして、来る日曜日から東日本については、同じく6名1組で各ホテルのGM他J T Aの支店長も一緒に70社、これを毎年、年に2回をこういうキャンペーンということで企画書を持って、それぞれのエージェントで約30分ぐらいプレゼンをします。そういうかたちで毎年、年に2回は実施しております。例えば球美ブックの説明をすとか、年間に何々事業、イベントをもつというようなかたちで、それぞれ資料を持って説明しております。これを持って、この資料をそれぞれのエージェントが独自のホームページに展開させて誘客をするわけですね。それが最近では従来のやり方では、ちょっと変わってきてまして、ほとんどがインターネット予約、エージェントを通さずに独自で予約をするというのが最近形態として変わってきているようです。それで各エージェント

は苦戦しているようであります。

もう一点、去年の3.11以降についても修学旅行とか団体が東日本からは沖縄、久米島あたりには激減してます。そして特に九州新幹線が開通してからは、九州に流れるようなかたちでエージェントの歩留まりも沖縄とか遠方に行くよりは九州に送った方が歩留まりが非常に良いということで、そういう流れにも影響が一部あります。そういうことで我々も毎年こういうかたちでキャンペーンをやっているんですが、なかなかそれが実態として数字に表れてこないというのが現実であります。そういうかたちで、今、小規模離島の補助も国県からそれぞれいろんなかたちでやっておりますが、その効果においても特に今JTAの最終便の撤退において、これもまた団体がエージェントが取り組みがやりにくいというのも事実出ておりますので、ぜひそのへんを今後どうするのかというのを町長はじめ行政も一緒になって、いろんな取り組み展開をやっていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

観光協会としては、キャンペーンを通して各地へそれぞれ行っているということ。今、活動中ということです。やはりインターネットの個人客エージェント通さないでのお客様が多いということなんで、さらに久米島町もホームページももっとピーアールできるようなかたちで久米島町、販売とか売って多くの皆さんを、この久米島に足を運ぶように努力していただきたいと思っております。

そして、今、あじま一館が休館しておりますよね。この委託契約というか指定管理ちょ

っと町としては、空けたというのがマイナスじゃないでしょうか。そこはどう思います。町長。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

24年の3月で、これまでNPO法人、島の学校の方で管理していたんですが、ちょっとできないということで、その後から再度委託管理をやるということで組んでいるんですが、2回目の募集をかけて、それをやっている途中です。取り組みについては時間的な問題もあって十分ではなかったということでもあります。これからまたじっくり関係者と協議しながら指定管理に向けての取り組みをやっていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

この、あじま一館が、今、休館しているおかげで修学旅行とか、このプランの中に島の学校というのが今メインでうたっていますよね。その閉まっている間に修学旅行の受け入れがあったのかどうか。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄副町長。

○ 副町長 大田治雄

今期の予約については、既になに決定して支障のないように観光協会が責任をもって、今、引き継ぐ準備をしております。うちの臨時職員を充てて、その対応はしております。

いまありましたとおり指定管理について、去った28日の観光協会の総会において、あじま一館の指定管理に応募するという事で理事会で承認をもらっておりますので、早速今

回の2次募集については手を挙げて、もしそれが決定するのでしたら、観光協会そのものをあじま一館に移してやろうということで理事会の中で検討中であります。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

私の方も、あじま一館の管理はやはり観光と直結してますので、観光協会がやるべきじゃないかなと前々から思っておりました。ぜひ立派な施設です。箱物をそのまま置いた状態にしないで、ぜひ活用するようによろしくをお願いします。

そして観光客が少ないということで、各団体等も頭を痛めているんですが、その中で、今、離島割りカードがありますよね。それは、今、島民だけの適用ですよね。それを県、国に呼びかけをし、多少とも島民に引き下げの割合じゃなくて、いくらか他の皆さんが久米島に足が向くように島外の皆さんも対象を広げたら回りの意見が多いです。それを、ぜひ町としても国、県に呼びかけはできないでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

今、ご指摘のあった点につきましては、おっしゃるとおりでございます。昨年からは社会実証試験ということで中核病院がある、高校がある、島以外の小さな離島については島外者も割引しましょうと、高齢者はもちろんですが、その中で久米島に位置付けというのは島内者だけの割引ということでした。これについては昨年からは企画部に行って、何とかやってくれという要請はずっとやっていま

した。これ何故かといいますと、例えば我々の離島中核病院があるといっても40床の病院ですので、島外に入院している方が大部分だと高校も進路の関係で3割は島外の高校に出ている。そこを何とかしてくれということをお願いをしてきました。そして宮古、八重山あたりはダブルトラッキングで航空会社が入っている所はそれは島外から来るお客さんも島内に住んでいるお客さんも競争原理が働いて非常にメリットを受けている久米島だけ置いてけぼりになっているということで、今までずっと要請をしてきましたが、昨日「21世紀ビジョン」の中でも直接、知事に、こういう状況をお話してやりましたら、直ぐやりなさいという返答は頂いております。ただこれは遅くとも来年度の予算以降からになるかと思いますが、確実ではないんですが、非常に積極的に知事が言っていたということでありますので、引き続き県には要請してまいりたいというふうに思います。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

町として国、県に要望しているということで来年度の予算を見ながらというかたちで良い方向で進んでいるような感じを受けております。一番手っ取り早いのが、やはりこれですよね。カードで割引して船もそうです。今回から船も適応されたのでだいぶ島民の方も利用されていると感じております。ぜひ島外から久米島に目を向けて、多くの皆さんが、久米島に来ることを、ぜひ町としても観光誘客人数を増加する対策を、これからも観光協会と共に、この観光関連がだいぶ冷え込んでおります。町として取り組んでいただきたい

と思います。

最後に、私が最初に質問した農業、そして観光、産業振興課ですよね。農業と観光って、今、一つの課でまとめてますが、それは重荷になっていないでしょうか。別々に分けた方がいいんじゃないでしょうか。課長どうです。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

産業という位置付けで農業、漁業あるいは商工業、製造業、観光業、全て産業というふうに位置付けて、例えば観光に関しても産業と結びつけという目的があって一緒にしたという経緯もあります。

また、我々町の行財政改革の中で人数がどんどん減っていく中で、やっぱり産業部門は一緒にした方がいいんじゃないかということで一つにしたわけですが、業務が重荷になっているとかいうのは私では分かりませんが、ただ事務事業の配分のやり方でそんなに重荷になるということではないと思います。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

私は、産業振興課長をかばって言っているわけではありませんので、やはり町長が言った答弁のとおり、産業と観光位置付けとしての職員の減少の中にも、やはり仕事自体はもう一連の流れで共通の点がありますので、ぜひ今年のサトウキビの不作、そして観光客の減少それを食い止めるために農家支援と観光に対しての町として一層の努力をして支援していただきたいと思います。

私は低迷する産業に対して町としてもうちよつと頑張っ、てこ入れをして産業を発展

させていただきたいということで今日の質問とさせていただきます。

(翁長学議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで4番翁長学議員一般質問を終わります。2、3分休憩させてください。

休憩します。(午前 10時27分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前 10時29分)

2番幸地猛議員の発言を許します。

(幸地猛議員登壇)

○ 2番 幸地猛議員

おはようございます。2番幸地です。今回の一般質問は当初予算の中で十分質疑ができないこと等も含めて、当初予算と関連する部分もあると思いますが5点ほど質問をしたいと思います。

まず1点目に総合運動公園の整備について、1つ目に陸上競技場400Mトラックの建設について。

2点目にサッカー場の建設について。

3点目に沖縄角力場、これ勝手に名前付けたんですけど正式な名称はあれですが、沖縄相撲場の建設について。

2つ目に大きな項目として、イーフビーチの管理について、日本の渚百選にふさわしい砂浜の整備について。

3点目に大きな項目で農業の振興について。海洋深層水冷熱利用野菜栽培実証事業について、これは当初予算にも計上されておりますが、その中の施設規模、品目・作目、耕作者、誰がやるんですかと、作った作物は販売先は何処ですかと。ここで終わるんじゃないくて、次なる展開また新たな施設を造っていくのかどうなのかということですね。これは

当初予算の中で十分聞けなかったので、次の農業後継者も関係しますので、ここで質問したいと思います。

4点目に太陽光発電の推進について、これは一昨年補助がありました。今回、当初予算にも措置されていませんので継続してやるべきじゃないかということで、設置補助（個人住宅）についてです。

5点目の公衆トイレについて、観光客が不自由を感じていますので、ぜひトクジム地区（旧青少年旅行村跡地）に公衆トイレを建設したらどうかと。また現在の施設の島内、公衆トイレの管理はどうなっていますかということで質問をしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

（平良朝幸町長登壇）

○ 町長 平良朝幸

2番幸地議員の質問にお答えします。

総合運動公園等の整備について、総合運動公園内の各種競技施設については、需要の面が一番重要だと考えています。400mトラックの陸上競技場及びサッカー場は児童・生徒の競技力向上やスポーツキャンプ誘致の面、さらに沖縄角力については中学の体育に一部取り入れられていることなどから、それぞれの競技場の整備については、個別の議論が必要か考えております。

イーフビーチの管理について、イーフビーチについては、日本の渚百選にふさわしい砂浜として継続的な管理ができるようにビーチクリーナー等の管理機械の導入を検討し、しっかりした管理体制の元で運用ができるように対策を図っていきたくと考えております。

農業の振興について、海洋深層水の実証事

業についてですが、本実証事業の施設規模は面積が約120㎡栽培品種としては当面の計画としてサラダ菜やフリルレタスなど葉物を想定しております。

本施設は実証施設の位置付けであり耕作者というより実証事業への参加者として深層水農業利用研究会や久米島高校園芸科を考えております。将来的な展開としては、夏場の端境期に島外から島内に入る葉物野菜に変わる供給を目標としております。

農業後継者育成については、国の新しい農業制度による、人・農地プラン策定の中で位置付けし、新規就農計画を作成していきたいと考えています。また県の一括交付金の活用や町独自の支援策も含めて検討し対策を講じていきたいと考えています。

太陽光発電の設置補助について、太陽光発電については、固定価格買取制度が7月からスタートすることもあり需要増も見込まれますが、初期導入費用がかなり高額であることから補助制度があったとしても導入できる町民は限定的になるかと思っております。設置補助については、一昨年の緊急経済対策の補助制度の反省を踏まえて今後、再検討をしたいと思います。

公衆トイレについて、トクジムの公衆トイレの整備については、以前からトイレに使用する水の確保等の問題がありますので、現在のところ新たに設置することは考えていません。

島内各公衆トイレの管理につきましては、苦情のないよう清掃管理を行っております。現在町民や観光客からの苦情等はございません。

（平良朝幸町長降壇）



○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

まず1点目、陸上競技場400mトラックの建設について、ここから自分なりの経験を踏まえながら一応質問してみたいと思っております。400mトラックのことにつきましては、旧仲里村時代から考えられていたことですが、なかなか予算規模が小さくて、また広さ的にもかなりの面積を必要としますので、適地が見つからずなかなか進展しませんでした。

当時は、たいへん陸上熱が非常に高く特に村民運動会は学校の運動場を利用して実施をしておりますでしたが、狭いながらも勝負にこだわりライバル心を前面に出して戦ったものです。全島陸上競技大会は高等学校のグラウンドを利用して各校区対向で全島民を上げての大会でありました。今思い出しますと40年余り前のことで非常に懐かしく感じております。復帰後は日本政府の予算を直接受けることができまして旧具志川村、旧仲里村とも防衛予算で国の補助基準、人口の問題等で1万㎡で200mトラックしか取ることができませんでした。その後、旧仲里村、具志川村、久米島町になりましてから野球場が2箇所にできました。今はプロ野球を誘致できるまでにりました。

屋内施設としての体育館は各学校に建設され、その中でも仲里中学、それから久米島西中、久米島高校は標準規模のバスケットボールコートが2面取ることができる施設になっております。そのおかげで私たちが創設した久米島バスケットボール協会の大会も何不自由なく10年前から年3回、中学以上の高校一

般含めて大会を開催しております。また那覇地区のミニバスケット交流会も昨年で20周年継続して行われてます。しかしながら今の久米島に足りないのは400mトラックの陸上競技場ではないでしょうか。旧両村で埋め立てをした儀間地先も当初の構想では陸上競技場も計画されていましたが、補助予算との関連または両村との調整等が上手くいかず実現することができませんでした。

ぜひ今回は合併10周年、それから復帰40周年という記念の年でありまして、その期に新たな町の構想として取り組む考えはないか再度お伺いします。

○ 議長 喜久里猛

仲村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 仲村幸雄

ただいまの幸地猛議員の質問にお答えいたします。今年、町政10周年そして復帰40周年いろんな節目の年にあたります。今後こういった競技場の必要性についても町長の答弁のとおり個別に検討する必要があるんじゃないかと考えております。そのあたりは教育委員会、児童生徒の競技力の向上とか、そしてスポーツキャンプの誘致の面から含めて観光部門、教育部門と協議の場を設けて今後の方向性については、検討していきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

これまで400mトラックがなかったのも、最近、島においても陸上競技をする方が大変減ってきています。もしこのトラックが出来ていれば小学校の頃から陸上に興味をもつ人が沢山増えて、そして将来は日本一のスプリ

ンターが生まれたかもしれません。そして陸上専門の指導者も育っていたかもしれません。これは町の人材育成の面からすばらしいことではないかと思えます。そこで教育委員会の考えもひとつお聞かせくださいませんかでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

これは全天候型の400mコースですが、以前は子どもたちが児童オリンピック、これは10カ年前後になります、子どもたちの児童オリンピックそして中学高校生、一般が県を代表するそういった人材を輩出してきた経緯がございますが、最近におきましては、だんだんそういった競技人口が減っているような状況でございます。これにつきましては、そういった施設がないがための競技人口が減ったかなという側面もあるわけなんです、先ほど町長の方から答弁がございました。まずは重要性、どれぐらいのみなさん方が全天候型の競技場を作った場合に、それを活用するかというのが一番大きな課題ということがございます。私たち教育委員会としましては、できればそういったかたちでの施設、そしてまた指導者の育成を考えれば、そういった施設もぜひ実現してほしいということではあります。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

みなさんも記憶に新しいと思うんですが、日本チャンピオン、よく名前が上がってます赤嶺選手ですね。久米島高校の円盤の仲吉選手、それから今頑張っている短距離界で頑

張っています喜久里選手、それから高跳びの金元選手、そして幅跳びでは比嘉浩太郎、それから佐久田保全課長の息子さん、大変すばらしい方々が久米島から生まれています。最近、高校では短距離の宇江城くん、それからやり投げの当間さんが少ないながらも非常に頑張っています。

もし400mトラックの場所があれば当面の課題としては、やはり全天候そうとう予算がかかりますね。広さがあればもっと工夫してみんなで知恵を絞ればそれなりの施設はできるかなと思っています。そこで緊急の提案なんです、例えば全天候タータンコースと400mコーナーが取れる3コースのコースをまず造るとか、あるいは100mのコースを3コース造るとか、それからぜひ高跳びそれから幅跳び、そういった施設についてはやはり全天候型のそうした施設も、広さがあれば、なんとか少ない予算でもまずはできるのかなということです。今後検討をしてもらいたいと思っています。

次に、サッカー場の建設につきましては、これは陸上競技場ができますと広さがありますとそういうのができますので、そんなに予算はかからないと思っています。

今サッカーは仲小の校庭一部小学生全校から集めて頑張っています。

体育館はすばらしい、野球場もすばらしいですが、こういったサッカーの子どもたちが狭い中で頑張っていますので、これも含めて400m取ることができれば、その中で一生懸命しっかり希望に燃えてサッカーの練習もできるかと思っていますので、これも一つよろしくお願ひしたいと思っています。

それから沖縄角力場につきましても以前か

らこの件につきましては、先輩議員が取り上げてきた経緯があります。なかなか実現には至っておりませんが、私なりに沖縄角力は久米島の伝統であると思っていますし誇りでもあると思っています。これまで多くの沖縄県の横綱を誕生させた島でもあります。旧仲里村時代に復帰記念事業として大綱曳きと合わせて全沖縄の力士を招聘して久米島大会が開催されました。今でも非常に印象に残っています。その中には島出身の歴代沖縄チャンピオンも全員来てもらいました。

もしこの沖縄角力場がこの陸上球技場の一角にできれば、希望としましては、ここに関係議員もいらっしゃいますが、ぜひ沖縄大会を年1回久米島で大会を持てれば、記念として毎年開催できると思います。そういうことで、ぜひしっかりした角力場の建設をお願いしたいなと思っています。

次に日本渚百選にふさわしい砂浜について、世界に誇れるエメラルドグリーンの海と約2kmに渡る白い砂、イーフビーチは海の日制定に伴い平成8年6月に日本の渚百選に選定されました。広大なサンゴ礁に守られた美しい海と白い砂浜はマリーナリゾートとして広く親しまれています。この選定を機会に海の持つ重要な役割を認識すると共に自然の恵みに感謝し、この美しさを永遠に守り続けていまいしょうということで、平成13年に記念碑が建立されました。しかしながら現状を見てみますと日本の渚百選としてふさわしいビーチとは言えないと思います。ぜひ整備してほしいと思いますが、今ビーチの管理は何処でしょうか、県でしょうか町ですか。法的にどうなっているかひとつお聞かせください。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

ビーチの管理は県の方が行っています。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

答弁でビーチクリーナーを使うということですが、例えばこのビーチを整備していききたいというとき何処まで町としてできるか。そのへんのところはどうかでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

今、県の管理ということでそこらへん調整というか確認まだやっていなかったんですが、一応基本的には町で、イーフビーチの管理はやらないといけないんじゃないかなというふうに考えております。それで以前からビーチクリーナーを導入して定期的にビーチを管理すべきじゃないかという声もあります。そこらへんも踏まえて、関係者と確認して取り組んでいきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

なぜこういう質問をするかといいますと、今イーフビーチを見て分かると思うんですが、石ころだとか雑草があるんですね。それを取り除くことができるかどうか、そのへんが何処まで整備できるのかなと、今、考えているんですよ。この件につきましては、イーフビーチ部落ともいろいろ協議をしなければいけないと思います。そこでしっかり整備をするんでしたらイーフビーチクリーン月刊といたしましょうか、例えば1日じゃなくて、月

刊を設けてみんなでやる方法を考えていますが、その件についてお願いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

イーフビーチの管理については、基本的には定期的に管理できるような態勢が必要じゃないかと思います。定期的な外呼びかのボランティア的な部分もこれもまた必要だと思います。それも含めてイーフビーチの管理については、そういう態勢でもっていきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

ひとつよろしく申し上げます。次は農業後継者ですね。今期は、先ほど翁長委員からありましたが本当に生産量がたいへん厳しいものがありました。製糖期が終わって今回はたいへん厳しかったと農家の声であります。中にはチャーナンランサーという方も出てきて、農家の話では今期は非常に厳しいということで、面積を少なくしたいんだがなかなか適当な人がいないと、なかなか引き受けてくれる人がいないと困っているという話がちらほら出てきております。これまでは土地改良区負担金、または少ない耕作料で貸してありましたが、その土地も返されてしまったという話が今年特に多いような気がしています。そこで現在キビ策農家の中にはこういった事例が各地区にあるような気がしますので、ぜひ町の方でも調査をしてもらいたいなと思っています。この基幹作物は今後とも継続して生産しなければいけませんので、ぜひしっかりした調査も今後これからは必要じゃ

ないかなと思っております。

高齢者で後継者がいなくなる農業はどうなるんだろうと大丈夫かという話を、よく私たちもやりますが、なかなか数字的につかんでいるわけではありません。町として農業後継者の件について具体的な調査をして、しっかりとした計画をつくる必要があると思いますがどうでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

農業後継者、特に40代以下の若い人たちが専業で農業に携わっているというのが本当に少なく、前年確認した段階では本当に何名かという程度ぐらいしかいないということで相当危機感をもっております。それで今回国の新しい農業制度の「人・農地プラン」というのが策定することが義務づけられておりまして、これは12月までにこの「人・農地プラン」を策定していく予定にしております。これは各地域ごとに地域を指定して。これから準備話し合いをやっていきますが、その中で、新規就農計画も立てる必要が出てきております。その中に新規就農者の指定を計画の中に組み込んでやれば国の制度の支援とか県の一括交付金の支援とか、そういった支援策も受けられるような事業になっております。そこも上手く活用して各地域と話し合いをしながらこの新規就農の取り組みはやっていきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

そのためには個人個人の農家台帳も必要かなということを考えていますが、現在、町の

中で農家台帳それに準ずる物は作成されておりますでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

上江洲勝志農業委員会事務局長。

○ 農業委員会事務局長 上江洲勝志

農家台帳につきましては旧年の資料を基に作成している途中です。年度内には作成してまた皆さんの方に公表していきたいと思いません。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

よく皆さん農業については、いろいろ農家の方々またはお互いもやりますが、特に若い人たちに農業に関心がないだとかあるいは親としてもこれだけの収入ではなかなか生活厳しいよとか農業だけではなかなか生活できなせんという話がよく聞かれます。そこでしっかりした生活の基盤が築けられる農業とはどんなものか、今さきいいました農家台帳そういったものをぜひ数字を出して年次的に計画を立てて、そうすればよりちゃんとした数字の基で議論できますので、そういったかたちで、ぜひ農政を進めていってほしいなと思っています。それから今回先ほど出ました海洋深層水冷熱利用、野菜栽培ですが非常に僕は画期的なことだと思っています。キビ作業は年に1回ですね。収入は、しかしながら野菜というのは何回も何回も夏冬取れます。今研究所の方で何名か農家の方々もそこに参入してやっています。既に研究所は実績も出して、これからしっかりした指導もできるかと思っています。また今回、園芸科とも連携するということは、たいへん僕は良いことだと思っています。ぜひこの高校の園芸科の中

から1人でもここを利用して、そこで成果を出したものをしっかり目標にして将来農業してみたいなという人が出れば、久米高校の園芸科問題、存続問題もそこできらりと光るものがあるかと思っています。ぜひしっかりとしたかたちで進めていってほしいなと思っています。

そして高齢者ですね。結局、先ほど言いましたなかなかきついと、これ作っても収入上がらんよという方々がいます。

一つの例ですが、鹿児島県の畜産農家が牛を飼うのは年齢的に非常にきついなということ、これまで使っていた牛舎を鹿児島大学の教授の指導を受けて山羊生産に切り替えて成功しているということを見てきたことがあります。これは大学教授が一生懸命やりまして、今は全国的に連絡網も取れまして、あちこちで品種の問題とかあるいは養い方とかそういうことやっています。

これは一つの例ですが、例えば新たにキビだけでなく、特に高齢の方々の農業というのは何かということを含めて、後継者問題とあわせて、ぜひ議論を重ねていってほしいなと思っています。

次に、太陽光の発電について、答弁に緊急経済対策時の補助制度の反省とありますが、この反省とはどういった反省でしょうか。お聞かせください。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室 中村幸雄

これは一昨年の緊急経済対策の交付金でこの太陽光発電の補助制度を制定して補助を行ったわけなんです、初期投資が約200万から300万ぐらいかかるということで、その補

助を受けてもやはり導入には二の足を踏んでしまうということで、所得の高い皆さんが補助を受けて限定的になってしまったということです。やはり初期費用を軽減をするような方策を取らないと、太陽光の発電のパネルの設置補助については、少し制度設計的なものが、もうちょっと必要かなというふうに思います。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

確かにそういった面も考えられます。しかしながら補助というのは1回やったら無くなるということじゃなくて、今、全国的に国としても自然エネルギー推進していますので、ぜひ継続してやってもらいたいなと思っています。

そして太陽光発電は導入しますとオール電化に皆さん切り替えています。オール電化になりますとガスは使わなくていいですね。ボイラーもたかなくていいと、これは防災対策の面からも安全面からしても非常に良いので、ぜひ継続して再度検討してもらいたいなと思っています。

最後の公衆トイレにつきまして、実はトクジムということで限定はしましたけれども、町の過疎地域自立促進計画書、22年度から27年度がありますが、その中に観光リゾートという欄がありまして、現況と問題点が記載されています。その一部を読み上げてみますとブルースカイの代替船となる高速船の早期導入を求め、交通アクセスの更なる充実、関連施設整備を推進する。観光入域客数の増加に対応できるように観光施設やレクリエーション施設の整備や環境美化活動を図る必要がある

とあります。

そしてその対策として観光産業の伸び悩みは久米島のイメージ戦略、知名度不足に根本的な原因が存在する。引き続き体験交流型観光の促進と各種の入客戦略を積極的に展開すると同時に観光資源の保全や観光施設の整備ということであります。そしてホスピタリティ訪問者に対する心遣い、おもてなしの心の向上と受け入れ態勢の充実を図り移住提示へ繋げるとあります。

そしてその事業計画書の中の観光または観光レクリエーションの項目の事業の中にトクジム支援公園整備トイレ整備事業島尻地区とちゃんと計画されているんですね。年次的に見ますと平成23年度になっていますが、これは既に1年過ぎていますが、造らないということは決定されているのか、それともその計画書はそのまま作っただけでしょうか。そのへんのところお願いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

トクジムの公衆トイレですね。以前、旧青少年旅行村の整備でトイレがあったんですが、その後は施設の老朽化もあって、そのの片付けされていますが、そのときの問題点として水の確保ができないということで、水が確保ができなくてトイレが使えない。それで管理ができないというか、そういう問題がずっとあって、その水の対策を考えないとトイレの建設は難しいという話があって、これから今までやっぱり水の確保の問題が一番大きくてトイレを整備するのは今のところは厳しいのではないかとということで今のところはトイレを造るのは難しいのではないかと

判断ですね。

過疎計画については、向こうの整備計画これからもっと具体的な話で進めて行く必要があると思いますが、まだその所まだ計画は話し合っていないで、今回トイレについては、その中で検討していきたいということになっています。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

これは過疎計画の中にもホスピタリティの向上ともてなしの心とありますが、僕は人間の生理現象を止めることはできないと思います。そこで、ぜひトイレを建設してほしいということなんですけれども、今回、久米島博物館でも久米島ミュージアム活性化事業ということで久米島丸ごと博物館、見る・知る・学・久米島ガイド、文化スポーツガイドとしてグスク巡り、海浜巡り、歴史散策、島の成り立ち、癒しの自然文化とあるんですね。特にこの久米島地区はトゥイヌクチそれからトクジム海岸、そして季節的なスポットですが、フォエールウォッチング等があります。やはり自然の散策をしながら素通りだけではなく、思いにふけながらじっくり時間をかけて散策をする。これがトクジムだと思っています。

このトクジム地区は島の中でもたいへん自然に恵まれておりまして癒しの空間を満喫できる場所だと思っています。そういうことからしても人間の自然現象である生理現象を止める施設として、この公衆トイレは、ぜひこの場所に必要ではないかと思いますが、もう一度お願いしたいと思っています。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

今、過疎計画の中で位置付けもされております。またその地点では、やっぱり必要性の議論がされていると思います。やっぱり検討していく必要があると思います。トイレについては先ほども一応説明したとおりやっぱり水の確保が問題で、その対策を立てないとそこに建設ができるかどうかということになってきますので、トイレを設置する場所の問題そこを検討して取り組んでいく必要があるのではないかと考えております。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

いろいろ条件があると思います。トクジム地域でなくても、その地域にできればいいかと思っています。今、周囲の方々からトイレがないもんですから、周囲の草むらだとか畑の中でよく用を足すということを聞いています。いろいろ条件面それから財政もあると思いますがぜひじっくり検討をして実現に向けて取り組んでもらいたいと思っています。

(幸地猛議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで幸地猛議員の質問を終わります。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午前 11時05分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前 11時18分)

1番棚原哲也議員の発言を許します。

(棚原哲也議員登壇)

○ 1番 棚原哲也議員

こんにちは、1番棚原哲也でございます。私の方から3点ほど質問をいたします。

1 番目に高速船の早期導入に向けて検討委員会の設置と関係機関との協議を早急にせよ。

大量輸送手段の航空路のジェット便が減便され修学旅行等、団体ツアー客が大幅に減少し、観光関連産業がたいへん厳しい状況にある。昨年12月の一般質問で町長は「高速船の導入時期としてニューくめしまの引退時期の5～6年先が良いタイミングでは」と答弁している。しかし、1月の観光協会のプロモーションでも、那覇－久米島間の輸送の問題が旅行会社や学校等から指摘され、誘客増に先が見えない状況にある。

現在、那覇－宮古島便の航空運賃が3千円台で販売されている。また、来年度に石垣空港が開港した場合、さらに価格競争に拍車がかかり、運賃の高額な久米島の観光客のさらなる減少につながりかねない。

7月に新造フェリーが導入されても、3時間半の航海時間では団体客誘致には厳しく、1時間～1時間半で航海でき200名ないし300名定度規模の高速船の早急な導入が必至である。そこで、昨年12月の一般質問に続いて再度確認したい。

1 点目に久米商船とのこれまでの交渉結果、久米商船側からフェリー久米島の代船として高速船を導入する姿勢がみられたか。

第2点目、調査の結果、久米島航路に適した船として海外で使用または、試験航海中のトリマラン（三胴型）タイプの船が世界中で20数隻運航しているとの報告があったが、イタリア、アメリカ、オーストラリアいずれか現地へ行っての調査も行ったか。

3点目、議会の視察研修先として候補に挙げられている島根県では、双胴（カタマラン）

タイプで定員320名、時速45ノットの船が就航しているとの資料がある。久米島、那覇間になると1時間15分位で航行できることとなります。その他にも国内で高速船が就航していると思うが、すべて調査済みか。

2点目、県道の未整備区間の早期整備と子供たちを事故から守るための対策を問う。

町仲里庁舎及び仲里郵便局の県道と町道の交差する十字路の安全確保について早急な対策を。

ここは、庁舎側と郵便局側の南北を通す横断歩道には信号機が設置されているが、十字路であり交通量の多い場所にもかかわらず、東西、南北に車誘導用の信号機が設置されていない。

通学時の子供たちは、仲里庁舎前の停留所でバスを下車した後、足早に道路を横断し、歩道のない箇所を歩いて登下校しているのが現場の状況です。また、庁舎側から県道へ出る多くの運転者が、泊、謝名堂方面から西進する子供たちが視認できず、危険を体感したという声が聞かれる。

全国各地で多発している児童の登下校時の交通事故報道が非常に多い中、町としても子どもたちの登下校時の安全確保のために、島内の歩道の未整備箇所を調査することが必要である。同時に、先に指摘した交差点から泊までの県道の早期整備を求め、県へ優先整備を要望をする考えはないか。

次、3点目でございます。観光施設の安全対策を早急にせよ。

奥武島壘石側の階段式護岸は子どもたちや高齢者、身障者が昇降するのに勾配が急であり、各段の傾斜角度も危険な状態にあり、安全対策として早急に手摺りの設置、又はスロ



ープの設置をする必要があると思うが。以上  
3点でございます。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

1番棚原議員の質問にお答えいたします。  
高速船の導入について、久米商船とのこれまでの交渉についてですが、久米商船はこれまでの答弁のとおりフェリーニューくめしまの引退を目処に高速船を凶るとの認識で一致しております。ただご指摘のとおり観光入域客の減少も予想されますので、今月から高速船導入検討委員会を発足して船種及び財源、導入時期を議論していきたいと思っております。

次、調査の結果トリマラン型の船についてですが、トリマラン型の船については、現地調査はまだ行っておりません。トリマラン船建造のメーカーからは県内でプレゼン等も受け、詳細なデータを得ていますが、第3者の客観的な情報も必要であったことから先に現地調査を行っている壱岐・対馬の皆さんからも調査資料を頂いております。検討委員会が導入船種についてある程度方向性としてトリマラン型を示すことができれば、実際のトリマラン船をスペイン、またはオーストラリアで独自調査することも必要かと考えております。

本土の高速船の調査ですが、本土の高速船全ては調査しておりませんが、日本製の双胴型高速フェリー及びオーストラリア製の高速船を九州またオーストラリア製の双胴型高速フェリーを北海道で視察しております。

次、県道の未整備地区についてですが、質問の箇所につきましては、変則的な交差点と

見通しの悪さが混在している場所で交通安全上非常に危険な状況であることは以前から認識しております。その状況の改善について、県の方に幾度となく要望してまいりましたが、旧態依然として未整備な状態が続いております。

安全な道路環境を確保するために引き続き県へ整備要望をしてまいります。

観光施設の安全対策ですが、奥武島の畳石護岸、この施設は昭和58年から59年度に林地荒廃防止施設災害復旧事業として整備されております。よってその護岸は背後の保安林を守るための保安林施設なので、その施設に手摺りやスロープ等の附帯施設を設置するためには、形質変更の手続きを行う必要があります。基本的にその護岸施設の機能を失わないような施設であれば設置は可能と思われまます。今後、関係課と調整を凶り必要であれば設置に向けて取り組みたいと思っております。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

1番棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

ただいま町長の方から答弁がございました。高速船の導入につきまして、久米商船の高速船導入についての姿勢が見られたかの質問に対し、ニューくめしまの引退を目処に導入を凶る認識で一致しているとの答弁がございました。

私の知り得ている情報では久米商船としては高速船の導入に対し消極的な考えだと聞いておりますが、そのようなことはないか。

今月から高速船導入検討委員会を発足して船種及び財源導入時期を議論するとしていますが、検討委員の構成は町の職員のみである

のか、議会及び外部の有識者を加える考えはないか。

次に、トリマラン建造船のメーカーからプレゼンを受けデータを得ていますが、また現地調査を行っている壱岐・対馬の皆さんからの調査資料をいただいておりますが、それらのデータや調査資料を議会へ開示できないか。

次に、運行維持コストの面からトリマラン船に加え日本製のカタマラン双胴船も再度検討する必要があると思うが、どう考えるか。

次に、久米商船が高速船の導入運行をしない場合に久米島の観光、島の活性化のために他社の参入または新会社の設立をしてでも高速船の導入は必要だと思うが、町長はどう考えるか。お願いいたします。

**○ 議長 喜久里猛**

中村幸雄プロジェクト推進室長。

**○ プロジェクト推進室長 中村幸雄**

ただいまの質問にお答えします。久米商船の方とは高速船導入の実施時期については、ニューくめしまの引退する時期が良いのではないかとということで、以前から話し合いをしております。やはり高速船、今、町の方で想定している高速船がかなり高額で導入した場合の償還を含めていろいろ財政的な負担、会社としての負担がかなり出てくるということで、これまでの船の導入の方法と同じでは、少し消極的になるような考えも久米商船の方も示しています。フェリー琉球が来月から就航するんですが、その新造船が就航したあと赤字になることが予想がされています。さらに高速船を導入すれば、さらに赤字になるということで、そのあたり含めて、その導入方法を、久米商船としては、町で十分考えてほ

しいということの意見はいただいております。

今後、高速船導入検討委員会でそういった議論も含めていろいろ詰めていきたいと考えております。

2つ目の検討委員会の構成メンバーなんです。これは行政の職員だけでなくて利用者の皆さん、そして運行事業者、久米商船もちろん入っています。観光協会、商工会を含めて6名から8名ぐらいの構成で考えております。あと調査した国内のみなんです。調査した船の資料、そしてオーストラリアのメーカーからいただいた船の詳細について、まとめたものを提供できるかと思えます。

日本製のカタマランタイプの船は県内では座間味、そして渡嘉敷航路に就航していますが、それぐらいの規模の船がはたして久米島ー那覇間の海象とといいますか、シケの時に対応できるかと問われたら、少し疑問点が残ります。やはり久米島航路に対応した船にするには、今、我々が調査してるトリマラン型が最適ではないかなというふうに思っています。

仮に、事業者が高速船導入は不可能じゃないかという表明すれば、そのときはまた他社参入を含めていろいろ考える必要があるのかなというふうには考えています。

**○ 議長 喜久里猛**

平良朝幸町長。

**○ 町長 平良朝幸**

今、室長から答弁がありましたが、ちょっと補足をしたいと思えます。久米商船が消極的ではないかということですが、実際はやっぱり久米商船としても自分たちの思う船を入れたいという部分がある。我々は我々で税金

を投入するからには町民のニーズに合った船を導入したいということがあって、このすり合わせが、できない時点では非常に消極的であったということですね。これは特に問題はないと思っています。そして検討委員会委員については、これから決定をしていきたいと思いますが、ぜひ議会からも参加してもらいたいと思います。

そしてカタマランなんですけど、実は3年前に調査に行って津軽海峡を通過している青函連絡船、これにナッチャンReraって大々的に宣伝をしたオーストラリアのカタマラン船が就航しました。乗りましたが非常に揺れました。それでカタマランはあんな大きい船で揺れるのであれば、ちょっと外洋の久米島航路には無理ということで、カタマランについては、今のところ候補から外そうと思っています。これは検討委員会の中で決めることですが、運行しない場合ですが、これについては、今のところ運行しない場合どうするということは、まだ考えておりません。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

ただいまプロジェクト推進室長の方からトリマランタイプが適しているんじゃないかと町長の方からも双胴型、カタマランよりはトリマランタイプ三胴タイプという説明がございましたが、来月、議会方で視察予定をしています島根県の方でも双胴タイプのカタマランタイプが運行されているとこれは320名乗り、45ノットぐらいで運行しているという資料があります。沖縄県内で先ほど説明がありました渡嘉敷、座間味運行している船も双胴タイプのカタマランタイプでございます。こ

の船に関しましては店員が200名ほどで渡嘉敷、座間味で運行しているのは、島根で運行されているのは320名乗りということで、だいぶ定員も多いと船も沖縄県内で運行しているカタマランタイプよりは大きいんじゃないかと思います。そのへんは、議会も視察に行つて、この船を乗る予定もございまして、そのへんを確認をしていきたいと思っております。

やっぱりトリマランタイプが有力な候補として説明ございましたが、以前、那覇から本部伊江島に運行していたビートルタイプ、これはオーストラリアの建造船です。ジェットエンジンが積まれているということで非常に維持コストがかかるということで、先ほど説明がありました、アメリカ、イタリア、オーストラリア製の外国製の船に関しては非常に維持コストがかかると思います。

島根の方で運行している船については、資料を見ますとエンジンも国産の三菱のエンジンを積んでいるということで、やはり国産のカタマランタイプ、もう一度、検討する必要がありますので検討委員会の中で、そのへんも含めて再度検討をしていただきたいと思います。室長の答弁をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

今、お話がありました島根県隠岐航路に就航している高速船なんですけど、これは三菱重工が建造している船ということで、カタマランというよりは、実際ジェットフォイルに近い性能をもっていて、これも水中翼が付いています。この高速船については来年の11月にはもう引退するというので、今回、議員の皆様

さまが視察に行かれるとき最後の乗船のチャンスになるかと思うんですが、既に引退を決めているという船です。それに変わる船として、今、お話があったジェットフォイル、これは川崎重工の船で、たぶん中古の船を導入するかと思うんですが、その船に置き換えるということで、これは海士町の施政方針の中にも示されております。こういったかたちでどんどん技術が進歩して行って、双胴型、三胴型いろんな性能の物が出てきていますので、検討委員会ですとことん議論していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

ここに24年度の施政方針の中でも交通の確保ということで航空路と海上航路は住民のライフラインであり運賃低減に向けては引き続き国、県と連携しながら実施してまいります。この運賃低減につきましては、現在航空路については往復運賃、片道で買う場合には往復の半額で一応購入できます。船については、今、往復買わないと割引の制度がありません。そこも含めて運賃低減につきましては海路も船の方も片道買った場合には往復の半額で買えるようにそのへんの交渉といたしますか。国、県の方へも一応提案して船もそういう離島住民が離島割引で買えるような感じで航空運賃それから船の運賃を安くしないと島内に観光客、島外出身者への人の来島が見込めませんので、そのへんも、ぜひ検討してもらいたいと思います。その中で、大量輸送手段の一つである高速船についても導入検討委員会を発足して関係機関と協議を行い早期の導入に向けて取り組んでまいります。として

ございますので、ぜひ町長にはしっかりとこの件について取り組んでいただきたいと思います。これについては答弁はよろしいです。

次に、県道の未整備区間の早期整備と子どもたちを事故から守るための対策について質問の箇所については非常に危険な状況であると以前から認識し、その状況改善について県の方に幾度となく要望しているが、未だ未整備であり引き続き県へ、整備要望をしていくとしておりますが、この箇所につきましては、特に町の職員の方々が帰宅時に庁舎から出る場合に、そこを通りますので、謝名堂、泊側から来る車、人の視認ができなくて非常に危険な状態であるということは感じていると思います。そこを優先整備をしてほしいということで、その必要性を強く訴えて県の方へ要請してもらいたいと思います。これにつきましても答弁の方はよろしいです。

次に、第3点目の観光施設の安全対策、指摘した箇所は島内でも地元島民観光客が多く訪れる場所であり以前にも段差の大きな箇所、2カ所を形質を変更し、段差を小さくして昇降しやすくしてあります。スロープの設置は厳しくとも、手摺りの設置は護岸の機能を減失せず設置可能だと思われまますので、転落防止の早急な対策を求めたい。よろしくお願ひします。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

今後、関係課と調整して環境面とかありますので、そういう環境にそった構造物を考え、設置に向けて検討したいと思います。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

以上で私の質問は終わります。ありがとうございました。

(棚原哲也議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで1番棚原哲也議員の一般質問を終わります。

次に13番玉城安雄議員の発言を許します。

(玉城安雄議員登壇)

○ 13番 玉城安雄議員

こんにちは、13番玉城です。私の方からは3点ほど質問させていただきます。まず最初になんですが、中学校の統廃合についてお伺いいたします。

23年の12月定例会議会において、中学校の統廃合の進捗状況について質問をした際、25年度を目途に取り組みたいという趣旨の答弁だったが、去った5月の仲里中学校区の地域説明会において、教育委員会は26年度に向け調整していると答えています。遅れた原因は何かまず最初に伺いたいと思います。

また、当事者校の保護者は統廃合に前向きであるとの意見が説明会の中で伺いました。今後、委員会としては25年度は無理、今後26年度に確実に統廃合を行うとの行政側の意思を住民に明確にしていくべきではないか、そのところも伺いたいと思います。

2点目は、久米島一周線(真我里～儀間間)の一周線ですが、歩道及び街灯の整備について伺います。

現在、真我里の終点から儀間の入口まで部分的に歩道の管理不十分で、それで街灯の未設置で非常に危険な状況であります。また、高校生の自転車通学者の帰宅時に夜は暗く危険な状態であります。中学の統廃合により、

久米島地区からの自転車通学も増える可能性もあります。この機会に整備する考えはないか。県道であるゆえに、事業主体はどうなるのか。調整は可能なのか伺いたいと思います。

3点目に、議会での一般質問の検討事項の報告について伺います。議場での質問において、「検討する」「考慮する」「努力する」等の言葉で結んだ答弁は、公開の場でもある議場で発したもので、住民に対しても約束したものであります。議会閉会后どのように対応し検討したのか、検討努力したができなかったのか等、その結果を次期議会冒頭で報告すべきであると思うが、どのように考えるか。以上3点伺います。よろしく申し上げます。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

(比嘉隆教育長登壇)

○ 教育長 比嘉隆

中学校の統廃合につきましては、これまで平成25年度を目標に取り組みと申し上げてきましたが、スケジュールが遅れて、25年度実施が困難になったことをお詫び申し上げます。今後も両中学校区での地域説明会、また、保護者の理解を得るとともに統廃合検討委員会からの答申を受け、26年度統廃合に向け進めて参ります。

(比嘉隆教育長降壇)

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

13番玉城議員の質問にお答えします。久米島一周線(儀間～真我里間)の歩道及び街灯の整備について。

街灯設置の可能性について、県に確認した

ところ、街路灯を設置する場合「道路照明施設設置基準」に準じて実施しているとのこと。この設置基準によれば質問にある箇所については要件に合致しないため県による街路灯設置については難しい状況です。しかし、現状を見ますと法線的にカーブ地点や街路樹が視線を妨げる箇所も多くあり、特に夜間は、かなりの危険性をはらんでいる道路だと認識しております。よって道路利用者の安全確保の面から今後とも県に対し何らかの手当を施して頂くよう要望して参ります。

一般質問の報告について、一般質問の答弁結果が、その後どうなったかについては、「一般質問その後の対応」として1年分をとりまとめ、毎年9月定例議会に報告をしています。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

それでは再質問いたします。まず最初に中学校統廃合について再質問したいと思います。教育長の答弁の中でスケジュールが遅れて25年度実施が困難と答えているが、そのスケジュールが遅れた原因は为什么呢。教育長。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

統廃合につきましても担当職員いるわけなんです。担当職員が兼務をしておりまして、その兼務業務が多忙ということになりまして、そういったかたちでの統廃合の事務作業が遅れたのが大きな要因かなということでございます。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

担当職員が兼務ということで遅れたということですが、ぜひこの統廃合に向けては町の一大プロジェクトでもありますので、担当職員を専任にさせていただいて進めたらそういうことにもならなかったんじゃないかなという気がします。

それから3月議会において25年度中に検討委員会を3回予定をしていると答えております。この検討委員会、第1回目は実施されましたでしょうか。課長お願いします。

○ 議長 喜久里猛

保久村学教育課長。

○ 教育課長 保久村学

ただいまの玉城議員の質問にお答えします。検討委員会は5月8日に実施しています。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

私も先だって5月の仲里校区の地域説明会も参加していろいろお話も伺いました。地域説明会の資料の中でも25年度を目処にしたタイムスケジュールが提示されていました。スケジュールを見ると本当に非常に過密で厳しいかなとは思いますが。既に委員会は26年度を目処に実施したいということで進めています。抱えている問題等、そこらへんをクリアして26年度に必ず実施するんだということでスケジュールを組み直して取り組まなければ、また今回と同じように26年にできません。27年に以降しますということにはならないか。そこらへんどう考えでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

これまで申し上げたとおり25年度までにはということで準備を進めてまいりましたが、去った久米島校区での地域説明会、仲里校区での説明会を開催いたしました。その中におきまして、まだまだ地域説明会が不十分だという指摘がございました。また両小中検討委員会の中におきましても、地域の皆さんの声を聞きながら検討委員会としても答申を出したいということがございましたので、そういったことで、まだ教育委員会の方としても作業の段階ということでございます。

これらにおきましては、再度6月18日、6月22日にそれぞれの校区で説明会を開催し、それと平行しながら検討委員会での答申をいただきたいということがございます。その後、改めて両校区の児童生徒、保護者へのアンケートを取り最終的に教育委員会の方で協議し、これをまた各学校の校長、あとPTA会長と協定書を結んで、そういったかたちで町長の方へ具申を考えております。26年度に向けて、またこれまで以上に推進したいということでございます。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

地域説明会にも参加して、やっぱり地域保護者の説明会の中での意見、質問等を聞いてみますと特に保護者に関しては統廃合に向けて前向きな意見が多いように感じました。アンケートも見れば、ほとんど前向きな意見でもあります。私は久米島地区の説明会には参加しなかったんですが、その中で久米島地区でも同様であるということも伺いました。このように統廃合はやはり当事者である保護

者の意見を尊重し取り組むべきだと思うがどうでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長

○ 教育長 比嘉隆

最終的には子どもたち、それから保護者の意見もアンケートとしてこれを集約し、これを私たちの教育委員会の方針として取り上げていきたいということでございます。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

確かにそのとおりだと思います。統廃合においては、地域の意見も非常に重要であります。保護者の意見もだいじであります。委員会は教育的観点から子どもの成長、保護者の求めている教育行政の要望を最優先にし、統廃合を推進しているということで推進していると思います。そう思うなら今後、積極的に取り組まないと、また先送りになる可能性があるとは考えています。今、久米島町においても先だって学力向上推進委員会も発足し、地域と家庭が一帯となって学力向上に向けての取り組みも始まっています。そのためにも今いろいろ生徒数の減少等で小規模学級とか、中途半端な学級といいますか、40名前後のぎゅうぎゅうした学級とか、そういうことも学力向上に対してもいろいろあると思いますので、そこらへんも解消するためにも統廃合を推進していただき教育環境を整備し教育効果を高めるべきだと思います。

先ほども申し上げたとおり統廃合は町の一大プロジェクトであります。そのまま推進していき26年度に中学の統廃合が終わると、次は、幼稚園、小学校と話が出てくるのは当然

であります。そのためにも統廃合に向けて職員を専属にさせていただき、年次計画を綿密に立てて町民に何年後にはどうなりますというのを開示し、進めて行って取り組むべきだと思うがどうでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

これにつきましては、7月いっぱいまで事務作業を全部整えまして8月には定例の教育委員会の中で審議いただき、そしてまた8月中には町長の方にお話申し上げて、9月の議会につきましては、これが仮称での学校の統廃合としての学校の場所、そして学校名ということがございますが、これは仮称として議会の方に上程するのか、それはまたご相談しながら9月議会で説明をするかそういった条例としての案を提出するか、それもいろいろ調整しながらこれからの統廃合を進めていきたいということでございます。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

今、申し上げたとおりいろいろ子どもたちの学力向上、教育環境の面からも、また財政面でいろいろ移転校舎と会則等もありますので、そこらへんも踏まえて早急に実現に向けて頑張ってもらいたいと思います。

それから19年度の比屋定中学と具志川中学の統廃合の結果、双方の保護者、生徒ほとんどが統合して良かったと答えています。その成功例を参考にして、計画年次に実現できるように、ぜひ取り組んでほしいと思います。町長、最後にコメントお願いいたします。統廃合に向けての。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

統廃合については、我々これまでいろんなかたちでやってまいりましたが、地域の反対にあったりとかいろんなことがございました。沖縄県下でも学校の統廃合については地域の大きな問題となっているというのが現状であります。ただ地域のために学校があるのか生徒のために学校があるのかという議論になった場合に、私は生徒のために学校があると考えれば早めに統廃合を進めていきたい積極的に進めていきたいというふうに考えております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

どうもありがとうございます。統廃合については、私の方からは終わりたいと思います。後ほど同僚議員の方からもあると思いますのでよろしくお願ひしたいと思います。

次に2点目、久米島一周線の街灯及び歩道の整備について質問いたします。答弁によると街灯の設置は街灯設置基準によると厳しいと、安全確保等の面からは県に要請をしていくということですが、県道であるため町としてはなかなか手が付けられないということは理解はしております。街路樹の高木また低木等その歩道については、維持管理が追いついていないような状況のような気がします。そこらへんを町として県と調整して対応できないかということで伺いました。建設課長どうでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。



○ 建設課長 盛本實

以前からこの区間に関しては、町民からも以前に議員さんからも話があつて管理に関していろいろ要望があつたんですね。それで県の方といろいろ調整したんですが、県としては予算の問題かもしれませんが、なかなか管理が行き届かない。逆に町の方が、今、県道管理に関してはかなり金を使っている状況がありまして、本来であれば管理者がやるべきなんです。それができないということに関して県に対して適正管理の要望はしている最中ではございます。

この件に関しては、いろいろ方法があるんですが、この植栽を全部取っ払ったらかなり見通しもよくなって、そこに道路植栽がそこに必要かどうかという部分もあるんですが、それを含めて県の方とは調整をしながらなんらかの対策ができないかどうかちょっと双方で検討していきたいと思ひます。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

今、町としても県とは積極的に調整しているという答弁をいただきました。私がこの質問をしたのは、その面と、この道路については、特に仲里側の高校生が通学的手段として自転車で通学している生徒が私が把握している範囲ではまだ20名ぐらいなんです。20名の生徒が利用しています。自転車通学している子どもたちは部活をしている子どもたちなんです。帰りの時に高校生ともなると8時とか夏場でも暗い時間に帰るとか、やっぱり非常に危険な状態であります。特に山中橋から工業開発あたりまでは、非常に暗くて危険な状態であります。工業開発前は企業努力で

電気装飾で明るくなっています。先ほどもいったようにそこから儀間向けは非常に高木等が繁茂し見通しも悪く非常に危険な状態である。先ほど建設課長も申していたんですが、この高木を剪定するのではなくて、思い切って取っ払って、木自体を取っ払って、取っ払った後植樹帯に花を植えるなり、そうすることによって多少は変わると思ひます。そんなことは考えたことはないでしょうか。答弁お願いします。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

その件も県とは調整はしています。ただ県としては財産処分ということで、どうなるかというのは検討するという事です。一昨年ですが1本は危険だということで町の方で倒した事があるんですが、それを含めて久米島全体的な問題があつて、やはり見通しが悪いという分では道路植栽というのが非常に危険な状態であり、県道に関しては、全体的な中から検討はしていきたいというふうには考えています。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

ありがとうございます。今、話した以外にも久米島中学と仲里中の統廃合の中でも学校は仲里中学校の後という前提で話も進んでおります。生徒と保護者のアンケート等から見ると、やっぱりいろいろ通学路の安全面とか通学をどうするかという意見に対しても自転車通学とかスクールバスとか約5、60%が自転車、スクールバスを利用したいと答えている状態ですね。この道路を整備することに

よって、この自転車通学が増えるんじゃないか、安全を確保してあげれば自転車通学が増えるんじゃないかなということもあります。確かにほんの10分ぐらいの距離ですので親が送迎をする場合もあるんですが、やっぱりこの通学というのは中学、高校生、親に送迎してもらわないじゃなくて自転車とかそういうのを利用して通学してほしいという考えからもそういう質問をいたしました。

先ほど課長から予算の面もありました。この整備、一括交付金で対応できる事業はないかということがありまして、前の議員の説明の中で一括交付金についての説明があったんですが、ソフト面は町が主体となってやりますが、公共的投資の中にハード部分の中に、該当する事業の中に、やっぱり交通安全施設整備補助金というのがあるんですよ。そこらへんを活用して、今、質問したその部分だけじゃなくても県道全体として要請はできないのか、そこらへんお伺いしたいと思います。よろしくをお願いします。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

私も一括交付金の中身、見ていないのでよくわからないんですが、そういう項目があるんであれば、それを含めて県に要請していきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

ぜひ、その中身を精査していただき、その事業で採択できるのでしたら、そこらへん町としても県に要請すべきだと思いますので、よろしくお伺いしたいと思います。その質問

については終わります。

最後になりますが、一般質問の検討事項の報告について再質問します。その後の対応として年1回報告していることは承知しています。

私が言いたいのは、例えば本日の議会で何名かの皆さんが質問いたします。何件かあります。このことの結果ではなくて、現地調査の経過報告を6月議会でしたら次9月議会に行政報告の中で報告できないかということをお伺いしているわけです。年1回では少ないような気がしますので、今回質問したのは、次の議会に経過報告をしていただきたいということで質問しました。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

一般質問の結果につきましては、1月から12月の分をまとめまして9月の定例議会に報告している状況でございます。

それとこれを町政、一般報告の中に盛り込むかどうかについては基本的な行事だとか、あるいは施設ができたとか、そういったものについては町政報告を入れるようにやっております。ですから完結したものについてはおそらく一般町政報告の中に上がってきていると思っております。ただ議員の一般質問というのは、なかなか困難な部分を取り上げてくるわけですから、そう簡単にやはりできましたというのはなかなか少ないわけございまして、そこらあたりについては、どういう方法がいいのかということについて、議会事務局と勉強して、できるどんな方法がいいか勉強していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

ありがとうございます。やっぱり議員の一般質問は年間にすると相当の件数になりますよね。中には行政執行にあたって本当に貴重で建設的な意見も提言もたくさんあると思います。やっぱり一般質問は住民の付託を受けた議員の活動にとって執行期間を監視する議会の機能から見ても非常に重要な意味を持っています。検討事項に対しては各課ごとでただちに対応したもの2、3年かかるもの何々計画に組み入れたもの当分は調査するもの、できないものでもいいんですよ。できないものはできないでけっこうですので、分類し各課ごとにまとめていただき年間を通しての結果を今は9月の定例議会にということですが、3月の年度末でもいいです。3月の定例議会でもけっこうですので、そういうことができないかという希望で質問しました。どうでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

時期の問題も含めてやり方も含めて、今やっちはいるんですが、けっして今のやり方がベストだとは限りませんので、そこを含めてただいまのご意見を参考にして議会事務局の方とも調整して検討していきたいと思っています。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

前向きに検討するということでお答えもらいました。私がこの質問をした真意は調査検討の言葉で議会の答弁を中途半端なものにし

てほしくないという思いから、この質問をいたしました。

前向きな答弁をいただきましたので、私の質問はこれで終わりたいと思います。どうもありがとうございました。

(玉城安雄議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで13番玉城安雄議員の一般質問を終わります。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午後 12時13分)

○ 議長 喜久里猛

午前に引き続き午後の会議を再開したいと思います。

再開します。(午後 1時42分)

5番宇江原総清議員の発言を許します。

(宇江原総清議員登壇)

○ 5番 宇江原総清議員

5番、宇江原総清です。私は3点質問をします。

第1は、鳥島射爆撃場の早期返還についてであります。福島第一原発事故から一年余を経た今では、放射性セシウム等は東京湾などの河口に集積する傾向にあること。富士山にも降ったこと等が報告されていること。また原子力安全委員会の暫定基準値を使った食品を1年間食べ続けた場合に年間5ミリシーベルトになる内部被ばく量が、今年の4月からは、ほぼ5分の1に引き下げられ、厳しい基準値となっております。しき位置がだいぶ低くなっております。

町長は、放射性物質の内部被ばくを鳥島射爆撃場の残留している劣化ウラン弾に置き換えて判断することはできるのか。また、鳥島射爆撃場が継続使用となっているために、米

軍の飛行場基地の返還を困難にさせていると思うがどうか。伺います。

第2は、コンクリート護岸の撤去と、これに伴う潮害防備保安林等の植栽についてであります。河川も含みます。

昨年3月の東日本大震災の際に、ある大手会社が25年前に海側に沿って、長さ数百メートル、高さ6mの土手に松等を植栽した築山に数百名が、津波から逃れたとのテレビ報道がありました。これからすると、築山堤防は、津波に強いことがわかります。モデルケースとして早めにシンリ浜のコンクリート護岸を撤去すべきだと考えるが、町長としてはどう思うか伺います。

また、河川の問題についてであります。今年5月19日に鹿児島県霧島市における全国ホテル研究大会に私は参加いたしました。約200人の参加者でありました。地元霧島市の熱烈な取組と、夜のホテルの乱舞には感動をいたしました。石と土で造成した用水路にホテルが乱舞する一方で、三面コンクリートの用水路にはたいへん少なかった。久米島では、本年4月20日から21日にかけての豪雨は、赤土を川や海に垂れ流し海洋深層水にも影響を与えたと思われます。町長に伺います。河川に対する自然工法と赤土防止対策はどうなっていますか。

第3は、沖縄角力協会久米島支部への助成増額についてであります。

今や沖縄角力に魅力を感じて見学者も多く、特に女性に人気になっています。この伝統文化をさらに発展させることにより、観光客のファンも増加すると考えています。さらには、中国との経済外交へのかけ橋にもなっていると思います。また、子どもたちへの適切な指導

や後継者育成が必要となりますが、町長としてはどう考えているか伺います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

5番宇江原議員の質問にお答えいたします。鳥島射爆撃場について、鳥島射爆場の劣化ウラン弾による内部被爆は、劣化ウラン弾の特性やこれまでの調査結果からないものと考えてます。

鳥島射爆場の継続使用が、普天間飛行場や嘉手納飛行場の返還を困難にさせているのではなく、嘉手納飛行場があるから、鳥島射爆場の返還が困難になっているものだと考えております。

コンクリート護岸についてですが、質問の件につきましては、以前から申し上げているとおり、既存施設の改修については多くの課題があるため、町としては今後新たに整備する河川については極力近自然工法で整備に向けて取り組む方針であります。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

(比嘉隆教育長登壇)

○ 教育長 比嘉隆

沖縄角力協会久米島支部への助成増額についてお答えいたします。久米島は沖縄角力の本場として多くのチャンピオンを輩出してきました。これは、沖縄県角力協会久米島支部による選手の強化育成・指導、島内の6場所の審判員、本島での10場所以上の生徒派遣を行うなど、積極的な支部の活動、支部員の努力のおかげであります。今後も継続的な活動

を期待いたします。

(比嘉隆教育長降壇)

○ 議長 喜久里猛

5 番宇江原総清議員。

○ 5 番 宇江原総清議員

第1の鳥島射爆撃場の早期返還について再質問をします。町長は鳥島射爆撃場の劣化ウラン弾による内部被爆の特性やこれまでの調査結果からないものとする、と答弁しております。以前の定例会における町長の答弁でも劣化ウラン弾による町民への健康被害については、現在も文部科学省による放射能検査が、年1回行われており、その結果以上がありませんので、健康被害はないものとするとしております。

私は、そんなに政府や、その天下り先である、今ここに配られております久米島における環境調査で財団法人日本分析センター、これは、文科省の天下り先法人で、こういったものが信用できるわけないですよ。

そういうこと自体、町自らはしないで、こういうようかたちを取られている限り、町当局自体も私は疑いをもっているわけでありませぬ。政府はこれまでも原子力発電の安全神話を吹聴し、いわゆる原子ムラを造り、それで飯を食べている官僚や御用学者等に絶対安全だという証言までさせてきました。良識ある学者や研究者の具体的な危険性の指摘にもかかわらず、これを無視してきました。今でも原子力発電の直下に活断層のある福井県の大飯原発や静岡県浜岡原発の再稼働に向けての理論武装やっています。

嘘も方便といったところでありませぬ。広島や長崎の原爆被害に関しても政府は現在でもアメリカ追従で内部被爆を認めてこなかつ

た。今時世界大戦で国に従順して戦ってきた国民を見捨てたんですよ。水俣病を含む環境汚染被害問題でも政治家、官僚、学者がこぞって環境汚染を否定し、数十年間水俣病患者の皆さん、その家族を苦しめてきた歴史があるわけです。

翻って鳥島射爆撃場に目を向けると、17年前の1995年に1,520発の劣化ウラン弾が打ち込まれ、その上に250キロ爆弾等が打ち込まれてきたのはまぎれもない事実であります。1,300発は今でも残されたままだと言われております。

2008年のホームページに当時の琉大教授である矢ヶ崎克馬氏のコメントが載っております。その内容はエアゾール微粉末化した劣化ウランの放射能により久米島をはじめ慶良間諸島や沖縄本島まで汚染している可能性が高く長期的に見れば原爆に劣らない環境汚染となるとこういうものであります。

また、町長は劣化ウラン弾の特性から内部被爆はないものとするとしていますが、イタリアはイラク派遣した自国兵士の劣化ウラン弾による被爆を認めて1,700人に35億円の損害賠償を認めているんですよ。そしてセルビア共和国のビンチャ核施設でも劣化ウラン弾にプルトニウム、これはとても悪性の強いものですが、これやウラン236等が含有されていることが分かっているなど、劣化ウラン弾が人体被害物質であることは証明されてきております。

このように日本の研究者や世界でも劣化ウラン弾の放射能と、それが健康障害を与えることが証明されつつある中で、町長の発言は、アメリカ軍と日本政府を擁護しているとしか思えませぬ。作家の柳田邦男氏がこう言って

います。日本は偽造改ざん隠蔽の文化だところというふうに強く非難しております。その体質を持っている文部科学省など政府官僚等の放射能による環境汚染調査結果を信じろといっても私は信じません。こういった財団法人日本分析センター、今、問われている行政法人なんですよ。天下りが多い、そういうところ。つまり政府とは一体化しているというものであります。そこで町長に伺います。劣化ウラン弾による環境汚染に批判的な矢ヶ崎克馬氏などで編成した調査チームで町独自の調査方法を考えることはできないかということであります。町長。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

私は、重ねて今まで答弁しましたが、日本分析センターが毎年行っているということ。しかし我々にとってこれが信用できないとなると日本全国で分析しているものが全てが信用できないという状態になっております。私自身、この日本分析センターの分析結果というのは、あくまでも専門家がやっているんであって全く天下りした役人がやっているわけじゃないということ、ぜひご理解いただいて、専門家が分析している部分は私は信用したいと思います。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

私が言いたいのは、これまでもそういった天下りした人たちのものが大事なときに嘘をついてきたと。こういう歴史的事実はあったわけです。今でもそうでしょう。スピーディーで20キロ先の飯舘村の所まで放射物質に汚

染されていることが分かりながら1カ月も全面避難をしなかった。こういうところが問題ですよとっているわけです。だから町独自でやってくれと、こういうことなんです。しかもこういった劣化ウラン弾による環境汚染に批判的な矢ヶ崎克馬先生等を含めた編成チームはできないかということですよ。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

ただいま宇江原議員がおっしゃいました劣化ウラン弾による被爆の問題については、そういったご意見をもっている学者の報告も見て承知しております。またその反対の学者もかなりいらっしゃるということで、この放射能の被害については、世界的に確定した統一見解というのはなかなかない、それだけ多くの研究がなされていないというのが実態であります。我々が行政を進めていくにあたっては、基本的には世界保健機構とか、そういった公的機関の判断をもとに行政を進めて行くというのが基本でございます。

それから劣化ウラン弾の事故が発生して平成9年から平成14年までの5カ年間については調査委員会を設けて精密な調査を行っております。これは鳥島射爆撃場に上陸して、その砂、周辺海域の海水、魚、海藻そして久米島、本島を含めて詳細な検査を5カ年間実施していますが、そのメンバーは文科省の職員だけではないです。県の職員も入って一緒に検査をいたしております。そういったことで客観的な報告書になって、その結果については、町民に報告されたものと認識しております。

それから町独自の調査につきましては、現

在、放射線測定器を総務課の方で購入して1回は測定をしております。測定のトレーニングも必要なので、2、3回やったあとに定期的に総務課、独自でも測定をしていきたいと考えています。

次に9月議会からは、総務課が測定した結果についてもご報告できるものと考えております。その中で少しでも異常が認められれば、また専門家の先生おっしゃるような先生方にもお願いするのも一つの方法じゃないかなと考えております。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

これについては、ぜひ部外の劣化ウラン弾に批判的な人たちも加えたチームを編成していただきたいと。そういうのが公平じゃないですか。今、隠蔽こういったものが日本文化だといっているんです。そういうようなことで、みんなが公平だと思われるような仕方をもって対応していただきたいということです。

次に、鳥島射爆撃場が継続使用となっているために米軍飛行場基地の返還を困難にさせているという私の質問に対し、嘉手納飛行場があるから鳥島射爆撃場の返還が困難になっているものだと考えていると。町長は答弁しております。アメリカ空軍の嘉手納飛行場と海兵隊の普天間飛行場は私は連動しているということを確認しております。

海兵隊は前線部隊であると同時に、物資輸送等の兵站の役割もしてるわけですよ。そういう機能も兼ねています。まだ米軍は2、3日あれば軍人軍属、撤収が可能であると言われております。従ってアメリカ軍は沖縄は

守らない。そのことは私が警察現職中の時に議論した結果であります。

普天間飛行場のみならず最近の嘉手納飛行場の爆音には、ひどいものがあります。ジェット戦闘機やヘリコプターは、これまで飛ばなかった地域の真上から我が物顔で飛んでいます。小さい子どもたちが飛び起きたりするわけですよ。未明からの非常用サイレンを鳴らし続けるなど異常な環境です。嘉手納飛行場基地もいらないという声も広がっております。今回の県議選でも中頭郡区、これは5名中4名が県政野党なんです。それも見ればわかりますよ。

鳥島射爆撃場は久米島を含め中部の人たちにも多大な迷惑をかけていることに、町長、心痛みませんか。伺います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

以前にも答弁しましたとおり、我々は、今、沖縄県の軍転協において普天間飛行場と並んで鳥島射爆撃場の返還を求めてきております。これについて軍転協の要請文を見れば分かると思いますが、返還を求めないではなくて、返還を求めていくという意味は、これまでも、私、皆さんにお伝えしたとおりであります。射爆撃場があるがために漁民の皆さんとか、あるいは周辺の自治体にも間接的な被害というのは、これはあるかもしれません。

しかし、ここらへんについて、例えば我々が周辺の市町村にどうする、こうするという、今、状況ではないんじゃないかなというふうに思います。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

町長、もう皆さん方、忘れていると思いませんが、その前に普天間飛行場と、この放射能物質の疑いが高い鳥島射爆撃場、しかも実弾射撃訓練をしているんですよ。銃弾のみならず砲弾も含めてです。そして4年前には、皆さんが忘れていると思いますが、250キロ爆弾を誤って落としたとこういうような漁業従事者の危険性も、しかもこれがさらに大きい鉄製の船に当たった場合にはどうなるかと、そういうようなことを考えると背筋が寒い思いをするわけですが、皆さん方は普天間飛行場と鳥島射爆撃場は全く違うんだという認識がない。また危機管理もないと僕はみております。

町長、これまで説明したとおり、嘉手納飛行場の問題にしても、私は、嘉手納飛行場が返還されても専守防衛には心配ありませんよと言いたい。世界を見るとフィリピンではスービックアメリカ軍基地返還を勝ち取った後に、跡地を自由貿易特区として韓国、アメリカ、日本などの200の外国企業が進出しております。基地であった時の5倍の雇用が増えたといっています。

また南米のエクアドルでも住民投票でアメリカのいいなりの外交を根本的から改める選択をしております。この事例から見ても鳥島射爆撃場を返還をやろうと思えば早期に返還することは可能だと私は思っております。

そういうような考えで、ぜひ久米島は行政も一般の方々も一体をなして、早期に返還を勝ち取らない限り、私は久米島の明日はないと思っております。

次に第2のコンクリート護岸の撤去とこれに伴う潮害防備保安林等の植栽についての再

質問であります。町長は既存の施設の改修については多くの課題があると。そして困難な意向を示しておりますが、造られた物は壊さないという従来型の考え方に固執していますが、これが私は残念でなりません。

県の南部農林土木事務所や関係は、松や防潮林そしてサトウキビに塩害がおよんでいると、その原因はコンクリート護岸にあることも以前からわかっております。でコンクリートから人へのキャッチフレーズと農業、漁業を支援する自然再生を進めつつあるわけです。

県の農林土木関係事務所が一括交付金を多く確保できているようですが、町長は、ぜひ県に乗りこんで行って、シンリ浜をモデルケースとしてコンクリートのない昔の自然豊かな浜辺を取り戻していただきたい。町長の意見を伺います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

コンクリート護岸については、以前から宇江原議員からいろいろご指摘をいただきましたが、ただ大事なことは、塩害とコンクリート護岸の因果関係というのがなかなか難しいということですね。例えばリーフでも潮の飛沫が飛びますし、特に大原あたりは大きいリーフがありまして、そこからも潮が飛んできるとかあるいは漁協前の一文字の消波ブロックそういう所からも飛んできると、一概にこのコンクリート護岸があるからそこから全部潮が飛んできてサトウキビが枯れる、そういう理論はなりたたないと思っておりますが、ただ確かに見た目とかあるいは昔の自然のまま残したいという思いからいけば、そのコンクリー



トは全くない方がいいです。しかしながら、今世紀に入って、例えば南方あたりでは、島が沈むというぐらいに潮位が上がっている、その潮位が上がってイーフビーチあたりでもモクマオが相当流されました。アイランドの前でも、それで陸地を守ろうという意図から謝名堂の護岸ができたとか、そういう目的があって造られた護岸をやっぱり我々が元に戻すというには何らかの根拠が必要ということで、これまでも非常に難しい問題だったということをご理解いただきたいと思います。

ただ我々としては、赤土防止の件もそうですが、この点についても町としてもこれまで取り組んできました潮害を防ぐために防潮林も整備してまいりました。思いは一緒だと思うんですが、そこらへんは詳しいことは建設課長がよくご存じですので、建設課長に振りしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

基本的には町長が答弁した内容なんですが、要するに、この物というのは必要があって造られたわけですね。それはどういう理由かといいますと、国土保全の部分とか農地保全、要するに背後に保全すべき物があって、それは造られている。

それを取り壊して、築山を入れて植栽ということもあるんですが、その分に関しては、補助事業の一つにそれが良い物なのか悪い物なのかちょっとわからないんですが、一旦造った物にかんしては補助金の適正化法という制約がある。適正化法というものは、造られた物というのは耐用年数があるので耐用年数は国民の金を使っているものに対しては、対

応年数は守ってくださいと、よっぽどの理由がないとそれは取り壊しとか出来ませんという一つ法律とかもあるもんですから、なかなか県としてもある程度、護岸という部分にかんしては、必要悪という思いも持っている方々もいらっしゃいます。そういう話も聞くんですが、なかなかその考えだけでは、物を取り壊すということが非常に難しいということでございます。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

これね非常に簡単ですよ。台風時、台風直後に現場、見たらいいですよ。はっきりしています。そういうようなことで、壊す公共事業も必要だと、壊しながら地元の建設業界も育てていくとこういうような方向転換をしないと県、国からの事業は取れませんよ。そういうことで、町長も建設課長も、ぜひ頑張ってもらいたい。

次に、鹿児島県霧島における全国ホテル研究大会に参加しての感想ですが、三面コンクリートの川よりも、だんぜん石積みの川にホテルが乱舞しているということが見られたことから近自然工法よりも昔の川に戻していただきたい。そのためにも数年後は再び同大会を久米島で開催できるよう課長クラスの職員を次回開催の北九州大会に派遣をし、誘致のピーアール働きかけをすべきじゃないかということで伺います。

これ町長の方がいいな。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

これは直ぐ答えが出るものではありません

ので、検討します。

○ 議長 喜久里猛

5 番宇江原総清議員。

○ 5 番 宇江原総清議員

次に、赤土防止対策についてであります。

4月の豪雨でもそうですが、6月9日から10日にかけての大雨も海にたいへんな赤土を垂れ流しています。赤土が流れていないのはホテル館の側を流れる浦地川のみだったです。海洋深層水に赤土が影響なかったかを伺います。

また大原地区が冠水したと聞いていますが、どの程度の冠水であったかということと、今後の対策をどうするのかということをお合せて伺います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

海洋深層水に赤土の影響がないかということですが、これまで深層水研究所ができて10年余りフィルター一度も交換しておりません。ということは影響はないと考えております。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

先だつての雨で大原地区の一部に関して冠水がありました。作目は葉タバコの畑が冠水して1日で減っていますが、ただタバコは1回水に浸かるとほとんどだめになってしまいますということもございまして、他の作目であれば1日ぐらいでの冠水では大丈夫だったんじゃないかなとは思ったんですが、葉タバコということで、かなりの被害が出たということですね。原因は、道路の暗渠の詰まりが原

因です。

○ 議長 喜久里猛

5 番宇江原総清議員。

○ 5 番 宇江原総清議員

ぜひ、県の南部農林土木事務所等と相談しながら沈砂池を設置するなど、ぜひその対策を取って、農家に被害がおよばないような措置をとっていただきたいということでもあります。

次に、第3の沖縄角力協会久米島支部への助成増額についての再質問であります。執行部が角力協会に継続的な活動の期待と求めるというのではなく、私が、伺っているのは助成増額をするのかということをお聞いているわけです。再度伺います。

○ 議長 喜久里猛

保久村学教育課長。

○ 教育課長 保久村学

ただいまの質問にお答えします。角力協会への助成金につきまして、本年度アップをしております。本年度は5万円のアップをしております。24年度はですね。

○ 議長 喜久里猛

5 番宇江原総清議員。

○ 5 番 宇江原総清議員

これから助成増額をするのかということなんです。それに教えてください。

○ 議長 喜久里猛

保久村学教育課長。

○ 教育課長 保久村学

ただいまの質問ですが、本年度は5万円のアップをしております。ここの助成につきましては、他の団体等もありますので、町の行政改革の中で検討していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

5万円増額したということですよ。私はこんな微々たる金では、とてもじゃないけれども伝統文化たる沖縄角力というのは残せないと。それも観光事業に直結するものでありますので、もっと積極的に踏み込んでいただきたいと思っております。

因みに久米島角力協会では、最近、宮古島に6月16日から6月17日、力士6人と役人2人が派遣されます。それから神奈川県にも7月28日から8月31日、6人の力士と役員2人、南大東に9月23日から9月24日、力士15人と役員4人ということで、さらに増えてくる、こういうようなかたちでだいぶお金を使うということも加えて子どもたちの怪我をしないような、そういうような後継者育成、そういったものにも金をもっと使っていただきたいというふうに要望をしていきたいと思っております。というのは、私も県警で少年担当補佐も長いことやっていましたが、青少年育成のためには、そういったスポーツ少年団の育成もたいへん重要ではないかというふうに考えておりますので、ぜひもっと大きな増額というかたちで検討をしていただきたい。そして、もう一つは私の個人的な意見であります。沖縄角力をとおしての中国との文化経済交流を推進されたらどうかということでもあります。例えば真謝の天后宮角力大会に中国の在日大使を案内すればいいと思います。真謝の天后宮は、ご案内のとおり250年前に真謝泊港外で中国の冊封使一行200人余りを救助した歴史があります。そのために海の安全を祈願するために菩薩堂が建立されたこ

と、また県知事も中国観光客を県内への呼び込みに積極的に推進していることなどがあげられます。文化経済効果をより向上させるためにも、ぜひ、久米島支部への助成増額をしていただきたいと、こういうふうに考えておりますが、もう一度。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆育長。

○ 教育長 比嘉隆

今、お話にありました真謝で行います角力大会におきましては、小学生が5、6時間授業を活用して久米島支部のご協力をいただきながら学校行事として子どもたちが角力をやっています。また島内の5字そして久米島まつり6場所におきましても中学生、高校生の子どもたちが一生懸命指導を仰ぎながら沖縄角力に取り組んで、まさに沖縄の文化ということで、今推進しているような状況にございますが、先ほど担当課長の方からもありました。これは各種団体がございます。これは体育協会も各団体がありまして、文化協会も各団体がありまして、そういったところからの助成金の増額という話もありますので、これにつきましては、行財政改革の中でいろいろ精査するということがございますので、そのへんも踏まえて今後取り組んでいきたいということがございます。

また外国との交流につきましては、今日の新聞には韓国とのシルム大会の沖縄県の派遣ということがございまして、韓国との交流これからおきましては、中国いろんな交流があるかと思いますが、そういったかたちで沖縄の文化の交流ができるかと思っています。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

## ○ 5番 宇江原総清議員

中国も今や共産主義経済から脱却して自由主義経済に変わってきているルネッサンスを迎えているわけです。そういうようなかたちできているものを、まだ中国経済というのは、非常にまだまだ強いということと、中国には水が不足するというような実態があります。例えての話ですが、久米島には水が豊富にあります。深層水もそうですが、そういうような物を東京に売るのも良いですが、中国に向けて大々的に売り出したらより経済効果も高いということも私は考えているわけです。従って真謝の菩薩堂角力大会の時に、在日中国大使をお呼びして文化経済交流を図るべきだと、こういゆうふうに思っております。

だから久米島の今後というのを考えてみたならば久米島には、キクザトサワヘビ、これは中国の雲南省だったかな向こうの兄弟分がおります。久米島はホテルも向こうの流れじゃないかといわれております。そしてその他にも中国との大陸続きの時の歴史そういったものが、まだ生物学的にも残っているようです。その意味からも容易に駐日中国大使をお呼びできるのではないかと、こういうような意味でも、ぜひお願いをしたいというふうに考えております。最後に町長のコメントをいただきたいと。

## ○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

## ○ 町長 平良朝幸

中国大陸との交易の話までいきましたが、角力協会につきましては、これまでは本当に協会が頑張ってくれて後継者育成もできているということです。ただ私どもは、今、財政改革の中で各団体への補助金というものを見

直しつつありまして、やっぱり申請、補助するというので、これまで補助金をずっとやっていただけじゃなくて何に使うという目的の補助金があれば我々も各団体から今は和牛組合の団体ですが、これは畜産振興のために組合を作って、それに対する補助金もだんだん自分たちで活動できるようになって、だんだん減らしてきて、今7万円ぐらいかな、そのぐらいになってきている状態を考えますと、これも全体的な中で考えていかないといけないんじゃないかなというふうに思います。

そして中国から駐日大使を呼ぶという話ですが、これは私の頭脳では今のところ考えておりません。ただ確かに宇江原議員がいわれるとおり、私ども、今、久米島の産業というのは目は中国に向かっています。香港で先々週、物産展、久米島ブースも作って、そこでクルマエビ、モズク、ウミブドウ等を展示しています。そして来週は貨物船が花咲港に入って、その貨物船で阿嘉の水天然水の中城港を経て本土と中国というふうに、今、計画をしているということです。ですから中国との関係というのは、これからも我々の売り先というのはそこじゃないかなというふうに思います。

中国大陸との交流というのは確かに以前から琉球王朝に征服されるまでは独自で交易をしていたんじゃないかという形跡があって、非常に古い歴史からいいますと揚子江の大河のイタヤガイが阿嘉の山の山中に化石があるとか、いろいろ昔は繋がっていたということがありますね。

浙江省にあった紫金鉱が久米島に、栄えて久米島にあるということは中国と結びついて

いたんじゃないかなと思います。これから機会があればそういうところまでひっくるめて考えていきたいというふうに思います。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

町長の今のコメントについて、ぜひ前向きにやってもらいたいと同時に前村基金というのが、2億円ありますが、これをそういった角力協会あたりの助成増額というようなものとかに3カ年4カ年ぐらいで使い切るぐらいの思い切った措置も含めて考えてみたらどうかと思っております。

ストックしてもわずかの金利でしょう。ということで町長に前向きな姿勢で対応していただきたいということで私の質問を終わります。ちょうどですね。

(宇江原総清議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

どんぴしゃの質問時間有効につかってくれました。これで宇江原総清議員の一般質問を終わります。

次に12番仲村昌慧議員の発言を許します。

(仲村昌慧議員登壇)

○ 12番 仲村昌慧議員

12番仲村です。通告書に従いまして2点質問します。

まず1点目、持ち家手当についてであります。持ち家に対する住居手当をめぐっては、平成21年に国が廃止したのを受け、総務省が地方にも見直しを要請してきましたが、沖縄県は38市町村で制度が残っています。持ち家手当とはどういうものなのか。本町は、この制度が残っているのか。残っているとすれば、今後見直す考えはないかお伺いします。

次に、ショウキズイセンの群落についてであります。ショウキズイセンとは紅い花が彼岸花といますが、彼岸花科の黄色い色をした物がショウキズイセンであります。久米島には沢山自生していて、おそらく全国では久米島が一番数としては多いと思っています。このショウキズイセンの植物を久米島の資源として久米島の島おこしをしたいということで、私はこれまでショウキズイセンの群落について今回で3回目の質問をします。平成7年から平成12年にかけて、だるま山公園一帯に約3万球のショウキズイセンの群落ができました。毎年10月に黄色いきれいな花を咲かせて、人々の目を楽しませてきましたが、近年は花数が減ってきています。一方、昨年空港入口より長竹松並木に向けて、かなり多くの花が咲き大変好評でありました。去年の写真がございしますが、これ10月に咲いた写真です。18年にこの場所に試験的に植えてみようということで植えましたら、元々は彼岸花は、原野、山林の中に自生する植物で半日陰の植物でありまして、この場所を試験的に植えましたら見事に4、5年かけて見事に咲きました。この松の木とこの薄暗いところで生える黄金色が非常にすばらしいと沢山の人から好評ありました。

この彼岸花の群落の規模拡大をこれからお願いしたいと思っております。

私は、ショウキズイセンの群落の規模を拡大し、迫力ある群落を造ることを提言してきましたが、財政が厳しい中、年次的に計画を立てて進めるのが厳しい状況でありました。幸い今年度は、一括交付金によって「球美の島緑化推進事業」で、ショウキズイセンが保護増殖の対象植物となり、今後ショウキズイセン

の群落の規模拡大が期待されます。ショウキズイセンの増殖・植栽計画、群落づくりについて当局の見解をお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

12番仲村議員の質問にお答えいたします。持ち家手当てについて、持ち家に対する手当てについては、住居手当の中で自己の住宅を新築または購入した場合5年間に限り月額2千500円を支給するもので、本町もこの制度が残っています。給与度の運用は、国、県に準ずることになっていますが、国と県の制度が異なる場合は、原則として県に準ずることになっていて、県もこの制度が残っています。今後について、県や他市町村の動向もみながら職員組合と協議したいと考えております。

ショウキズイセンの群落について、現在、町では5年計画でショウキズイセンの増殖に取り組んでおります。今後一括交付金を活用しショウキズイセンの群落づくりに取り組んでまいります。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

持ち家手当てについて再質問します。今年の1月23日に朝日新聞で橋本徹大阪市長が持ち家手当ての廃止方針を打ち出したことを報じました。そもそも、なぜ持ち家に手当てが付くのかとネット上では話題になっています。大阪の職員約38,000人のうち約半数が手当てを受けており、もし手当てが廃止されれば年間総額20億円ほどの削減効果があるといわれています。

これはネットに寄せられたいろんな声であります。これって大阪だけなの？ 全国だともっとすごい額になるんじゃないの？ 調査してみしてほしい。

3月16日に総務省が公務員の給与の調査結果を発表しました。17日のタイムス、新報、両方でそれが報じられました。本町でも町民から疑問の声が上がっています。現在、本町のこの実態は持ち家に対する対象人数それから額についてお示し願いたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

本町についても持ち家手当てについては現在残っております。対象人員が11人、支給月額が2,500円×11ですから2万7千500円、年間で33万円となります。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

住宅手当も含めてですが、久米島町では賃貸住宅で58名の方が支給対象になっていて月々平均2万259円支給されています。それが月総額175万5千円になります。1年にすると1千410万円。それから持ち家の答弁がありました11名、月2千500円のトータルで2万7千500円、これをトータルで年間しますと33万円、両方をプラスしますと年間1千443万円になります。このような状況は町民の皆さまにも知っていただきたいということで今質問しました。

それから、この持ち家手当ての廃止が打ち出されてから、このような意見が出されています。改革が目に見えるレベルで素早く実行されている。これこそ国民が望んだ姿だ。と

橋本市長を評価しています。関西は狂っているいままでの首長は何をやっていたんだ。またこういうこともあります。この風潮を全国自治体にも広めてくれ、どれだけ無駄に税金が使われているか徹底的にあぶり出せ。という声も上がっています。これじゃいくら税金を払って足りんわ。という大阪府民の声があります。次にこういう声もあります。一般市民が払った固定資産税で公務員の住居手当が支給されているんだよ。次に、こういうこともあります。民間の手当ての財源は自分で稼いだ金、公務員の手当ての財源は他人の稼いだ金、この違いはわかれよな。という声もあります。そのような状況の中で久米島町は今の答弁にあったように、県、他市町村の動向を見て検討をすると、町長これは事務的な答弁にしか思えないんですが町長、今のような声を聞いて町長はどのようにお考えなのか。持ち家手当てに対する。お聞きします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

例えば公務員の給与について、議員の給与もそうですが、私の報酬もそうですが、各市町村と同じような方向性を持たないと非常に将来的に、例えば、私は町長ですが、それがずっとやるわけではないし、議員の皆さんもそうだと思います。ですからそこらへんは非常に難しい問題がありまして、もちろん職員の組合との関連、あるいは他市町村との関連非常に難しい問題がありますが、できれば、この件に関してはここに書いてあるとおり職員組合と協議したり、あるいは、他の市町村の動向を見ながらやっていきたいというふうに考えております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

今、全国の1,794自治体で、これを廃止したのが、999自治体、57%の自治体が廃止しているんです。しかし、47都道府県の中で16道県が廃止しています。道県の比率としてはわずか34%ですが、各自治体は57%に上がっています。県に準じなくても各市町村でできるということなんですよ。

沖縄県では、今帰仁、それから粟国村、それから多良間村、その3自治体が支給しておりません。久米島町の町民の平均所得、町長もご存じだと思いますが、200万前後ですよ。そういった中でアパート住まいしている人たちが4、5万のアパート借りながら非常に苦しい生活を送っているんです。それが公務員が2万円余りの毎月の手当てがある。それは町民にとってもおかしいよねと言わざるを得ないと思っています。

それでも町長は、今のような答弁をなさるんですか、僕は早め目に、これは島民の批判が多くないうちに早めに僕は検討すべきだと思っています。いかがお考えでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

この住居手当てについては、今、説明があったとおり、全国的には、大方、廃止されていますが、沖縄県だけ41市町村中3市町村除いて全部残っているという状況にあります。これについては、おそらく人事院勧告制度が基本的にこれまでは、ずっと国も県も同じような答申でやっていたわけですが、地域給の考え方が入ってから必ずしも国の人事院勧告

と県の人事委員勧告が異なることが、この3年ぐらい出てきたんですね。異なった場合は、市町村は基本的には県に準じますという考え方があります。これは低いときも、要は国の削減幅より県が大きいときも含めて、県に準じますよという考え方があります。これは21年度の人事院勧告で出まして22年度から実施ということになっているわけですが、県についても給与の特別カットがございました。一律カット、特別条例に基づいて、そういった条例の関連もあって、おそらく、今現在残っているのではないかと考えています。

本町についても4年間、給与の特別カットをして約4億円ぐらいの給与カットの協力を頂いております。そういうことで現在残っていますが、仲村議員がおっしゃるような住民感情もあるということも承知しておりますので、それも踏まえて職員組合とも協議をやっていきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

今、総務課長の答弁では、カットというんですが、しかし、今年の4月から国家公務員7.8%カットされる。それで逆に逆転するんですよね。今回、それご存じだと思うんですよ。それはもちろんとおらないと思います。

総務省では、各自治体の持ち家手当の見直しを認めて、多くの自治体が廃止に踏み切ってきております。もうこの手当の廃止は必然的になってきているんですよ。町長。事務的には今の総務課長の答弁でよろしいと思うんですが、町長の考え方として、私は、早急にそれを見直し廃止の方向で検討すべきじゃないかと思いますが、町長再度お願いしま

す。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

これは、私が、見直すということで直ぐできるわけではありませんので、職員組合と協議して前向きに進めていきたいというふうに考えます。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

橋本市長は、はっきりと見直すと言っていますが、町長も町民の住民感情を考えて、検討していただきたいと思います。

次に、ショウキズイセンについて、再質問をします。実は、私、平成16年にこの質問をしました。旧具志川村では、平成7年から平成12年にかけて3万300球の球根の群落ができました。そのときに、この3万球の球根の10倍、30倍を増やして規模拡大を提言してきたわけではありますが、年次的に増やしていくということでの答弁がありました。

その後、平良朝幸町長になってからも計画して作っていききたいと述べておりましたが、なかなか予算の関係もあって、年次的な計画ができていないような状況であります。

実は、昨日、空港入口がら長竹の終点というか、そこまでの距離を測ってきましたが、約1.7kmあります。これをおそらく30万球では足りないと思うんですが、まず球根を30万球を増やしていただきたいなど、5年の年次的計画でもって、やっているとおっしゃっていますので、幸いにして今回の一括交付金がありまして、特に今回の一括交付金、地域の創意工夫が発揮でき地域の活性化に繋ぐ事



業にまさに合致すると思っておりますので、この5年間で1年間1万球増やしていくと5年間で5倍になるんです。それで5年間をずっと1万球増やしていきますと25万球、今ある物含めて約30万球になりますので、6年目から5年間かけてトータルで10年間かけて、この迫力ある群落を作っていただきたいと思っておりますが、これについて担当課の方からお考えをお聞きしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

ただいまの質問にお答えいたします。以前、仲村議員からご質問いただきまして、町としても、だるま山公園からショウキズイセンの球根を株分けして、現在、町の苗畑で5年計画で増殖をするということで頑張っております。そうしますと今の苗畑の面積でも足りないと感じております。幸いこの一括交付金を利用して、県内に久米島町以外にも黄色いショウキズイセンが2カ所3カ所咲く地域がございますので、そういう地域から球根が購入できるか、調査もやりまして、計画的に球根を増やします。おっしゃるとおり昨年、空港のそこがたいへんきれいに咲きました。我々も写真を撮って町のホームページにアップしまして大変好評いただきましたので、やはり目で楽しむ、そして口伝えでいろんな話を聞いて、それを見に来る。いつ頃咲きますかということで電話の問い合わせもございませんので、環境保全課としても積極的に球根を増やしていきたいと思っておりますので、いろいろそういう島内でも個人的に球根を持っている方々がおりますので、いろんな情報も提供してくれる方々がいれば一緒に協力して取り組

んでまいりたいと思っておりますので、ご協力お願いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

2000年頃でしたか、沖縄大学の元副学長の山門健一先生が講演しておりましたが、久米島のショウキズイセンはたいへん珍しい花であると、オランダのチューリップ畑、それから北海道のヒマワリ、ラベンダー、それから宮崎のコスモス、そして菜の花に匹敵するぐらいの名所になりますよということを述べておりました。そしてこの彼岸花研究家の松江幸雄氏という方、高齢者の方ですが、埼玉県の高田市高麗本郷巾着田に300万の赤い彼岸花の群落があるということで、これが日本一の群落だといっております。他にも群落があるんですけども、しかしショウキズイセンによる群落は見たことがございませんとおりました。この先生はかつては彼岸花は縁起の悪い毒を持った花で忌避されていましたが、今では妖艶な美しい花として愛好され、秋の風物詩として文芸作品にも多く登場するようになったといっております。

実はこの花言葉が以前は「悲しき思い出」という花言葉でありましたが、これを返上して律儀にも季節をちがえず咲く、この花に、この先生が「決して忘れません」という花言葉を呈しております。ぜひ、この迫力ある群落を作って、そこを訪れる人たちに、決して忘れませんという感動を与えてほしいと思っております。

担当課のみなさん、ぜひ計画を立てて進めていただきたいなど、この山門健一先生はこういうことも述べています。

計画は実践のためにある。実践は確かな技術に裏打されていけないといけない。緑の技術が、これまでの技術の世界の中では、ないがしろにされてきました。今では重要性が認められつつある。その技術を有する者、その必要性を心の底から理解できるものは極めて少ない。そんな状況の中で私たちは知恵を出し合って、新しく築き上げるという作業が必要とされている。それができるのはお互いの誠意であり、信頼であり、また強い意志と柔らかい心を持つことであると述べています。一緒にこの群落を作っていきましょう。町長、最後にコメントをお願いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

これまでショウキズイセンについては以前から仲村議員が、ご尽力でいろいろ町も株分けしてもらって増殖してきたわけですが、我々は今回も緑化推進事業の中で、このショウキズイセンあるいは久米島のツバキ特有のツバキそれと久米のサクラいろいろな植物をどんどん増やしていこうというふうに思います。ただひとつ問題は何処でもそうですが、伊江島あたりはテッポウユリが非常にきれいに咲きます。やはり役場が植えて、やることはできるんですが、なかなか細部の管理というのは住民の皆さんの参加によるボランティア活動というのもこれからの問題じゃないかなというふうに思います。これもひっくるめて積極的にやっていきたいというふうに思います。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員の質問を終わります。

(仲村昌慧議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

次に6番安村達明議員の発言を許します。

(安村達明議員登壇)

○ 6番 安村達明議員

安村でございます。2点ほど質問というよりは、お願いという気持ちの方が強いものですから、久米アイランド前の道路整備について1問目です。

平成20年頃にもイーフ地区の道路整備を要請したが、未だ整備されておらず比嘉から久米アイランド前道路は、交通の便が悪く苦慮している。観光シーズンに入る前に、せめて道路の中央線だけでも早めの対策をお願いしたい。

2問目は、鳥害について、鳥害に対して町の現在までの取組を伺いたい。特にカラス、高齢者の方々から悲痛な声があり、私もそのの方々への対応に苦慮している。そして、今後、町の取組はいかがでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 平良朝幸町長

6番安村議員の質問にお答えいたします。

久米アイランド前の道路の整備について、同道路の整備については、国庫補助による事業採択について毎年県に申請をしていますが、採択要件に合致しない部分がある事や県全体での優先順位の理由により依然として未採択のままです。しかし、この路線は県道と観光地を結ぶ重要な役割を担っているため、ぜひとも整備が必要であると考えています。今後も事業採択の目処がつくまでねばり強く要請してまいります。

次に、区画線の設置による交通事故未然防

止対策については、早い時期に対策を講じたいと思います。

鳥害について、捕獲かごで有害鳥獣であるカラスの対策に取り組んでおります。区長会からも同様の要望がございましたので、現在新たな捕獲カゴをいくつか作成しカラスの対策に取り組む計画でございます。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

今から4年前ですね。そのときの質問に対しても、町長はこの路線は交通量、歩行者が多く道路も悪く交通事故が多発の危険性をはらんでおる。急な整備が必要と感じていると。早期対策をやりたいということをお答えおられます。

盛本課長、久米アイランド前の道路に関して旧仲里村の事業でやっています、10年ぐらい前です。イーフの商店街前の道路はそれより早く、14、5年余りを経過していると、この答弁の中でも銭田から県道に接する箇所など一時改良済みということもあるんですが、早めの措置をしたいということをお話されておりました。

今度は、イーフ地区方面はマラソン、自転車、駅伝コースでもあるし、これからいろんなものがイベントとして、活用されるような状況の所なんですね。そういうところで中央線さえ整備されておらず、対面通行ですので、よくそこで事故が起こらないもんだなということで、とってもみんなが疑問に思っているわけですよ。そこで警察関係の方がいらっしやらないもんだから、消防長、あんたあれでしょう、消防車両、緊急車両運行しています

よね。そういう対面通行で中央線がない道路通るとき、どういうことに注意しますか、答えてみてください。

○ 議長 喜久里猛

上里浩消防長。

○ 消防長 上里浩

特に県道等の場合には安心して通れるんですが、歩道等のない道路、それから非常に道の悪い道路、特に迅速に行くためにはある程度のスピードを出す必要があります。災害時に、そういうときにもやはりそういうような状況ですと最終的に自分たちの目標が遅れる場合があります。

また、救急患者等の搬送等につきましてもやっぱり振動を与えないで静かに運ぶというのが理想的ですので、そのへんも含めると本当に道というのは、誰でも安心・安全に走れる歩けるというような状況であってほしいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

道路を通行するときは運転技能上手い人とか慣れてる人とか、中央線なんか見ていませんよ。漠然と運転していますよ。ということは前から車が来ればそれに対しての反応ができていますから、しかし僕がそういう話をすれば事業的な欲、入ったような話になるんですが、やはり教習生の指導する立場になりますと、それでは上手いかわない。最近、高齢者講習が始まって高齢者の方々が一生懸命免許を維持して持ちたいという気持ちで高齢者講習を受けに来るわけですよ。でもその人たちの実力からいけば、対面道路で中央線のない道路でよく車を運行、自

由にさせていると、いつか大きな事故が起こります。それで免許課の方から、今度注意されたことがありますして、あなたは議員である前に会社の設立者であり校長でもあると言われ、グーの音も出なかったですよ、僕は。町にお願いして4年経って何の進展もないじゃないですか。町長コメントがあったら。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

整備に関しては努力をしているところではあるんですが、なかなか事業化ができなくて、現状というかたちになっております。いろいろ悪い状況も重なってはいるんですが、その採択に向けての条件ですが、今後とも粘り強く県、国に対しての整備要請はしていきたいと思えます。

区画線に対しては直ぐにでもやりたいんですが、区画線を引く業者が沖縄本島にしかいないものですから、このためだけに呼ぶとかなり金がかかるということで、現在町の事業で縦断線やっていますして、その縦断線が来月の中旬ぐらいに終わります。舗装終わって区画線を引きますので、それと同時にその道路も区画線は引きたいと考えています。

○ 12番 安村達明議員

何月？

○ 建設課長 盛本實

7月の中旬頃です。来月です。

○ 12番 安村達明議員

いい話です。

○ 議長 喜久里猛

12番安村達明議員。

○ 12番 安村達明議員

これは読み上げる状態になるんですが、現

在に至るまでは、何時か整備をするだろうと考えていました、私は。これからの試験は大目に見られないよということを、この前しっかりとと言われております。

今まで対面通行で危険性があれば試験官が補助してあげて、ですから久米島で免許取れない人は、他の所では免許取れないよというぐらい試験官は運転免許を考えて今まであげていたんです。

僕が自動車学校を始めたのは昭和46年なんですよね。40年はなります。この40年の間に3世代変わってきました。戦前、戦後、復帰前後、最近、復帰前後生まれの方が試験官となって来るようになったんで、まだ要請中の方がおられます。こういう方たちは真面目で律儀であまり融通が利きません。こういう道路で大目に見て試験を通すよとか、通さないとか、ものすごく引っかかっているわけですよ。この若い試験官は、フォローしながら来る試験官というのは、アドバイスをするんですが、理解できないみたいな態度とるものですから、今までいろいろ免許課の方から考えてもらって、試験をやってきたんですが、中央線がなくてもやってきたんですが、これからは時代が変わっていくわけですから、こういうのは許されなくなります。試験できなくなる。受けたい人は中央線がないものから、対面車が中央線を越えてきたら、そのまま行ってしまうと接触事故になるか、事故になるか、急ハンドル切る急ブレーキをかける。ほとんどそういう危険行為の状態になってしまうものですからね。ですから私は、今度、課長に私道路の整備というよりは、先にその中央線をやってもらいたいということが一番の私のお願いだったんですよ。

もう一つ聞きますよ。これがもしアイランド前の道路の整備ですね。整備やるんだったらいつ頃になるのか。イーフ地帯は今さき話が出ていますよね。もう測量やっているんじゃないですか。その道路に対してはいつ頃から始まるのか、ちょっと聞かせてもらえますか。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

イーフの前の道路は、久米島一周線という県道に認定されていまして、銭田からBGの前までは県の方で整備始まっています。一部工事入っていまして、排水関係、これは順調に進んでいます。比嘉からアイランド前は町道になっていまして、この町道の採択がかなりむずかしいということもあって、これもかれこれ4年ぐらい要望し続けてはいるんですが、一次改良済みだという部分とか交通量の問題とかでなかなか基準をクリアするような条件を満たすことができないもんですから、今のところ未採択の状況にあります。

でも、いろんなかたちの中で一括交付金の流れとか、事業内容そのものが、以前あった費用対効果の分が緩和されている分とか、そういう条件が変わってきていますので、将来は採択される可能性は十分あります。

○ 6番 安村達明議員

大抵の目処、何年ぐらいというのはつかないんですか。

○ 盛本實建設課長

今の状況から何時やるというのは、なかなか言えない部分がございます。よろしいですか。

○ 6番 安村達明議員

はい、よろしいです。

○ 議長 喜久里猛

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

中央線を線引いてもらうということで、それ以上はやりません。レンタカーとかタクシーとか福祉バスとか路線バス、いろいろクレームは付いていなかったかとか、そういうことも聞きたかったんですが、これは一応取りやめて、謝名道側のスクールゾーンである道路、私、幅員、測ってきました。そしたら5.6mあります。車の車両で一番大きい車両でバス、クレーン車でも2m40ぐらいですから、ここは幅員的にいえば中央線入れられないと思います。3.5m以上なければね。片側でね、ですからその道路に対しては、試験として活用する道路ではあるわけですから、中央線を入れられない条件にあるわけですから、点で中央がここだというのがわかるような、これは案内表示ですから町で十分できると思いますね。町の判断でも、そういうような方法はないのか、できないのかということ。これ聞きたいと思いますね。

それと道路というのは、表示が引かれていても標識がなければ、この道路の優先順位というのは適用されませんので、この謝名道側のスクールゾーンで小学校の手前に止まれの標識が去年の5月の台風でしたか、あの時に飛んでない。そこで試験始まったら教習中の時あった物が、台風終わって試験やろうとしたら、無くなって、教習車が止まれの線がないものですから、そのまま通過してしまったら、中止事故みたいになってしまったんですよ。標識がなければ、左方優先で徐行で通過できるわけですから、そのときに、この試

験官の方は、これではかわいそうだということで多めに見てくれて、合格させてくれたわけなんです。試験官の方から仲里の謝名堂の駐在所の方をお願いをして標識の取り付けをお願いしたみたいな話があったんですが、そういう話はなかったですか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

ただいまの仲小の近くの停止標識については、今、把握しておりませんでした。これについては公安委員会の所管となりますので町の方からも要請はしておきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

総務課長、取り付けました。これ、僕の方でやろうとしたら、自動車学校の方でやろうとしたら、これはそうでなくて町にお願いして、町からやるもんだということで、試験場の方から、これを持ち込んで持ってきてもらって、そこの警察官を立ち会いさせて取り付けました。何時なるかわからないものですからね。そういう状況もいろいろあるものですから、標識等々がこのへんでなくなるとか、台風の後とか災害時の後というのは発生しているわけですよ。台風の後というのは、晴れてしまえば試験は続行するわけですから、そのときに、いきなりなくなったときに対応ができなくなるような状況が続きますのでできるだけパトロール車を出して、そういう所は点検してもらいたいと思います。もし緊急のものであれば、うちの会社にも止まれとかという標識がありますから、それを町の方でや

るとかやってください。

それとこの前おもしろい話が、何処の町長だったか、道路は造ったんだが信号がないと、やっぱり道路は文化の始まりと一緒にですから、その町は、2千600万円予算を組んで、それを県にお願いしたと、県に、でも県警はお金もない。県は一括交付金たくさん取っているわけですから、ありますよね。そういう状況からいったら、やはり町の方が、しっかり管理して要請していかないと久米島の道路状況はあまりよくなりません。

それからもう一つ謝名堂側の道路のことなんですが、あつちは中央線入れなくていいですから、中央線幅15cm幅ありますから10cmぐらいの幅の線を入れて10m間隔で点々打っていけば、それを目標にして車は走行できます。

夜間でも前照灯は上を向けば100m照らす、下向ければ40m確認できるものですから、そういう点線があれば、それに応じた対面通行できると思いますので、そういうところも検討してみてください。

それから歩道があって歩道の植栽何も植えられていない。ただ草が生えているだけ、そういう道路は全国的に小学校の子どもたちの事故が多いですよ。そういうこともあるもんだから、よく点検して、そういう所は花も何も植えないんだったらアスファルトで埋めて、歩道をしっかり子どもたちが通行できるようなかたちでこういうふうな安全な方法をとっていただきたいと、そういう気持ち私は、持っていますので、そういうところも、ぜひ、検討していただきたいと思います。これはひとつ通過とっておりますので。

次はカラスについてです。鳥害問題ですがカラスの問題は他の市町村でも駆除している

ことは、私も承知しておりますが、自給自足をしている高齢者の方々野菜、果物等を作ってJAや店舗に納めている方々がいらっしゃるわけです。この人たちは、低所得者が多くて、こういう野菜とか、そういうものを植えた時点でいきなり、カラスに狙われたらもうものすごい剣幕で、町ヤーヌーソーガ、議員ヤーヌーソーガーってもう年寄りだから言葉返せませんよ、本当に、イヌチルミーだったら許しませんけどね。そういうこともあるもんですから、町の取り組みも理解できるわけですが、直接そういうふうな人たちがいたら平良課長、いいですか。そういう人たちから電話なりなんなりあれば、直接部下を送って、説明なりなんなり対処の仕方の方法とかそういうもの説明できないのかどうか。教えてください。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

町民の方々からタンカンとか、スイカとか、トウモロコシとか、そういう被害があった場合は、うちの職員と産業振興課のそういう野菜とか果樹の担当と一緒に現場行って写真を撮りながらお話を伺っていますので、またそういう情報があれば直接両方連携してお話を伺って対策をやっていきたいと思えます。

○ 議長 喜久里猛

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

今もとってもいい答弁でした。他県にはアユだけ鵜にやられて、鵜の巣を壊してあるいたりとか、疑似の卵を作って、それで卵の数を減らすとか、そして今度は自分の県道の前の植栽にカラスが集まりすぎて糞がたいへん

だとか、何処の県だったかわからんですが、天敵は鷹だということで鷹匠が県にはおって鷹を持ち込んできて、その鷹を放して、カラスを追いやったりとか、他の県でもいろいろやっているんですよ。これはあんた方やっていないとっていないですよ。よく頑張っているのはわかっています。ですから、あなたがさっき話されたように、私が住所、氏名、電話番号でも教えますので、ぜひ、行ってその人と会って対処方法、やり方、方法説明してきてください。よろしいですか。

行ってもらえますよね。

○ 環境保全課長 佐久田等

はい。

○ 6番 安村達明議員

それがみんなできましたので、これで私の質問終わらせていただきます。

(安村達明議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで6番安村達明議員の一般質問を終わります。

休憩します。(午後 3時18分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午後 3時28分)

3番平良義徳議員の発言を許します。

(平良義徳議員登壇)

○ 3番 平良義徳議員

休憩をお願いします。

確認、誤字と脱字が入っています。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午後 3時29分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午後 3時30分)

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

3番平良です。1点だけ質問いたします。椎名川の倒木の除去について。去った4月19日から20日未明にかけての豪雨で本町全域で道路の決壊や崖崩れが起きました。また、川の氾濫等で農作物が大きな被害を受けています。担当課では復旧に向けて取組んでいますが、特に椎名川一帯では花卉や野菜農家が多く、野菜や農機具、またハウス等が被害にあっています。

その大きな要因として川が氾濫したためと思われる。ハウスの状況からみて約1.5m以上水位があったのを確認しました。

氾濫理由として、数多い倒木に雑草等が集積したためだと周辺農家の意見あり、倒木の除去の要望があるが、その除去の考えはないか。町長に伺いたい。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

3番の平良議員の質問にお答えいたします。椎名川の倒木の除去について、現場確認を行ったところ、状況からすると河川内の樹木に雑物が堆積し、河川の流れを阻害し、その影響により水位上昇が起り周囲の農地に冠水被害を起したと想定されます。このままの状況を放置すると、これからの台風シーズンを迎えるにあたり、さらに被害を被る可能性があるため、早急に対策を講じたいと思います。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

本町でも、幾つかの河川が例えば浦路川も

そうなのですが、ホタルの生息地また観察場所となっています。椎名川一帯もホタルの観察場所となっているし、また夏には子どもたちが川遊びする光景が見られます。本町でも景観計画の推進もやっていますので、倒木の除去と並行してある程度の川の周辺の樹木の雑枝等を切り落として景観の良い川にしたいと思いますが、意見をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

現場確認しました。町長からの答弁にもあるとおり、雑物が引っかかって、それが川の流れを阻害して、そして被害を受けたという状況にあります。こういう状況を確認したんですが、他にもいろんな要因があるんですね。雑木だけではないんですね。その中にはビニールとかパイプとかハウスの単管の切れ端とか、そういうのがけっこうあるんですね。今回、環境保全課と調整しまして、早急に対策はやることにします。その中で協力してもらいたいのは、農地に重機とかトラックを入れないと人力だけではかなり厳しい部分があります。議員さん、区長さん、農家も含めて、現場を確認して、どういうふうなかたちで、それを除去できるか早急に検討して早めの対策をしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

因みに今回の豪雨で災害が適応された箇所は何カ所なのか、それから被害額ですね。現在復旧作業をやっている所もあると思いますが、概算でいいですので、どれくらいか。

それから特に災害と認められる判断基準と



いうのはどういうふうにやっているのか伺いたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

先月の雨でかなりの被害を受けております。道路だったり農地だったりということで沢山ありますが、国の災害復旧事業に該当するのは、土木だけなんです。縦断線の一部と儀間1号の一部、今日、国交省から査定がお見えになって、現在、現場で確認していますが、国に要求しているのが4千万の事業費で要求しています。

農林サイドも要求はしたんですが、この要件を満たすことができなくて、一部にかんしては単費でやる方向で進めております。

全体でいくらぐらいかということなんです。箇所にして約60カ所ぐらいの分があります。それがいくらぐらい復旧にかかるかに関して、まだ算定はしていないんですが、町ができる分と個人でやっていただかなければいけない部分があって、そのへんの判断というのが非常に難しい部分があって、町ができるのに関しては、徐々に進めているところではあるんですが、全体的に被害額というのは算定はしておりません。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

普通で災害復旧が起こった場合、特に新聞等で報道されますよね。被害金額とか、そういうのがなかったもんですから、今、質問いたしました。

今後、災害で被害、今回もそうだったんですが、農機具とかハウス機材それで被害を受

けた方々とちょっとトラブルがありました。これまで小さい災害、または、大きい災害そのへん災害なのに、なんで補償できないかというこういった面もきちんとできないところはできないという具体的な説明がほしいと思います。災害時にですね。

それから今後こういった被害が起きた農家に対して、少しでも負担できないかということも検討していただきたいと思います。

農家はコストがものすごくかかる産業なんです。機材等は高く、また収入が少ないと、そのへんもぜひ考慮して、被害にあった方々に少しでもいいですので、負担金をあげていただきたいと思います。そのへんも含めて、これはちょっと確認なんです。畑地に野菜植えている所なんです。土が流されて埋め戻しのために何処か土が貰えないかという情報提供もいただきたいと思いますが、そのへんよろしくお願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

基本的に災害復旧の判断基準というのは、当然災害としてしか認めないんですが、認める認めないというのは基本的にやろうとしているのは、公共施設を中心にやっていくと、公共施設の影響でなんらかのかたちで個人に被害を与えた分に対しては、その原因が公共施設の原因であるのであれば復旧に対して町も協力しましょうということになってまして、公共施設の影響以外の分に関しては、個人でなんとかやってもらいたいという、だいたいそのへんで基準の判断はしています。

今の土の問題ですが、土は我々としても探してはいるんですが、なかなか見つからない

部分があって、今、公共施設によって被害を受けた分に関しては、その手当てをしようということで、我々も動いているんですが、土の確保が難しく、まだほったらかしている状態であります。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

何処か土がありましたら、早めに情報を入れてほしいと思います。

冒頭に戻りますが、これから台風4号も既に発生しています。これからどんどん台風が来るとお思いますので、早めに対策をして農家の皆さんに安心させるよう重ねて要請し質問を終わりますが、答弁内容の対策を講じたいというところが少し気になりますので、このへんの件について具体的なコメントをお願いします。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

先だって建設課長と建設課の職員うちの職員、視察をしてきました。やはり大型の重機を入れて、トラックを入れてユニックで引っ張りながら切断して、重機である程度、流れた石とかを戻しながら作業していかないとならないものですから、やはり議員さん含め、区長さん土地の所有者、一緒になって晴れた日に日程を調整して対策を講じていきたいと思っております。よろしくをお願いします。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

私も一応、地主には確認しました。この畑から重機等を入れるんでしたら入れてもいい

ですよという確認は一応取りました。そのへん作業をする際は、ぜひ連絡していただきたいと思います。以上で質問を終わります。

(平良義徳議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで平良義徳議員の一般質問を終わります。

次に8番島袋完英議員の発言を許します。

(島袋完英議員登壇)

○ 8番 島袋完英議員

8番島袋です。質問事項5点についてお聞きいたします。

まず、兼城港からの出口、県道バイパスまでのつなぎ道路がないということについて伺います。

県道バイパスから直接、兼城港湾への道がなく、大型車両の回転が大変不便であると、特に、具志川側、阿里から比屋定といいますか北原、大原の皆さんが港に降りるのにほとんど字大田公民館の側の中央線、公園があります公民館には、そこをほとんどの車がそこを通ります。朝早くから4、5時頃から、騒音とそれから昼は非常に危険であるということで港の整備は終わったんだが、肝心の出口の道路の整備が遅れていてたいへん危険だと思いますので、早急に取り付けてほしいんですが、その計画はどうなっていますか。

それからこれも兼城（新城整備工場前）から字大田（久米島総業前）です。現在歩道が南側要するに兼城の港を出ると左折していきますとそこから仲泊まりまでの歩道があります。1.5mぐらいですかね。ところが肝心の集落がある北側の方は全く歩道がなく、たいへん危険は状態です。特に車、部落内の人が出る、農業者の人たちが出入りする車とい

うことも頻繁にあって、たいへん危険ですが、ここの歩道の取り付けは計画はどうなっているかですね。

それから振興通りの道路改良計画で、今度、交番前の旧海岸道路ですが、そこの改修があるというふうに聞いております。

そこで大田の橋、交番と側の橋ですね。これの問題になっていると思うんですが、私はこの橋は非常にいわれのある歴史的な貴重なものだと思いますので、これはぜひ何処かに移設して、保存していただきたいというふうに考えますが、町長はどうですか。

4番目、これは町営遊技場と書いてありますが、いわゆるパチンコとかスロットとかそういう場所の建築ということですか。

島外者の経営する事業所が多数あります。事業所名でいいますとココストアとか、Aコープ、コープ沖縄 それから今のパチンコ、P-タイム等々あります。その中でもパチンコといわれている遊技場が盛況であります。特に雨の日はもちろんですが、キビ収穫時半ば、後からはたいへんにぎわっております。これだけ愛好家が、愛好家と言うんですか、皆さん学校、学校といっていますが、このとき通う人がいましたら、一層のこと町営で町で作って見たらどうかと思ひまして、これを提案しているわけです。税金も町長が就任している間に8%の税収があるんですが、こういう遊技場を造ると納めたくない税金も、ここでは喜んで納めていくわけです。そういうのもできるんじゃないかと思いますが、町長はどう考えていますか。

5番目に、格安航空会社(LCC)とありますが、この会社の誘致でも3月の議会でも取り上げましたが、ただ黙っていてある

いは要請だけでは、難しんじゃないかと、それで先ほどフェリー高速船の検討委員会と立ち上げの話がありましたが、私は、この格安航空会社の誘致でもやはり誘致委員会、そういうのを作り上げて精力的に要請していくことも大事じゃないかなと思います。どう考えていますか。お願いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

8番島袋議員の質問にお答えします。兼城港から県道バイパスまでの新道建設についてですが、県道久米島空港真泊線(通称バイパス)から兼城港へのアクセスにおいて車両の大型化や交通量の増加とは相反し二車線道路がないため、大田集落内の狭溢な道路を利用する傾向が見られます。ところが集落内の道路は幅員狭小の上、歩道がないため大田の住民にとっては非常に危険な環境に於かれていますのが現状であります。また、兼城港へ大型トレーラーの出入りが多くなっている中、仲泊側(旧道)から兼城港への出入りにおいては大型車両の回転半径が不足し大港橋方面からの迂回を余儀なくされています。そのような背景から交通安全対策はもちろんのこと、産業振興の面からもバイパスから直接兼城港へ乗り入れが出来る道路が必要であり、県に対し同道路の整備を強く要望をして参ります。

兼城から大田までの歩道建設についてですが、歩道設置計画の有無について県に確認したところ具体的な整備計画はないとのこと。その区間においては一部狭小(幅員1.5m)の歩道があり、その再整備については今

後検討していくということです。しかし、既存の歩道は歩行者が利用しづらい位置にあるため、歩行者の安全確保のために新たな歩道設置を要望してまいりたいと思います。

大田橋の移設保存について、同石橋が歴史的、文化的に価値ある物なのか調査をし保存に値すると判断された場合は移設保存又は現況保存について県に要望いたしたいと思いません。

町営遊技場の建設についてですが、日本において、公営ギャンブルとして認められているのは、競馬、競艇、競輪、オートレース、スポーツ振興宝くじ、宝くじの6つで、パチンコは公営ギャンブルとして認められていません。したがって、町が公営ギャンブル以外の遊技場を建設することはできません。

格安航空会社(LCC)の誘致等について、島外からの観光入域客数を増やしていくためには、航空運賃の割高感は大きな問題であります。JTA・RACや県にも小さな離島の苦しい実情を訴えて国からの支援ができるように対策を講じるよう要請をしているところであります。

格安航空会社の新規参入については、久米島の利用客数規模では大変難しい状況です。引き続き関係機関や会社等からの情報収集を行っていききたいというふうに思います。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

それでは再質問させていただきます。

一番目のバイパス取り付け道路ですね、兼城港湾から。今度折角フェリーのバースも改良工事が入ります。ゆくゆくはターミナルも

整備しなければいけないと思いますが、今一番急いで欲しいのは、やはり今町長もおっしゃっていたようにロングの車両、トレーラーが回転出来なくて結局大港、信号のところまで行ってそれから右折して、兼城港に入るんですね。なぜかといいますと、そこから左折する場合はウフナカ兼城のカミヤがありますね、そこの方はけっこうあるんですよ幅が、それで電柱も立っていないんですね、その角には。ですから回れるわけです。ところが大田の方に出てくると回れない。一度地元の建設会社がクレーン車を下して、そこを回ろうとして字の防犯灯、砂辺さんの家の角にある、田場商店の向かいの家の角にある防犯灯を倒してしまって、弁償させたことがあります。そういうふうに大型車両が回転できないと。この道路は絶対必要だと思うんですよ、合併前から兼城港を整備時点で私は整備工場を突き抜けて上の方に行くと思ったんですけど、全然進まないもんですから、今この質問しているのですが、この要請ということは行政側からはまだ1回もやったことがないんですか。

○ 議長 喜久里猛

盛本寛建設課長。

○ 建設課長 盛本寛

公式にはやったことはありません。ただ事務レベルで、一時期県の方で絵を描いてもらったのはあります。それで整備に向けてということで、いろいろ調整はしてきたんですが、いつの間にかその絵が無くなってしまって、どういうことなのかちょっとその経緯はわからないんですが、現状からするとかなり厳しい状況なんですけど、どうしてもこの道路は必要と感じておりますので、今後は公式に要請

をしていきたいと思っております。

それと近々商工会中心に建設業協会全員揃って、県への要請もありますので、これは町長も一緒ですから、その時に正式に要請はしてこようかと思っております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

これは本当に早急にやっていただきたいというふうに思います。

2番目の歩道の建設、これも新興通りの改良工事を含めて、この阿里の方から来るわけですから、それを含めて、そこまで長井商店のところまで含めて考えたらどうですか、それも一緒にできませんか。

○ 議長 喜久里猛

盛本寛建設課長。

○ 建設課長 盛本寛

その件も含めて要請をしてまいりたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

それから大田の橋なんですけど、この橋はいつ頃できたかというのを、うちの親とかに聞いたんですけどわからない。兼城の濱本のおじいさんにも聞いたんですけど、いつ頃出来たのかわからないということで、博物館でいろいろ調べたんですけど、仲村昌尚さんの『久米島の地名と民俗』という本にクンナト橋というのがあるんですよ、クンナトというのは小さい港ということで小港というんですけど、大体1676年、今から318年ぐらい前に、この従来架けられた橋は現在の小港橋のその位置なのかはわかりませんが、兼城側から仲泊

側、西銘までの行き来を便利にするために小港橋を架けさせたというふうなことが、これにあるわけです。それが今の橋なのか、また私のおじいさんの話では、以前はもっと上の方、川幅の狭いところ、ホテル館から総合タクシーのところぐらいの狭いところから渡っていたというふうな話を聞いたことがあります。ですから、これに318年ぐらい前に作られたのは、そこに作らせたのかはわかりませんが、そういうことでこの橋をつけさせたというふうなことですね。それから村史、具志川村史には、明治39年から大体こういう公共工事みたいのが進められていて、実際にこの橋らしいのは昭和9年に井野という沖縄知事が久米島を視察したらしいです。その時に知事が来るということで自動車が通れるような道を作りなさいということで、そのときから橋が出来たんじゃないかと、これも大田の橋がこの時にできたとか何もないんですよ、ですから詳しい経緯はわからないんですが、博物館の中島さんの話では儀間の橋がありますね、フォトン久米島のところに儀間の配電過ぎてから左側に旧橋があります。あの橋が大正時分と、中島さんの話では、あの橋と作り方が似ているので、恐らくあの橋の後に大田の橋は作られたんじゃないかというのが中島さんの見解ですね。

私がこの橋を覚えているのは小学校2年の時にマリーかメリーか、すごい大きい台風がきましたよ、清水小学校の校舎が全部壊された、今の幼稚園の所ですね、私達の校舎も全部壊されました。その時にこの橋も壊れたんです。大田の橋も。壊れて大田、兼城は学校に行けなくて喜んだ時もあるんですけど、何日か行けなかったんですけど、大人の人達がド

ラム缶を切り取って5つ6つぐらいですかね、これを並べて埋めて、その上に砂利を敷いてそれから学校に行ったような記憶があります。その後私に私の本家の所に那覇から会社名は忘れましたが、那覇からこの橋を作りたくさんの人が来たんですよ。うちの本家を借りて、この人達が足場を組んでアーチ橋です、復元している工事を見たことがあります。ですから、いずれにしても西と東、白瀬川もあるんですが西と東をずっと往来、行き来自由にできるようにしたこの橋でありますので、私はぜひ、保存してほしいというふうに思います。

それから、そのままやるかという解答がありますが、私はこれは貴重なものでもあっても、そのままではあまり良くないと、といいますのは今、建設課長にも話したのですが、川幅の半分しかないんですよ、丸くなっていて、半分しかないもんですから台風の時に波が押し寄せてきた時に吐けなくて結局溢れるわけです。ですから今の川幅にするためには、どうしてもこの橋を撤去して、どこかに移設して保存したほうがいいと、よく確認してください。本当に半分の幅しかないです、今の間口は。ですから、これはどうしても保存してほしいというふうなことです。皆さんの所で調べた新たにわかりましたら、どうぞ。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

いま議員のご指摘のとおり、橋の築年代については私達の方もいろいろ調査したんですが定かではありません。これは明治の後期、大正の初期、山田橋同等の構造という話もございましたが、そういった年代、明治の後半

から、大正の初期にかけて建設されたのではないかということでございます。

あと、保存につきましては、これは私達23年度に久米島町の文化財審議委員会組織がございまして、審議委員会の中で古い橋だから調査しようということがありまして、23年度に一度調査したことがあります。そして24年度に入りまして現地調査を行いまして、ぜひ、残す方向で検討しようということがございましたが、おっしゃるとおり橋の構造そのものがだいぶ狭いということもありますし、あと耐力度がどうなのかということも含めまして建設課といろいろ調整しながら現場での保存がいいのか、それとも移築しての保存がいいのか、そのへん、町としての保存をした方がいいということをしていろんな意見も含めまして、これから調整をしていきたいということでございます。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

ぜひ、保存していただきたいと思います。

4番目の遊技場なんです、これは町長は公営ギャンブルを解答がありましたが、遊技場、これは公営ギャンブルじゃないんですよ、あくまでも娯楽場なんです。ですから別に出来ないということは私はないと思います。風俗営業なんですね、風俗営業にはいろいろありまして、風俗営業の中の第7号営業といまして、パチンコとかマージャン屋とかそういうもの、その他の風俗営業とは女性、性的なものには性風俗営業なんですね、こういうのは普通の風俗営業になっていますが、許可基準を調べたら別にできないあれはないんですよ。久米島町が建設規準定めていれ

ば、定めているところではできませんが、それ以外だったら公安委員会が許可すればできるということなんです。だだ町が直接やるのはどうかなと思うんですが、夜の第三セクとか第四セクとかいろいろありますよね、そういうのを考えたことがないですか、町長。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

ただいまおっしゃるとおり、このパチンコ屋については遊戯施設、法律上遊戯施設となっています。一般的分類としては、これも含めてギャンブルとして捉えてみる分類もございますので、含めて答弁したかたちになっております。それとおっしゃるとおり、町がパチンコ屋さんをやってはいけませんという法律はどこにもございません。ただ現実的な問題として、町が行う事務事業は町民福祉の向上につながる事業に限られていますので、じゃこれを公安委員会におっしゃるとおり風俗営業法の許可が必要ですので、公安委員会に申請した場合、公安委員会がそれを認めるかということ。私はその施設を作る時に当然、金を借りませんといけませんので起債申請をするとき、これが認められるかということ、認められ可能性はまったくございません。そういうことでやはり町がパチンコ屋さん、スロットマシン屋さんをやるには公営ギャンブル、ほかの公営ギャンブルと同じように特別な法律が必要だろうということで、こういう答弁になっております。

公営ギャンブルの場合は、なぜ一般的には日本は賭博は刑法で禁止されているわけですよ。法律で認めたものに限り例えば競馬であるとか、そういうものは一定の金額をかな

りの額を国庫に入れるかたちに特別法でなっていて、財源確保の意味もこめて一定の条件のもとで公営ギャンブルを認めて、逆にそれを地域の振興に活かしていこうというようなことで行なっているのが公営ギャンブルです。結果からしておそらくパチンコ屋さんについても同じような仕組みじゃないと、なかなか難しいのではないかとということでございます。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

難しいということは私も思っているんですが、あれだけ簡単にお金が入るところはないんですよ、島のお金がどんどん島外に出ていくというシステムがいま久米島になっているんです。航空運賃も安くなって、フェリーの運賃も安くなりましたね、そうすると3,600円という運賃だったら仲泊からイーフにきて飲んで帰るタクシーの往復運賃ですよ料金、そしたら土曜日にフェリーで松山でも行こうかみたいな感じにもなりますよね。また島内ではココストアー、これも島の人がやるかと思ったら、こんなのも起業のあれがないのか、これも本島から来てやってますね、しかも2カ所とも、コープ沖縄、共済店ですか、注文して1週間ごとに買っていますね、これも相当の売上です。Aコープは農家の組合のものですが、集まったお金が結局久米島から全部島外に持ち出されている、特にパチンコ、スロットも、ですからこれを食い止める方法として一番いいのがパチンコ屋じゃないかなと思ったわけですよ、ですからそれもやって、家族そろってパチンコ行きましょうみたいなね、そんな雰囲気も作れそうなもんかなと思

って。ただ本土の椎葉村みたいな山奥、へき地、へき地村で行政名は忘れましたが、若者がどんどん減っていくということで、やっぱり若者定住の方策をやっているんですね。その村の村長は潰れたホテルがあって、そのホテルを活かそうということで、ホテルを買い取ってホテルもやるし、それから中のディスカバー、ディスカバーがあるんですけど、それも町営でやっているというふなことで、これは十何年か前に新聞かに載っていました。町長がディスコやっている写真。そういう行政、村もあるわけですよ。ですから私は方法として町長にもいろいろ考えて貰えたらと思ってこれを取り上げているわけですが、絶対出来ないということじゃないと思いますので考えてみてください。

5番目、これも宮古がLCCが入っているのも、会社から直接私達も宮古も飛ばしますよというふうなのではないみたいですよ。宮古の方が先に誘致委員会みたいなものを作ってターミナルに場所、カウンターかなんか、そんなのも準備してやったという話も聞いたんですけど、これどうですか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

今、スカイマークさんが宮古へ就航しているんですけども、実はこの話、私はターミナルビルの社長でもありまして、ターミナルビル関係の情報を収集しておるその中で、ある日突然ターミナルビル株式会社にきて就航するから部屋を貸してくれということが始まりですね。宮古から要請したということもないらしいです。観光協会さんにも聞いたら、ただスカイマークさん、LCCも含めてと思う

んですけど、だいたいある程度の搭乗人数ですね、飛行機に乗る数、それが約50万がだいたい目途と言われております。今現在、久米島町で一番多い時で28万、ですから非常に厳しい状況じゃないかなというふうに感じております。そういう状況でございます。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

もう6月も半ばなんですけど、7月から東京便ですが、それに向けてもやはり東京、久米島だけでも、なんとか要請して飛んでもらえるような、そういう運動、しつこくやるべきだと思うんですよ。ですからそのためにはそれなりの誘致委員会でも立ち上げてがんばって見たらと思うんですけどどうですか。

○議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

ただいま、島袋完英議員がおっしゃったとおりですね、可能性があるとするれば東京直行便これには参入の可能性があるんじゃないかということを経済に行ったときに言われました。これについては我々としても引き続き、会社と接触をして要請なり、あるいは可能性なりを探ってみたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

最後に、これは質問事項には書いてないんですけど、前回運賃の割引の適用ですね、島外者、郷友会とか、久米島ファンクラブにもできないかという質問しましたが、その検討はどうなっていますか。

○ 議長 喜久里猛



平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

これは先ほども申し上げたんですが、今、離島割引というのは、島に住んでいる人は皆な割引されておりますけれども、島外から来るお客さんについては、久米島については割引されておられません。これについては県の条件が中核病院がある、高校がある、こういう条件があって南大東とか、粟国とか、それから多良間とか、そういうところと違って割引されていない状況がありますね。他のところは30%以上島外者も割引されている。これについてこれまで交通政策課に何度か足を運んで行ってまいりました。昨日の21世紀ビジョンの意見交換の中で、それをとりあげまして県知事に直接お願いしました。県知事も知らなかったようで「すぐ、やりなさい」みたいなことを言っていましたので、企画部長によると今、予算の面があるからということで遅くとも来年というふうな含みがありましたので、非常に明るいんじゃないかなと思います。そこらへんも、もうちょっと具体的に企画部に要請していきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

ありがとうございます。やはり運賃の低額運賃、これが一番魅力なんですよね。運賃にかないませんよ、どんな箱もの作っても、ですからこれは非常に頑張ってほしいなと思うんですね、せめて30%でも島外者ですね、30%割引すると7千幾らかになるでしょう。それぐらいの片道の運賃にもってくれば絶対に人域数の増が見込めると思うんですよ。がんばって欲しいと思います。

(島袋完英議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで8番島袋完英議員の一般質問を終わります。

次に7番喜久村等議員の発言を許します。

(喜久村等議員登壇)

○ 7番 喜久村等議員

7番喜久村です。質問します。

区長手当の見直しについて、区長手当の見直し及び区長会長の手当について、区長は行政の町民のパイプ役として重要なポストにあるが、行政合併してすぐに区長手当の基本本額の10%が削減され、いまだに見直しされていない。見直しの考えはないか。また区長会長の手当を出したらどうか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

7番喜久村議員の質問にお答えいたします。区長手当の見直しと区長会長の手当について。区長に対する、事務委託料は現在基本額が4万5千円、世帯数割が1世帯あたり300円となっています。区長会長については月額1万円、副会長が月額8千円手当を支給しております。この額が妥当かどうかは今年度スタートしました行政改革推進室で他市町村の状況を調査したうえで検討したいと考えております。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

7番喜久村等議員。

○ 7番 喜久村等議員

ただいまの答弁によりますと、他市町村の状況を調査したうえで検討したいの答弁です

が、久米島町では当時、町の財政難ということで職員の給料もカットされ同時に区長の事務委託料も基本額5万円から4万5千円にカットされましたが、職員の給料は見直されたと思うが、見直されたのは他市町村の状況を調査したうえで見直されたのか、また平成何年度に見直されたのか伺いたい。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

本年度、行政改革推進室がスタートしまして、今スタートの準備しているところでございます。区長手当については当初基本額が5万円でしたが、10%カットしてですね、4万5千円ということになっています。区長は議員がおっしゃるとおり、行政と地域を繋ぐ大変重要な役割を果たしていると思います。重要な役割になっているということ踏まえて、また過去にこの10%が減額したということも踏まえて検討したいと思います。あと、他市町村との比較においても、委託業務の内容が市町村にかなり差がありますので、そこらあたりも含めて調査しないといけない関係上、時間はかかりますが、その中で検討していきたいと考えております。できるだけ本年度中には結論、ある程度の方向性を出したいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

7番喜久村等議員。

○ 7番 喜久村等議員

見直されるということですが、久米島町の財政もなんとか持ち直したということでありませぬ。そこで区長の事務委託も見直すべきと思うので、区長の役割、その業務委託の内容を説明します。

業務委託の内容として、区長の業務委託とは行政と町民の重要な役目として働いています。事務委託事項として、こちらにある項目を発表します。

町民への各種の伝達に関する事。各公文書の配布に関する事。各調査に関する事。各種共済事業に関する事。住民記録に関する事。諸行事に関する事。納入通知書の配布に関する事。固定資産評価に関する事。徴税に関する事。租税の申告に関する事。災害対策に関する事。保健及び衛生に関する事。福祉事業及び募金に関する事。年金等に関する事。要介護者の発見及び報告に関する事。国民健康保険等に関する事。道路拡張、整備等に関する事。災害普及事業に関する事。また関連しますが久米島町体育協会の評議員、社会福祉協議会の評議員となっております。このようにがんばっている区長の皆さんですので、ぜひ委託料を早めに見直すように求めます。

次に、区長会長の手当について月額1万円、副会長が8千円となっておりますが、区長会長については増額を求めます。区長会長は各種の評議員、実行員の役職があります。今、区長会長が役職を持っている役職は、久米島町まつり、久米島町産業まつり、イモゾウムシ等防除対策協議会、久米島マラソン、久米島町町営バス評議員、障害者支援、楽天イーグルス協力会評議員、久米島町環境計画対策委員会、教育委員会奨学金、久米島町グランドゴルフ場建設委員会、久米島病院評議員、このように沢山の各種の評議員の役職がありますので、ぜひ、この会長の手当を増額して、今の会長の手当は十分ではないと思いますので、当局は妥当かどうか、これを伺いたいの

でお願いします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

只今の活動の事態も含めて検討したいと思っています。それと事務委託要項の中で実際やっていない部分もございますので、そういったものも整理したうえで検討したいと思いません。

○ 議長 喜久里猛

7番喜久村等議員。

○ 7番 喜久村等議員

区長と区長会長のこの行政とのかかわりがいかに重要であるか、理解してもらって、今後の区長の事務委託料の見直しと区長会長の手当の増額、それを要求して私の質問終わります。

(喜久村等議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで7番喜久村等議員の一般質問を終わります。

次に9番崎村正明議員発言を許します。

(崎村正明議員登壇)

○ 9番 崎村正明議員

議席番号9番崎村正明。中学校の統廃合の進捗状況について、久米島中学校と仲里中学校の学校統廃合は保護者や地域の理解も得ながら、目標年次での統廃合が実現できるようにして取り組んでいるようだが、進捗状況を伺いたい。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

(比嘉隆教育長登壇)

○ 教育長 比嘉隆

9番の崎村議員の中学校統廃合の進捗状況

についてお答えいたします。

中学校統廃合の進捗状況につきましては、久米島校区及び仲里校区で保護者説明会、地域説明会を開催し統廃合についてご説明をいたしました。引き続き両校区に全世帯にパンフレットを配布し再度地域説明会を実施したうえで統廃合検討委員会の答申、また両校区の児童生徒保護者にアンケートを実施し、状況を見極め26年度の統廃合を推進してまいります。

(比嘉隆教育長降壇)

○ 議長 喜久里猛

崎村正明議員。

○ 9番 崎村正明議員

中学校の統廃合は久米島西中学校が平成19年、比屋定中学校と具志川中学校が統廃合し誕生して6年を迎え、学習、スポーツ、文化面で結果として良かったという声をよく耳にしました。同時期に久米島中学校と仲里中学校の統廃合も一緒に平行して進めていたが、保護者や地域の理解が得られず凍結した状態が続いたため、平成20年度の8月の地域説明会では、平成22年度をめどに幼稚園を統廃合する計画が中学校の統廃合より先に進めようとした経緯もありました。そして平成23年度になり再度中学校の方から進めることになり、町長は中学校の統廃合を平成25年度を目標に定め取り組む決意を表明いたしました。教育長も町長の目指す目標にがんばる決意を示しました。しかし、今回の答弁の内容によると再度、地域説明会を実施したうえで統廃合検討委員会の答申を受け、両校区の児童生徒保護者にアンケートを実施し状況を見極め、平成26年度の統廃合を推進してまいりますという答弁内容がありました。地域説明会

や保護者説明会する前に平成26年度の統廃合を推進することにあたり統廃合委員会の答申を受け、議員にその旨を説明し、そのあと再度説明会を開催し、再度検討委員会の答申を受けるべきではなかったか伺いたい。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

議員への説明が遅れた事を大変申し訳なく思っております。これにつきましては私たち教育委員会、そして事務局であります私たち職員の方で、これまでの各地域での説明会不足だったということが大きな原因でございます。そして統廃合検討委員会におきましても、やはり地域の理解がえられないことには統廃合の推進とは厳しいということもございまして、統廃合検討委員会の中でも地域の皆さん方の意見、いろんな動向を知りながら、それに基づいて検討委員会の方でも方針を出したいということがございました。議会での説明、そして検討委員会での答申ということもございまして、そのへんで25年度は大変厳しいような状況もございましたので、26年度に向けて積極的に推進していきたいということでございます。

○ 議長 喜久里猛

9番崎村正明議員。

○ 9番 崎村正明議員

決まったことはいいんですけど、逆に先になにをやるべきか、もう一度検討しまして、ぜひ今後はやって頂きたいとおもいます。以前に、同じ内容の保護者説明会を久米島校区では平成23年12月13日に実施、仲里校区の方では平成24年3月21日に実施した経緯がありました。今回の仲里校区の地域説明会では平

成26年度に向けて調整しているとの説明があり、さらに久米島校区の地域説明会でも同じような説明したかどうかですね。それと今までの説明会での状況をお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

さった5月8日に両中学校の統廃合検討委員会を開催いたしました。その中におきましては先ほどご説明申し上げましたが、まずは地域に意見を聞きたいということでの意見があり、その中での統廃合検討委員会からの答申はございませんでした。その後5月21日に久米島校区地域説明会を開催いたしまして、その中で意見としましては、この会場にいる皆さん方では判断はできないということがありまして、これもぜひ、地域の皆さん方にぜひチラシなりいろんな周知方法で徹底してほしいということがございました。そういった状況の中にございまして、当初は25年度の方で実施したいということで、これまで町長、私も議会の中で答弁をいたしたわけなんですけども、その地域説明会の中での皆さん方の意見を聞く限りにおいては、まだ時期尚早だということもございまして、25年度は厳しいというお話を申し上げました。その後5月25日の仲里校区地域説明会を開催いたしました。その中におきましてもやはり地域の皆さん方はもう少し意見を聞きたい、久米島校区の意見の聞きたいということもございまして、その仲里校区におきましても、やはりまだ十分地域の皆さん方に理解を得られていないということがございまして、まだ私の判断として26年度に推進をしていきたいと仲里校区ではお話を申しあげました。

○ 議長 喜久里猛

9 番 崎村正明議員。

○ 9 番 崎村正明議員

ということは仲里校区の方では26年度をめどに、統廃合を推進するということは言って、久米島中学校の方では言っていないということですね。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

はい、当初は25年度に実施に向けてということで、久米島校区の方でも説明をしたわけなんですけれども、ただその状況の中におきまして地域の皆さん方の理解を得られないということがありましたので26年度という言葉ではなかったんですが、ただ25年度の実施は大変厳しいというお話は申しあげました。

○ 議長 喜久里猛

9 番 崎村正明議員。

○ 9 番 崎村正明議員

地域説明会は、保護者説明会とアンケートなどを実施する場合は、両校同時に進行というかたちで実施し、情報の共有ができるように保護者や地域に統一した見解で説明し、理解を求められないかと思うんですよ。ぜひ今後、やっていただきたいと思います。

次にいきたいと思います。冒頭、最初に述べたのは、今までの議会での答弁内容でしたが、その場凌ぎの流動的な答弁内容で二転三転して、まったく信憑性、一貫性がないように思えるのですが、本当に平成26年に統廃合できるのか。答弁をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

これからのスケジュールとしましては来週につきまして、両方の校区説明会を開催いたします。その後にもまた子供たち、そして保護者、これは私たち子供たちのために今回の統廃合しようということがございますので、地域ではなく子供たち、そして保護者の意見を集約して、また実質それを検討委員会の皆さん方に申し上げ、検討委員会の中でそれを審議していただいて、答申を頂き、その後にもまた定例の教育委員会の中で審議をしその旨を、町長の方にご報告申し上げ、町長の方で議会へのご説明、もしくは上程ということになりますので26年に付きまして、このような進捗でございますので十分推進していけると思います。

○ 議長 喜久里猛

9 番 崎村正明議員。

○ 9 番 崎村正明議員

両校の統廃合が25年度から26年度に遅れた原因は、スケジュールの遅れが原因と玉城議員の質問に答弁されていましたが、今回遅れた原因は、教育委員会が具体的な方針を示すことなく、財政的な問題で統廃合は理解が難しいのではないかと私は思うんですよ。学校は誰のためにあるか、もう一度原点に戻って、島の将来を担う子供たちのために教育行政の都合だけでなく子供たちのために真剣に考えるべきだと私は思っております。次に進みます。

中学校の統廃合は、当初から対等な立場、対等な合併であることを前提として、検討委員会を立ち上げ新しい学校への移行課題については別に実施委員会を設置し、審議されると思いますので、ここで私が敢えて議論する必要はないと思いますので、検討事項以外の

ことについて4点ほど答弁をいただきたいと  
思います。

1点目なのですが、通学距離や下校時の安全確保考えた場合、久米島西中学校を希望する方がいると思うが、その対応をどうするか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

久米島西中学校への今久米島中学校からの子供たちの通学は考えておりません。久米島西中学校に行く場合につきましては、これは住所の移転これが原則になります。あと1つ特別対応としまして西学校には吹奏楽部がございしますので、その吹奏楽部をしたいという子供がいればこれは、これまでも仲里中学校の子供たち、仲里小学校、美崎小学校の子供たちが、そういった特別理由で久米島の中学校の方に転校した経緯はございます。ですから基本的には通学区域はあくまで、儀間、嘉手苅、山城の子供たちについては仲里中学校地ということで考えております。

○ 議長 喜久里猛

崎村正明議員。

○ 9番 崎村正明議員

今現在も、例えば仲里校区から西中そして久米島校区がら西中に通学している方もいるんですが、その対応はどうするか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

そのへんは住所とあと先ほど申しました、吹奏楽部、特別事情がございしますので、そういう手続きで西中学校への受け入れ、転校は可能だと思います。

○ 議長 喜久里猛

9番崎村正明議員。

○ 9番 崎村正明議員

次に2点目なのですが、統廃合については財政的な問題での統廃合だと思いますが、本庁の校舎は昭和50年代の建設された老朽化に伴う危険性が指摘されている現状になっているが、統廃合した場合、新しい校舎の学校建築費は財政的に確保できるのか伺いたい。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

全体の公共工事の枠は自ずから制限がございしますが、それは学校統廃合が決まったものについては優先的に取り組めるようなかたちで配慮していきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

9番崎村正明議員。

○ 9番 崎村正明議員

新しい校舎、合併するんですから校舎建設も並行して早めに計画を示してほしいと思います。次に3点目ですね。

統廃合後の、施設の跡利用についてですが、地域から学校がなくなるということは地域にとって地域が寂れていく心配があります。そこをどう跡利用するか、どう活性化させていく考えがあるか伺いたい。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

合併が決まった場合は、やっぱり今おっしゃるように、学校が地域に果たす役割というのは非常に大きなものがあると思いますので、それがなくなることによって地域が衰退しないかという心配は地域の皆さんは持っています。そういうことにならないように跡利

用の施設についてはしっかりと早めに計画を作って、対応できるように取り組んでいきたいと考えております。例えば今あげられているのが福祉施設であるとか、あるいは図書館であるとか、あるいは公文書館であるとか、介護施設であるとか、そういったものがございまして有効に活用できるように、それも早めに取り組んでいくようにしていきます。

○ 議長 喜久里猛

9番崎村正明議員。

○ 9番 崎村正明議員

最後になりました、今後、小学校、幼稚園、保育園の一元化などはどうあるべきか、統廃合委員会に丸投げではなくして、教育長と町長の考え方を示してほしいです。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

幼稚園につきましては、平成20年に前回の課題検討委員会のほうから、幼稚園の統廃合についてということも申し送りがありました。これにつきまして、私、教育委員会が一番懸念されているのが、幼稚園の園児が毎年少なくなっておりまして、あとは預かり保育をやっているわけなんですけれど、教育委員会としましては1園にまとめて給食の提供、これは給食センターからの給食の提供、そして午後6時までの預かり保育をするというのが、私達のもっともベストな幼稚園のあり方かなということがございますが、ただこれにつきましてはいろいろ幼保一元化とか、子供認定園とかありますので、そのへん国、県の動向を見極めながら、そのへんの保育所との意見調整をしながらどういったかたちが一番

ベターなのか、そのへんを調整しながら今後推進していきたいと思っております。小学校におきましては地域とのいろいろな思いがありますので、小学校はまだ少し早いかないということで考えております。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

中学校の統廃合は教育長からお話がありましたから、その後の取り組みについて、まず私の考えとしましては、幼稚園をとりあえず優先的に統合したいという思いを持っております。先ほど言った幼稚園児の数の問題とかありますので、その後また小学校の統合というふうな段取りでいけたらと思っております。これについては教育委員会の検討委員会の中で再度検討して、それを受けて、その次の展開を考えていきたいというふうに考えております。

○ 9番 崎村正明議員

以上で終わります。

(崎村正明議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで9番崎村正明議員の一般質問を終わります。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午後 4時39分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午後 4時40分)

お諮りします。本日の会議時間を予め延長したいと思っております。ご意見ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしの声があります。異議なしと認めます。よって本日の会議を延長することに決

定しました。

一般質問を続けます。

10番 饒平名智弘議員。

(饒平名智弘議員登壇)

○ 10番 饒平名智弘議員

2点ほど伺います。久米島町職員受験資格について。町の職員受験資格はこれまで、住所や本籍地については条件がないが、せめて久米島町に3カ月以上住所を有しているか、また受験者の父母でも可能ということで、また町に本籍を有している人を採用する考えはないか。もう1点、町の職員は何名か、夫婦は何組か伺いた。

イーフ 饒平名智弘議員。久米アイランドの前の東側に駐車場を整備する考えはないか。また饒平名智弘議員が通行止めになり、饒平名の住民は大変不便な生活をしている。早急に饒平名川の傍の道をアスファルト舗装を整備することはできないのか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

10番 饒平名智弘議員の質問にお答えいたします。久米島町職員の受験資格についてですが、本庁の職員採用受験資格に住居要件はありませんが合併後の採用結果からみますと、全員が住所または本籍のいずれかを町に有するものとなっております。また平成24年4月1日現在の町の職員数は他団体への派遣職員を含めて203名です。その内夫婦は20組となっております。

イーフ、饒平名地区についてですが、久米アイランド前東側の駐車場の整備についてですが、久米アイランド前の保安林帯に駐車場を

整備を計画するにあつたては整備の必要性やこの地域住民との合意形成が必要であります。これまでの経過を踏まえて関係者と話し合いをしながら検討してまいりたいと思いません。饒平名川の道路舗装についてですが、この道路については沖縄県が実施する饒平名川整備計画の中で、管理用道路として施行予定に入っていて、一部は昨年アスファルト舗装が施されております。延伸部についても舗装の計画はありますが、全体的な施行計画の中で優先順位をつけて検討することです。しかし饒平名川の通行止めに伴い地域住民に迷惑をかけているのは現実なので、町としても県と調整を図り早めに整備に取り組むよう要請してまいります。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

10番 饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

これまでに住所や本籍のない受験者はいなかったのか。また住所のない受験者が、この久米島町の職員採用試験に受かって断ったケースはないのか、伺いたい。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長

○ 総務課長 仲村渠一男

今の合併後の分についてお答えします。合併後の職員採用については、保健師については、これは例外として全県的に募集掛けても逆に確保するのが困難なぐらいですので、一般行政職と消防職員だけに限定してお答えいたします。これまで平成24年の4月1日まで15人の職員を採用していますが15人すべてが本籍、あるいは住所のいずれかを有しているということになります。あと合格したんだけ



れど採用されなかった人の中には両方有していなかった者がおります。

○ 議長 喜久里猛

饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

私はそこが一番の問題だと思うんですよ。やっぱり島の子たちが絶対仕事を、島でやりたいというのがいっぱいあると思うんですよ。那覇から別の仕事があるのに久米島の役場の採用試験を受けようと軽い気持ちで受ける人もいると思うんですよ。別が受からなければ久米島の役場に入ろうというぐらい、軽い信念で役場職員になったらとっても困るんですよ。また町長はいつも言っていますよね、島の子は島で仕事ががんばって欲しいと、僕は人間小さいがもしれませんが、やっぱり久米島の関係者に久米島の役場職員とか消防をやってほしい。それで、今回この住所、本籍地の問題を取り上げているんですが、これをやれば日本全国から何処からも受けられないんですよ、やっぱり久米島町に受験する人は久米島の関係者だと思う。とっても限定されると思うので、久米島の子供たちが有利に働くと思う。また別の所もそういうところがあるんですよ、私が調べた資料で、金武町、宜野座村、伊江村は、受験者は住所、本籍地あるものに受験資格を与えている。また受験日もづらしている。それは私なりの考えなんですけど、やっぱり島の子たちが別の那覇市、浦添市、大きいところに受験できるような出願もやっていると。そういった意味から私は住所と本籍地は、ぜひ、採用要件に組み込んでほしい。町長に答えてほしい。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

確かに饒平名議員がおっしゃるとおり、我々も町出身者に町内で仕事をしてもらいたいという思いはございます。これは伊江村と恩納村、あと金武町の資料を見ておりますが、時期をずらして要件をつけているということについては、これから前向きに検討していきたいと思います。これについては、ホームページあたり、あるいは条件欄に早速記入をするということで、町出身の方々が受験できるような体制というのは取り組んでまいりたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

今の答弁を聞いて、本当は前からやってほしかったぐらいです。次に、久米島町の職員203名の中の40名の夫婦がいますが、町長と副町長の認識を伺いたい。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

私はあと1年と11カ月です。副町長につきましては、2年と1か月以上です。

○ 10番 饒平名智弘議員

いやいや、この人達にどんな思ってますかということですよ。

○ 平良朝幸町長

大きな勘違いでした。僕は任期だと思っていました。すみません。20組の夫婦に関しては、例えば結婚して夫婦を採用したということではないですね、消防と保育所の職員が結婚しているとか、あるいは職場にいて職場結婚ということがありますので、これについては特にどう思うかということで私は答えよ

うがないですね、特に20組いることが悪いとか良いとかいうことで答えなくてはいけないのか。あるいはその状況をどう思うのかとか、それじたいが私はわからないのですよ、結局この役場で夫婦を採用したなら、これはダメですよと言いたいんですが、これは職場結婚で夫婦になったということは、これについてのコメントは今のところ私にはありません。

○ 議長 喜久里猛

10番 饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

職場結婚とかじゃなくて、203名の中の40名が夫婦の職員がいるということに対してどう思うか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

他の市町村も夫婦というのは多いです。これは職場結婚でやっぱりなったということで、これは多い少ないというのは他と比べておりませんので、これについてはわかりません。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄副町長。

○ 副町長 大田治雄

この件に関しましては私も、答弁しづらいのですが、私個人的に言えば私も役場採用されたときに職場結婚して家内は退職させて専業主婦でやってきました。考え方としてはいろいろあると思います。それでも生計は十分可能かと思うんですが、それぞれの考え方があります。他の市町村においても夫婦もちろん、親子も結構おります。それぞれの考え方がありますが、今町長がおっしゃったような規制する要因はありません。これは今後のそれ

ぞれの考え、ただ考えた場合に、こういう人口の少ない市町村で約200名に対して40名というのは多いのかなと、ある民間企業では夫婦は、その職場にいた場合は管理職の承認を遅らして片側を勧奨退職をさせる仕組みづくりとかやっていますが、今後は職を与えるためには何らかの方策を立てる余地はあるかと個人的には思います。

○ 議長 喜久里猛

10番 饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

次に行きます。駐車場の件なんですけど、僕が質問したら地域住民の合意が必要とか解答が返ってきているんですよ、これは平成20年2月23日と23年7月20日に、イーフの区長を中心にイーフ住民からの要請は町長の方に行っている。それを言いたいのは、何で係りの人が、そこをわからないかというのも不思議ですよ、まずそこから、なぜ連絡がないのか、わからないのか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

これは一般質問を受けた時点で関係者に、この状況を教えてくれということで前任者にも一応聞いて、ここを聞いた段階で、イーフの保安林の所の駐車場の要望がありました。ということで、またそして環境保全課の職員から、それで要請を受けた段階で県の南部林業事務所で保安林の植栽事業計画を立てている、ここは駐車場計画がありますからそこは事業から外してくれということまで一応確認をして、それで進めるのであれば地域の合意形成とか、地域の駐車場の必要性とか、そういったことは必要だろうということで答弁

を書いて、その後から聞いたらそういう要請があったということですね。そこらへんの手違いで商工観光課の時点で、そのところは産業振興で引きついでいるんですが、その調整が、確認が十分でしなかつたと思います。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

横の連携はちゃんとやらないと誤解を招きますので、この駐車場はないと道に車が止まり、歩道とかにも車が止まり、住民は大変危険な思いをしているんですよ。また夜は久米アイランドの観光客が夜ビーチに遊びにいくんですよ、そこを通過して。そうすると道が、歩道に車が止まると道が狭くてまた暗くもなるんですよ、またそこはハブもよく出る、そして車の下でハブ取ったり、歩道でハブ取ったりしたこともあるもんですから、何か事故があったら大変困ると思う。そのためにも駐車場が出来れば、そのそばの環境もよくなるし、絶対必要だと思うんですよ、町長。そういった面で早急に駐車場は作った方が私はいと思う、町長の考えを伺いたい。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

この件については以前にイーフの集落から要請書が出ていたと思うんですが、これについてはイーフの整備と一緒に県、県ではロードパークだったらできると言っていたんですが、これについては県との調整は課長がやっておりますので、課長に意見を。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

この要請を受けて県道事業と一体化した駐車場整備ができないかどうかということで、県と調整したんですが、基本的に道路で駐車場は難しいということでの返事をいただいております。先ほど、町長のお話があったんですが、ロードパーク、要するに公園を含めてであればその公園のための駐車場はできると、駐車場単独のやつは道路事業では出来ないということなんで、もしこの事業をやるとなると単独でしか出来ないのかなという感じがします。いろんな事業を調べたんですけども駐車場だけの事業というのはあり得ない、そういうメニューはないんですね。ところが今道路が県道を走っているんですが、この道路効果促進事業として、この道路に付随したかたちの中での、これは町がやってもいいんですが、そういう形であれば出来る可能性はあります。効果促進で、この道路事業を基幹事業として別の事業を入れるということは可能性はあるかも知れないんですが、単独の駐車場の整備事業というのは今のところはないということです。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

こっちも工事始まっておりますので、ぜひ、県の方に要請して、駐車場必要だと思う、いろんな面から、早急に出来るようにお願いしたいと思います。

次に、銭田の住民は銭田橋が通行止めになり毎日不便な思いをしている。町長の答弁を聞いて安心はしておりますが、具体的にいつから、この舗装を取り組むのか伺いたい。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

昨年一部はやっておりますよ。去年一部は舗装はされているんですが、ただ今回、この事業の予算の中で優先順位というのがあって、現在水門の工事をしてますが、この水門の工事を確実に終わらせないと道路には入れない。何が優先かというところは要は水門の工事を遅らせても、その道路の舗装をやるのが優先なのかという部分は検討させている最中なんです。そういう中でまだ結論がでていないんですが、限られた予算の中で工事の優先度というのは、やはり水門から先に終わらせた方が、良いということです。災害とか起こる可能性があるんで取り敢えず水門だけは早めに終わらせたいということが今、県の流れになっています。

そしてもう一つ引っかかるのが、その道路に個人の土地があって、その土地がなかなか買えないという部分があって、昨日聞いたんですが相続関係が難しいという方がいて、それに時間を要しているという原因もあるということです。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

あの道ちゃんとわかりますよね、僕が言っている場所は。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午後 5時01分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午後 5時03分)

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

質問している場所はきちんと把握しております。いろんな問題ありますが今後も努力し

ながら、住民が生活に支障があるということは分かっていますので、一生懸命頑張ってなんとかするようにします。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

さっき水門の話が出ましたが、水門のところから迂回路だった銭田の橋が通行止めになり、水門から通っていたのに、また水門も工事が入って、銭田の住民は島尻より遠くなっているんですよ、イーフから。不便な思いをしておりますので、町長、建設課長がんばって、一刻も早く道を舗装してください。

(饒平名智弘議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで10番饒平名智弘議員の一般質問を終わります。

以上で一般質問は終了しました。

本日はこれで散会します。

お疲れさんでした。

(散会 5時05分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 喜久里 猛

署名議員（議席番号11番） 山里 昌輝

署名議員（議席番号12番） 仲村 昌慧

平成24年（2012年）

第3回久米島町議会定例会

2日目

6月14日

平成24年第3回久米島町議会定例会

会議録 第2号

招集年月日	平成24年6月14日（木曜日）			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開散会日時 及び宣言	開会	6月14日 午前10時00分	議長	喜久里 猛
	閉会	6月14日 午前12時31分	議長	喜久里 猛
応招議員 出席議員  出席14名 欠席0名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	棚原 哲也	8番	島袋 完英
	2番	幸地 猛	9番	崎村 正明
	3番	平良 義徳	10番	饒平名 智弘
	4番	翁 長 学	11番	山里 昌輝
	5番	宇江原 総清	12番	仲村 昌慧
	6番	安村 達明	13番	玉城 安雄
	7番	喜久村 等	14番	喜久里 猛
(不応招) 欠席議員				
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番		番	
会議録署名議員	13番	玉城 安雄	1番	棚原 哲也
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	桃原 秀雄		
	書記	大城 良乃		
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	平良 朝幸	教育課長	保久村 学	
副町長	大田 治雄	環境保全課長	佐久田 等	
教育長	比嘉 隆	建設課長	盛本 實	
総務課長	仲村渠 一男	産業振興課長	平良 朝幸	
町民課長	真栄平 建正	農業委員会事務局長	上江洲 勝志	
プロジェクト推進室長	中村 幸雄	上下水道課長	又吉 敏雄	
税務課長	田端 智	消防長	上里 浩	
福祉課長	山城 保雄	行政改革推進室長	平田 明	
会計管理者	仲地 泰			

## 平成24年 第3回久米島町議会定例会

議事日程〔第2号〕  
平成24年6月14日(木)  
午前10時00分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名(久米島町議会会議規則第120条)	75p
第2	承認第1号	専決処分(久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについて	75p
第3	承認第2号	専決処分(久米島町税条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについて	76p
第4	承認第3号	専決処分(久米島町固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについて	77p
第5	承認第4号	専決処分(平成24年度久米島町一般会計補正予算(第1号)の承認を求めることについて	78p
第6	議案第24号	久米島町課設置条例の一部を改正する条例について	81p
第7	議案第25号	久米島町火災予防条例の一部を改正する条例について	82p
第8	議案第26号	久米島町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について	83p
第9	議案第27号	久米島町手数料徴収条例の一部を改正する条例について	84p
第10	議案第28号	久米島町暴力団排除条例の一部を改正する条例について	84p
第11	議案第29号	久米島町墓地等の経営の許可等に関する条例の制定について	85p
第12	議案第30号	平成24年度久米島町一般会計補正予算(第2号)について	88p
第13	議案第31号	平成24年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	104p
第14	同意第2号	久米島町固定資産評価審査委員会委員の選任について	106p
第15	同意第3号	教育委員会委員の任命について	107p
第16	報告第1号	平成23年度久米島町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	108p



(午前10時00分 開議)

○ 議長 喜久里猛

おはようございます。

これより本日の会議を開きます。本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 喜久里猛

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、13番玉城安雄議員、1番棚原哲也議員を指名します。

日程第2 専決処分（久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）の承認を求めることについて

○ 議長 喜久里猛

日程第2、承認第1号、専決処分（久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）の承認を求めることについてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

おはようございます。それでは、承認第1号、専決処分の承認について、地方自治法第179条第1項の規定に基づき、別紙のとおり専決処分したので、同条第3項規定により、これを報告し議会の承認を求めます。

平成24年6月13日提出

久米島町長 平良朝幸

2枚目をお開きください。専決処分書の地方税法の一部を改正する法律が交付されたことに伴い、また地方税法の税法及び国有資産等所在市町村交付金法の一部を改正する法律、地方税法施行令の一部を改正する政令及び地方税法施行規則の一部を改正する省令が交付されたことに伴い久米島町国民健康保険税条例の一部を改正するため、地方自治法第179条第1項の規定により、議会を招集する暇がないと認め、別紙のとおり専決処分する。

これが提案理由としまして地方税法の一部を改正する法律が、平成23年12月14日に交付されたことに伴い、また地方税法及び国有資産等所在市町村交付金法の一部を改正する法律、地方税法施行令の一部を改正する政令及び地方税法施行規則の一部を改正する省令が、平成24年3月31日に交付されたことに伴い、関連条例を整備する必要がある。

これが提案理由であります。

次ページにおいて、その条例の新旧、改正前、改正後を示しております。

以上が、承認1号の提案内容となります。ご審議よろしくお願ひします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから承認第1号、専決処分（久米島町

国民健康保険税条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、承認第1号、専決処分(久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)の承認については、原案のとおり可決されました。

日程第3 専決処分(久米島町税条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについて

○ 議長 喜久里猛

日程第3、承認第2号、専決処分(久米島町税条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについてを議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。  
大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

承認第2号、専決処分の承認について、地方自治法第179条第1項の規定に基づき別紙のとおり、専決処分したので、同条第3項の規定により、これを報告し議会の承認を求める。

平成24年6月13日提出

久米島町長 平良朝幸

次ページをお開き下さい。

承認第2号、専決処分書。

地方税法及び地方税法特別税等に関する暫定措置法の一部を改正する法律及び地方税法及び国有財産等所在市町村交付金法の一部を改正する法律等の施行に伴い久米島町税条例

の一部を改正するため、地方自治法第179条第1項の規定により、議会を招集する暇がないと認め、別紙のとおり専決処分する。

提案理由であります。地方税法及び地方法人特別税等に関する暫定措置法の一部を改正する法律の改正に伴い、慣例規定を整備する必要があるためであります。

次ページ以降、条例の改正前、改正後を示しておりますが、下線の引かれた箇所が今回の改正内容となります。

なお、全ての文面を朗読することは、時間を要しますので割愛したいと思います。

ご審議よろしくお願いいたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから承認第2号、専決処分(久米島町税条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、承認第2号、専決処分(久米島町税条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについては、原案のとおり可決されました。

**日程第4 専決処分（久米島町固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部を改正する条例）の承認を求めることについて**

**○ 議長 喜久里猛**

日程第4、承認第3号、専決処分（久米島町固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部を改正する条例）の承認を求めることについてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

（大田治雄副町長登壇）

**○ 副町長 大田治雄**

承認第3号、専決処分の承認について、地方自治法第179条第1項の規定に基づき、別紙のとおり専決処分したので、同条第3項の規定により、これを報告し議会の承認を求める。

平成24年6月13日提出

久米島町長 平良朝幸

次ページをお開き下さい。

専決第3号、専決処分書。

沖縄振興特別措置法の一部を改正する法律の施行に伴い、久米島町固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部を改正するため、地方自治法第179条第1項の規定により、議会を招集する暇がないと認め別紙のとおり専決処分する。

理由であります。沖縄振興特別法の一部を改正する法律の施行に伴い、久米島町固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部を改正する必要があるための理由であります。

次ページ以降は、新旧対照表となりますが、

改正前が左、改正後が右側となり、下線部分の箇所が今回の改正内容となります。

全文朗読は省略したいと思います。

ご審議よろしくお願いいたします。

（大田治雄副町長降壇）

**○ 議長 喜久里猛**

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

2番幸地猛議員。

**○ 2番 幸地猛議員**

第5条、町長は、本町の観光地形成促進地域内とありますが、久米島町に、これに該当する地域は何処でしょうか。それとも現在、該当している建物があるかどうか。

**○ 議長 喜久里猛**

田端智税務課長。

**○ 税務課長 田端智**

お答えいたします。地域の指定はございませんが、今回の固定資産の課税免除の特例に関する条例の中では、ホテル業が関係しております。

**○ 議長 喜久里猛**

2番幸地猛議員。

**○ 2番 幸地猛議員**

第6条の中にも、産業高度化・事業革新促進地域内の区域とありますが、これについても本町として、どの地域なのか、それとそういった免除を受ける施設があるかどうか。

**○ 議長 喜久里猛**

田端智税務課長。

**○ 税務課長 田端智**

従来は13市町村が地域指定でありましたが、今回、全県を指定するということで、久米島町におきましては、久米島製糖がこれに

該当しまして、製造業が該当するという  
ことで、この減免を受けています。24年度について  
受けているのが、久米島製糖ということ  
です。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから承認第3号、専決処分（久米島町  
固定資産税の課税免除の特例に関する条例の  
一部を改正する条例）の承認を求めること  
についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成  
の方は挙手願います。

（全員挙手）

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、承認第3号、専決  
処分（久米島町固定資産税の課税免除の特例  
に関する条例の一部を改正する条例）の承認  
を求めることについては、原案のとおり可決  
されました。

#### 日程第5 専決処分（平成24年度久米島町 一般会計補正予算（第1号）の承 認を求めることについて

○ 議長 喜久里猛

日程第5、承認第4号、専決処分（平成24  
年度久米島町一般会計補正予算（第1号）の  
承認を求めることについてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

（大田治雄副町長登壇）

○ 副町長 大田治雄

承認第4号、専決処分の承認について、地  
方自治法第179条第1項の規定に基づき、別  
紙のとおり専決処分したので、同条第3項規  
定により、これを報告し議会の承認を求めま  
す。

平成24年6月13日提出

久米島町長 平良朝幸

次ページをお開き下さい。

専決、第4号、専決処分書、（平成24年度  
久米島町一般会計補正予算（第1号））につ  
いて、地方自治法第179条第1項の規定によ  
り議会を招集する暇がないと認め、次のとお  
り専決処分する。

平成24年4月13日提出

理由であります。平成24年5月1日、開  
設予定の特別養護老人ホーム「球美の杜」小  
規模多機能方居宅介護事業所に必要な開設準  
備経費を沖縄県施設開設準備経費助成特別対  
策事業により、実施するためのものでありま  
す。

なお、次ページに予算書を添付してます。

ご審議よろしくお願いいたします。

（大田治雄副町長降壇）

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

専決月日は何日なっていますか。専決した  
月日です。

それと専決処分につきましては、これは第

179条に基づくとありますが、歳出を見ますと、これ該当するかどうか、本当に緊急性を要しているのかなということがありますので、その事業内容の説明をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

専決の日付につきましては、24年4月13日でございます。その事業の補正の内容につきましては、提案理由の説明にあったとおり、「球美の杜」小規模多機能方居宅介護事業所に必要な部分と、あと農林水産事業費の産地水産業強化支援事業関係の事業費、それから教育委員会事務局費の賃金、その3本となっております。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

この沖縄県施設開設準備経費助成特別事業、これは平成23年度事業、それとも24年度事業ですか。それと下の沖縄水産産業強化支援事業、これも例えば4月に専決するということは、おそらく前年度事業じゃないのかなという感じもしますが、この2点ですね。

そして教育委員会、この臨時職員、専決処分に該当するかどうか非常に疑問なんですよ。人件費ですよ。例えば臨時職員につきましては、既に当初予算もありまして、新年度に向けていろいろ検討されていることだったんじゃないのかなと思って、今後こういうかたちで専決処分があることは、ちょっと緊急性があるのかどうか、ちょっと疑問ですので、説明をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

沖縄県施設開設準備経費助成特別事業について説明します。

この事業は、23年度事業で進めていきましたが、3月の予算編成、議会の途中に開設が遅れるということで、県と協議して23年度事業を減額して24年度の開設期間に再度24年度事業として、残り分を24年度事業として切り離してやるために専決しないといけないということで、補正第1号計上してあります。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

産地水産業強化支援事業、嘉手苺の巻き揚げ機の事業ではあるんですが、これも含めて、この事業が水産庁の応募事業で3月20～4月20日、約1カ月間の応募期間があって、それに合わせて応募するというので、予算計上しております。

その前に漁協の方から要請があって、これが調整が十分できない状態で、3月の予算に載せることができなくて、それで緊急的に、この予算に上げています。巻き揚げ機と荷さばき施設合わせて、産地水産業強化育成事業ということで、合わせた事業になっております。

○ 議長 喜久里猛

保久村学教育長。

○ 教育課長 保久村学

ただいまの人件費について説明します。学校ごとの予算の執行状況等の整理関係がありまして、それと育英資金の奨学金をシステム化するための整備がございます。それに向けて、早めに取り組んでいかないといけないということで、今回、補正をお願いしています。

○ 議長 喜久里猛

2番 幸地猛議員

○ 2番 幸地猛議員

1番目、沖縄県施設開設準備経費助成事業、それは既に支出はしたんですかね。要するに、新年度に入ってからですね、専決処分というのは支出がまだであれば、臨時議会だとか、この定例会でも良かったのかなと、こういった大きな事業を専決するのは、どうかなという気もするんですよ。

ですからまずは、これを支出したか。それとも今の水産関係についてもやったか。この臨時職員賃金、既に雇用しているのか、採用しているのか。そのへん含めてお聞かせください。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

先ほど説明したように、23年度事業と24年度に分けてやっておりますので、23年度で実施した分、もちろん支出しております。24年度の、この補正でやった分も5月に開業ですんで、早めにむこうの機材の整備も必要だということで、4月13日の専決終わって、すぐ支出をしております。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

産地水産業強化支援事業、これについては4月12日に水産庁へ行ってヒアリングをしております。その中でいろんな指摘事項があって、これの指摘事項の調整を進めている段階で、事業実施するまでには、ちょっとまだ厳しいということで、今、調整中です。県の方もそれを調整して進んでいますが、7月に

もう一度、水産庁とヒアリングを受ける必要があるということで、そういう状況であります。

○ 議長 喜久里猛

保久村学教育課長。

○ 教育課長 保久村学

雇用につきましては5月から雇用をしております。週3日で雇用をして、現在、育英資金等の整備にあたっています。

○ 議長 喜久里猛

1番 棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

ただいま説明ありました産地水産業強化支援事業、先ほど課長から説明ございましたが、嘉手苧地区の巻き揚げ機と荷さばき機については、兼城港の予定でしょうか。

それにつきまして10日ぐらい前に漁業は、組合員に対して、説明会をやっておりますが、こういう予算の大きいものにつきましては、毎年組合の通常総会に図って承認を得てから、やるべきものだと思うんですが、そのへんの説明をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

今回の水産庁とのヒアリングにおいても地元の確認事業等が、どうなっているかというのもあって、それも嘉手苧地区の巻き揚げ機と荷さばき施設については、25年度の事業としてあげる予定であるんですが、指定を受けるためには、一括して3年事業として、認定を受けないと事業が実施できないという事情があって、それで持ち帰って、県と専用許可の問題とか、また漁協内の総会の決議事項とか、そういったものを踏まえて、もう一度7

月に水産庁とヒアリングする予定です。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。  
質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから承認第4号、専決処分、(平成24年度久米島町一般会計補正予算(第1号))の承認を求めることについてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

○ 議長 喜久里猛

挙手多数です。従って、承認第4号、専決処分、(平成24年度久米島町一般会計補正予算(第1号))の承認を求めることについては、原案のとおり可決されました。

日程第6 久米島町課設置条例の一部を改正する条例について

○ 議長 喜久里猛

日程第6、議案第24号、久米島町課設置条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。  
大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第24号、久米島町課設置条例の一部を改正する条例。

上記議案を提出する。

平成24年6月13日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町課設置条例の一部を改正する条例、久米島町課設置条例の一部を次のように改正する。大枠の中で左側が改正前、右側が改正後となっております。

なお、課の第2条の中において、下線の引かれた(2)外国人登録に関することが改正後には、削除されます。

提案理由であります。平成21年7月15日、住民基本台帳法の一部を改正する法律及び出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律が施行に伴い、久米島町課設置条例の一部を改正する必要がある。

これがこの条例案を提出する理由であります。

ご審議よろしくお願いいたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第24号、久米島町課設置条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第24号、久米島町課設置条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

#### 日程第7 久米島町火災予防条例の一部を改正する条例について

##### ○ 議長 喜久里猛

日程第7、議案第25号、久米島町火災予防条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

##### ○ 副町長 大田治雄

議案第25号、久米島町火災予防条例の一部を改正する条例。

上記議案を提出する。

平成24年6月13日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町火災予防条例の一部を改正する条例、久米島町火災予防条例の一部を次のように改正する。大枠の中におきまして左側が改正前、右側が改正後となります。

なお、5条以下、下線の引かれた箇所が今回の改正内容となります。

次ページをお開き下さい。提案理由であります。危険物の規制に関する政令の一部を改正する政令が公表され、炭酸ナトリウム過酸化水素、付加物が危険物に追加され新たに指定数量に5分の1以上、指定数量未満の危険物を貯蔵し、または取り扱うこととなるものの一定の貯蔵及び取り扱いにかかる技術上の基準並びに位置、構造及び設備技術上の基準について経過措置を講ずることとされたことに伴い、久米島町火災予防条例の一部を改

正する必要がある。これがこの議案を提出する理由であります。

ご審議よろしくお願いいたします。

(大田治雄副町長降壇)

##### ○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

2番幸地猛議員。

##### ○ 2番 幸地猛議員

炭酸ナトリウム、過酸化水素、発火物、こういった薬品か、それと町内において、この薬品を取り扱っている事業所があるかどうかですね。

##### ○ 議長 喜久里猛

上里浩消防長。

##### ○ 消防長 上里浩

お答えします。炭酸ナトリウム、過酸化水素、付加物についてご説明いたします。一般的には、過炭酸ナトリウム、過炭酸ソーダ、酸素系漂白剤と呼ばれています。成分が洗剤等に使われています。スーパーやホームセンターなどで使われている漂白用洗剤、除菌用洗剤、パイプクリーナー等に含まれています。その性質としまして、その物自体は燃焼しませんが、他の物質を酸化させる性質がある固体であります。

可燃物と混合したとき、熱、衝撃、摩擦によって分解し、極めて激しい燃焼を起こさせる危険性を有しております。

現在スーパー等で、流通している漂白剤等につきましては、国が定める危険物の非該当品として販売されていますので問題はございません。

久米島町内に取り扱い貯蔵されている所は



ありません。これは主に漂白剤とか、そういう製造所、工場等に備蓄されたり取り扱いされたりする付加物となっております。

○ 議長 喜久里猛

他に質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第25号、久米島町火災予防条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第25号久米島町火災予防条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

#### 日程第8 久米島町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について

○ 議長 喜久里猛

日程第8、議案第26号、久米島町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第26号、久米島町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例。

上記議案を提出する。

平成24年6月13日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例。久米島町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を次のように改正する。大枠の中におきまして左側が改正前、右側が改正後となります。

なお、印鑑登録資格の第2条以下、下線の引かれた箇所が、今回の改正内容となります。

次ページをお開き下さい。以下についても下線引かれた箇所が、今回の改正内容となります。

3ページ目、提案理由であります、住民基本台帳法の一部を改正する法律。

出入国管理及び難民認定法及び日本国等の平和条約に基づき、日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律の施行に伴い、久米島町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する必要がある。

これがこの条例案を提出する理由であります。

ご審議よろしくお願いいたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第26号、久米島町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第26号、久米島町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

日程第9 久米島町手数料徴収条例の一部を改正する条例について

○ 議長 喜久里猛

日程第9、議案第27号、久米島町手数料徴収条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第27号、久米島町手数料徴収条例の一部を改正する条例。

上記議案を提出する。

平成24年6月13日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町手数料徴収条例の一部を改正する条例。久米島町手数料徴収条例の一部を次のように改正する。大枠の中におきまして、左側が改正前、右側が改正後となります。

先ほどの条例案とも関連しますが、第2条関係、次ページをお開きください。手数料、外国人登録に関する証明等が1件につき300円、これが改正後には手数料については削除

されるものであります。

提案理由

住民基本台帳法の一部を改正する法律。

出入国管理及び難民認定法及び日本国等の平和条約に基づき、日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律の施行に伴い、久米島町手数料徴収条例の一部を改正する必要がある。

これがこの条例案を提出する理由であります。

ご審議よろしくお願いいたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第27号、久米島町手数料徴収条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

○ 議長 喜久里猛

挙手多数です。従って、議案第27号、久米島町手数料徴収条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

日程第10 久米島町暴力団排除条例の一部を改正する条例について

○ 議長 喜久里猛

日程第10、議案第28号、久米島町暴力団排除条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。  
大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第28号、久米島町暴力団排除条例の一部を改正する条例。

上記議案を提出する。

平成24年6月13日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町暴力団排除条例の一部を改正する条例。久米島町暴力団排除条例の一部を次のように改正する。

大枠の中におきまして左側が改正前、右側が改正後となります。

なお、5条以下、下線の引かれた箇所が今回の改正内容となります。

次ページをお開きください。

提案理由

平成4年の暴力団対策法の施行に伴い、暴力団は同法の適応を逃れるため組織実態を隠蔽し、また活動も不透明化させながら住民生活や社会経済活動の場に深く介入するなど多様な資金獲得活動を行ってきており、活動形態が巧妙化している。これらに対応するためには本町の条例をさらに強化する必要がある。これがこの条例案を提出する理由であります。

ご審議よろしくお願ひいたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第28号、久米島町暴力団排除条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第28号、久米島町暴力団排除条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

日程第11 久米島町墓地等の経営の許可等に関する条例の制定について

○ 議長 喜久里猛

日程第11、議案第29号、久米島町墓地等の経営の許可等に関する条例の制定についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第29号、久米島町墓地等の経営の許可等に関する条例。

上記議案を提出する。

平成24年6月13日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町墓地等の経営の許可等に関する条

例。

なお、第1条は（趣旨）。第2条は（背景）。  
第3条は（墓地等の経営主体）。

（1）公営墓地、（2）法人墓地、（3）共同墓地、（4）が個人墓になります。

第4条におきましては、墓地等の経営等の許可になっております。

次ページをお開きください。第5条が墓地の区域、これは区域は別に定めております。

第6条が補則、その他。

附則、施行期日、この条例は交付の日から施行する。

（経過措置）

この条例の施行の際、現に出されている申請、その他の手続きについては、それぞれの条例の相当規定に基づいてなされた手続きとみなす。

提案理由であります。平成21年4月1日付けで沖縄県より墓地等経営許可の権限移譲があったため、この条例案を提出する必要があります。

ご審議よろしくお願いいたします。

（大田治雄副町長降壇）

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。

質疑ありませんか。

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

第5条の墓地区は別に定めるというように規定していますが、どういった所を想定していますか。ということ1点。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

皆さんのお手元にお配りしております久米島町墓地整備基本計画、この中に各地区の区域を設定しております。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。（午前10時42分）

○ 議長 喜久里猛

再開します。（午前10時43分）

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

将来的には、やはり墓に花木等を植えることの義務づけをしたらどうかというようなかたちで、進めていっていただきたいということで提案します。

理由として、少しでも緑を多くすることですね。そして昔であればそういうようなツバキを植えたり、あるいは自分の家の材料、材木これに活用したわけですが、今は規模が小さくなってきているので、横浜あたりは墓地公園というかたちで、そういった花木、これを植えて、結局は公園化をしていると非常に景観が良いというようなこともあるので、久米島を緑の島というようなかたちでいえるならば、そういったところも将来的な義務づけとして、やっていただきたいということですが、どういう考え方もっていますか。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

条例に載せることはできなくても申請来た場合には、そのへんはお願いできると思いますので、申請に来たときには個別でお願いしていきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

将来的に義務づけたらどうかというようなことですが、どうですか。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

義務づけが可能かどうかは今後勉強して検討していきたいと思えます。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午前10時45分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前10時46分)

11番山里昌輝議員。

○ 11番 山里昌輝議員

申し訳ないです。よく資料に目をとおしてなくて、質問が途中で、ちぐはぐになるかもしれないんですが、条例を遵守するということを前提に、今回のこの条例は1番から4番まで公営、法人、共同、そして個人とあるわけですが、今回の議案からは逸脱する部分もあるかと思うんですが、特にこの墓地になりうる場所が、少ない地域、例えば、旧具志川側でいえば、大原あたり非常に墓地用地が少ない、従って、農地法を一頃は無視して農地に造ったり、場合によっては、保安林内に一晚にして墓ができ上がったとか、そういった事例がよくあったわけなんです。途中でスラブの準備をしているのを途中で辞めさせたりとか、そういった事例があったもんですから、私を知る限りでは、大原、北原、特に大原の方で、農地と保安林しか防潮林しかない。その他に墓地となりうる土地が確保できない地域はどこそこにあると思うんですよ。そういったところについて十分地域の皆さんと情報交換して、指定されているのか、そこが非常

に気になるわけなんです、これは後で資料を見させていただきます。

そういったことも含めて、行政の方でできる限り、今、散在している墓地、個人の所有地があれば、あっちにも、こっちにも、というふうには知らないところに、ちょこっと、寄ったらそこにいつの間にか墓があったとか、そういうのがよくありますので、今後は景観の問題等々も含めて、墓地用地、地域についての指定は最低限やるべきじゃないかなと思っておりますので、この条例を最大限に活用して、今後は、散在した墓地を集合させるようなことも念頭において、やっていただきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

ただいま宇大原の問題等が出ておりましたので、宇大原につきましては、久米島空港向かい右側に降りますと空港、左側、ホテルへ行く道がございまして、約30mぐらい行った所に保安林と道との間にけっこう大きな町有地がありましたので、大原の方々はその誘導するということで、区長さん始め、今回、申請出てきたお二方も今後ここに誘導するということで、約20基ぐらいは、そこに誘導できるんじゃないかということで、大原の方々には調整しております。

各地区もできるだけ指定した区域内に誘導しようということでの計画でもありますので、今後いろんなところに無作為に造るんじゃないかと、やはり景観上のことも考えて指導していきたいと思えます。

○ 議長 喜久里猛

他に質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

これで質疑を終わります。  
これから討論を行います。  
討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。  
これから議案第29号、久米島町墓地等の経営の許可等に関する条例の制定についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第29号、久米島町墓地等の経営の許可等に関する条例の制定については、原案のとおり可決されました。

休憩します。(午前10時51分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前11時00分)

日程第12 平成24年度久米島町一般会計補正予算(第2号)について

○ 議長 喜久里猛

日程第12、議案第30号、平成24年度久米島町一般会計補正予算(第2号)についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。  
大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第30号、平成24年度久米島町一般会計補正予算(第2号)の概要についてご説明申し上げます。

予算書の1ページをお開き下さい。平成24年度久米島町一般会計補正予算(第2号)の

概要につきましては、歳入歳出それぞれ3億8千691万1千円を追加し、総額77億8千172万9千円といたします。

歳入歳出の主な内容についてご説明いたします。

予算書の7ページをお開き下さい。歳入につきましては、普通交付税が7千万円、特別交付税が4千万円。それぞれ増額となっております。

8ページ目、国庫補助金では新規事業として、過疎地域等活性化推進事業が1千万円計上しております。

同じく国庫補助事業で4月の大雨による災害がありましたので、災害復旧事業費が4千480万円を計上しております。

県補助金は沖縄振興一括交付金の相当事業分にあたります沖縄振興特別調整交付金が1千687万2千円を計上しております。

震災と緊急雇用対応事業としまして、2千415万8千円を計上しております。主な内容としましては、ホームヘルパー育成事業、高齢者活動支援員配置事業、コミュニティー放送活用による地域経済活性化事業、海洋深層水を活用したファンド開拓事業及び久米島紬、観光産業連携と情報発信強化事業を実施いたします。

民生費、県補助金では、沖縄県地域支え合い態勢づくり事業に585万9千円を計上しております。

事業概要としまして、要援護者台帳マップ作成事業、医療情報キット配布事業を実施いたします。

衛生費県補助金では、妊婦及び胎児の健康管理の向上に寄与することを目的に、沖縄県ワクチン接種緊急促進助成事業として281万1

千円を計上しております。

農林水産業費、県補助金として継続事業であります中山間地域、総合整備事業が事業費の増として2千700万円を計上しております。

予算書の9ページ目に入ります。水産業県補助金は事業名称の変更及び事業費の増として、832万5千円を計上しております。財源調整分として財政調整基金繰入金を9千838万5千円、計上しております。

また特定目的基金繰入金として地域雇用創出推進基金繰入金が841万1千円を計上しております。

10ページ目に入ります。地方債では大雨による災害復旧事業の裏負担分として3千220万円を計上しております。

続きまして歳出に移ります。

11ページ目をお開き下さい。主な内容につきましては、人事異動によります人件費の組み換え分を計上しております。また事務事業の見直しにより公共施設の所属課が変更になりましたので合わせて組み換えを行いました。

総務課管理費の沖縄振興特別調整交付金事業につきましては、5千728万2千円を計上しております。現在、当該事業の補助対象事業費等について沖縄県と協議を継続しております。

予算書の22ページをお開き下さい。社会福祉費では沖縄県後期高齢者医療広域連合への負担金が1億547万8千円を計上しております。

児童福祉総務費の久米島町出産助成金交付事業として800万円を計上しております。この事業は当初沖縄振興特別調整交付金事業で計上しておりましたが、補助対象外となる見込みから組み換えを行っております。

33ページ目に入りますが、保健体育施設費にパークゴルフ場に掛かる経費をそれぞれ計上しております。

飛行場管理費につきましては、当初沖縄県委託金が概算要求から減額となっておりますので、歳出についてもそれぞれ減額しております。

34ページ目に入ります。災害復旧事業としまして宇江城地区災害復旧事業が780万円、久米島縦断線、儀間一号線災害復旧事業が5千779万9千円を計上しております。

以上が平成24年度久米島町一般会計補正予算（第2号）の主な概要となっております。

平成24年6月13日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしくお願いいたします。

（大田治雄副町長降壇）

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

歳出の33ページで、パークゴルフの説明が今説明のあったとおり、3目、パークゴルフの臨時職員、賃金も計上されておりますが、こちらの職員ですね、臨時で雇用するのか、職員として採用するのかと。

もう1点は、次の34ページ1目の農林水産施設の災害復旧費の宇江城とありますが、場所を教えてください。以上2点でお願いします。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

ただいまの質問にお答えいたします。パークゴルフ場につきましては、現在管理は環境保全課が管理するというようになっておりますので、5月から1人雇用して賃金職員で管理しておりますが、18ホール到底1人での管理では行き届かないということで、補正予算が通った後に再度あと1人雇用して、18ホールは、2人体制で管理しようということで予算を計上しております。職員ではなく、臨時職員での管理になります。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

農林関係の災害復旧現場ですが非常に説明しにくい。側溝の流末にヒューム管があってそのヒューム管の下側が浸食されての災害になっていまして、ある程度わかっていると思いますが、その場所です。

○ 議長 喜久里猛

翁長議員よろしいですか。

○ 5番 翁長学議員

はい。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

21ページの13節、ホームヘルパー育成事業が1千300万余計上されていますが、これは8月に予定されている2級ヘルパー養成のことでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

説明します。ホームヘルパー養成事業が、8月からの事業実施となります。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

これは何名募集するのでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

事業では10名を予定しております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

先ず当初予算と、この補正との関連について2点質問します。当初予算において公民館の修繕費が計上されていないということで、6月の補正に計上するという答弁がありました。今回の補正で計上されていないのはどうしてなのか、お伺いします。

それから堆肥センターについて当初予算で前年度より大幅な減になっているが、その理由はという解答で6月までの3カ月の予算になっているという答弁がありました。7月を目途に民間委託をするということでありましたが、その民間委託の進捗状況はどうなっているのか。

それで6月までの予算計上との答弁でありましたが、7月以降はどうなるのか、についてお伺いします。

それから19ページの民生費の社会福祉総務課の中で講師の報償費が5万円計上されております。久米島町の保護司の定数は5名となっておりますが、5名満たされているのかどうか、そして5名の報償費が当初予算に25万円計上されているのに今回5万円の増額補正になっているのはどういう理由なのか、についてお伺いいたします。



それからこの一括交付金において大綱引きの保存事業費が618万円計上されております。これまで何回かこの大綱引きの復活について取り上げてきましたが、祭りの一環としてこの大綱引きをやることによって盛り上がりができるということで、それを今まで祭りの一環として要望してきました。今回祭りが出来るのかどうかお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

公民館の修理、補修についてお答えいたします。公民館については、15万以上の補修については基本的には、財政の方で担当してやっていきたいと考えております。それからあくまでも一般財源となりますので、できるだけ事業を探して事業化をして対応していくということになります。これまでは福祉関係のバリアフリーの事業とか、緊急経済対策の事業を活用して、かなり公民館の補修をしてまいりました。今後ともまずは事業を探して、事業を活用して出来るだけやっていきたいと考えております。それから今、かなりの補修の要望があがっておりまして、その優先順位を作ってやっていきたいと考えております。一般財源で対応できるのは、おのずと限界がございます。それについては他の公共施設の優先順位も含めてやっていきたいと思っております。それから今回かなりの補修の要望が上がっていますが、その中でも雨漏りがある公民館がございますので、その防水工事については今回の補正で総務費の財産管理中に防水費を計上してあります。残りについては今回補正の財源がございませんので今後9月補正でどの程度できるか、優先順位をつけて検討

していきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

堆肥センターについては、当初予算で、予算計上の部分で3カ月間ということで説明したんですが、これは僕の勘違いで9月分まで、6カ月分を計上されております。そして7月を目途に民間委託を準備進めていくということでやっていたんですが、いろんな条件の所で、どうしても民間の経営をするにはちょっと厳しい状況で、やっぱり堆肥原料の確保の問題とか、それを運営する設備、建設の問題とか、いろんな条件の整備が必要だということで、今その整備に向けての調整中で年度内にはこの条件整備が整えば、民間委託に向けて公募をしていきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○福祉課長 山城保雄

保護司の報償費の件ですけれども、実は22年度に報償費を手違いで支払ってなくて、23年度と今年にかけて、その22年度の分を補おうということで1人分補正をしております。定数は5名なんですけれども今現在3名でなかなか人材を探せないということで、今3名で頑張ってもらってます。

○ 議長 喜久里猛

仲村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

大綱引きの開催について、当初8月を目途に実施したいという意向で、関係者の皆さんに協力を依頼しておりました。やはり一番ネックになっているのが稲藁の確保ですね。これ沖縄本島の金武町の方から稲藁を確保した

いということで、現地にも行っていろいろ調整していたんですが、やはり全量確保できないということで、それで与那原町にもちょっとお願いをして、その使った後の綱の引き取りとか、お願いしたんですが、そこも大阪の方に寄付が決まったということです。それでも県内から稲藁を調達したいということで、稲作が盛んな伊是名にもたくさん米をつくっているということで要望したんですが、すきこみ肥料にしたりとか、地元で使う分で精いっぱいだということで、ちょっと断られているのが現状です。それで今回8月の祭りの時の実施はちょっと厳しいだろうということでみていて、産業まつりの実行委員会の方で、産業祭りとその時期に出来ないかということで今調整を進めているところです。ただ、稲藁の確保が問題になるんですが、実は、屋慶名の方で綱引きしているんですが、向こうから、もし久米島町が良ければということで、使った後の綱を譲ってもいいという打診がきています。そのあたりでちょっと産業まつりの時期に、それが開催できないかなということを考えています。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

先ずこの公民館の修繕費については6月補正では計上できないということでもあります。そして9月補正でやると。今回何ヵ所のこの間から要請がでていると思いますが、総額でどのくらいの見積もりが出せているのかお聞きします。

それから堆肥センターについてであります。普通にこれまでの民間委託については公募して民間委託をやってきているんですけど

も、今回堆肥センターについて民間委託する場合、公募してやるのかどうかですね。それからこの堆肥センターの堆肥の町の補助がバラ売りした場合1トンに付き2千円の補助があります。その補助の支給方法についてお伺いしますが、実は平成23年度の4月か5月に堆肥を購入してんです、しかしその補助の支払い支給が今年の4月にこの申請書が届きまして4月に支給されております。

職員に聞いたところ年度締めて支払していると説明しておりましたが、それは適正なのかどうかお伺いします。

そして民間委託になった場合この補助は続くのかどうか、1トンに付き2千円の補助は続くかどうか。そこも3点お願いします。

それから保護司の22年度に支給されなかった理由は何なのか、お伺いします。

それから綱引きについて、12月の産業まつりにやる予定と解答がありましたが、一番心配されるのは盛り上がり心配なんですね、それだけの予算掛けてやって盛り上がりができるのかどうか心配されますが、そのこととどのようにお考えなのか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

公民館の改修につきましては現在宇山里、それから山城、それから銭田、それから大原、改修の要請がきております。正確には覚えておりませんが、1千万円を超えるということでご理解をいただきたいと思っております。

そういうことで改修については、起債がききませんので全部一般財源対応となります。そういうことで出来るだけ事業化して事業を探して金のかかる分については対応していき

たいと考えております。

今回の答弁したとおりですね、今回の補正の財産管理費、12ページに財産管理費修繕費調査等となっておりますが、50万円が公民館の防水対応の為の費用でございます。これ1カ所、宇山城の公民館でございます。それについては雨漏りということですので、優先的に改修をさせていただきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

堆肥センターについては、公募は一般公募でやる予定をしております。補助の出し方についてですが、これも気づかなくて、後で担当に補助金の出し方がおかしいんじゃないかと指摘をして1ヵ月ごととか、2ヵ月3ヵ月の公金を締めてやるべきじゃないかということで、この分は指摘してやっております。これはそういうふうに1ヵ月、期限を決めていたすようにやっていきたいと思っております。あとは民間に委託した後も基本的には継続して補助の分はやっていきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

22年度の支給できなかった理由なんですけれども、この保護司の皆さんから、請求がなかったというふうなことで支給しなかったということで、この保護司の、この報償費を設立した経緯も、やっぱりボランティアでいろいろやって貰っている関係あって、町からもいくらやるべきだというふうなかたちで創設していますので、請求なくとも、こちらから支払うというふうなことであるべきだという

ことで、23年度の予算と24年度に計上しているなかで足りない分ということで1人分ということで計上してあります。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

大綱引きの実施時期、12月に盛り上げることができるかということ、少し心配ですが、今、産業まつりの会場を、事務局の案ではあるんですが、会場をふれあい公園に移してはどうかということがあって、やはり現在の産業まつりの会場は手狭になっていて、いろいろ場所を変更すべきではないかという意見もでているようです。ふれあい公園で仮に出来たとして、綱引きは振興通りでとか、いろいろ安全面とかいろいろ検討しないといけない部分があるんですが、取り敢えず、その地域で開催できればと考えています。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

今堆肥センターの補助の支給方法も、これは予算というのは、今福祉課の保護司のもそうですけども、年度内執行するべきだと思っております。月締めしてやるべきだと思っておりますが、それをすべて年度締めして翌年に支払するということ、これは適正な予算の執行のしかたじゃないと思っております。そこところは気をつけて頂きたいと思っております。

保護司の方も、これまで僕も経験あるのですけども、これまで1回も請求しておりません。当然、請求しなくても役場が予算を出すべきだと思っておりますので、今後は年度内に執行するようにお願いしたいと思いま

す。以上で質問終わります。

○ 議長 喜久里猛

11番山里昌輝議員

○ 11番 山里昌輝議員

3点ほどお伺いします。

先ず今回の補正で、バーデハウスの件なんですけど、バーデハウスそのものの施設についてはなくてはならない施設になってきているということは、十分認識しておりますが、町長、この財政の、このつぎ込み方、よく中身が見えない部分、いろいろ今回の場合に、このバーデハウス健康管理、健康増進及び会計管理システム改修事業となっておるわけですが、今回補正でさらに294万8千円と上がっております。ただこれはある意味、今の施設以上にむしろグレードアップする必要もあるんではなかろうかという、またそうして欲しいという島外利用者の希望もあるわけです。

島内においてはまた足腰下肢機能の低下している方々にとってはなくてはならない施設だという声も結構出てきておるわけですが、ただ申し上げたいことは、五月雨的な財政支援というのだけは辞めてほしい。もう少し計画性をもってもらいたいということと。このやる前に、この議会側に情報開示をしてほしい、こうこういうことで、こういうふうには補正をしますと、しかる中身が議会の皆さんが把握できるようなやり方をしてほしいなと思っておりますが、町長一言だけ、この件に関してお願いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

健康管理システムにつきましては、バーデハウスが建設がされて8年過ぎて今健康管理

システム入っているんですけど、耐用年数が過ぎて今動いているシステムが3基ぐらいになっていると11基あったのが使えなくなったものから撤去していると、それで住民にも町民にも迷惑かけて、その健康管理事態が把握できない状態になっているということです。それから体重計とか、血圧計とか、すべてが連動して、何ヵ月かのデータがとれるように今度したいということで、あれしております。ただ施設については30万以上の修理、あるいは設置については、これは以前から町がやることになっているということもありまして、我々は町民の健康管理について、事業が入れば、ぜひ事業でやりたいというふうに思っておりますので、今回、一括交付金に上げてありますけれども、ぜひご理解いただきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

11番山里昌輝議員。

○ 11番 山里昌輝議員

このバーデハウスにつきましては、開所当時から私個人的な意見も入ってくるわけなんですけど、そこに投資したいいわゆる稼働率が低い、だから町の財政はこうなっているんだというふうな一方的な見方もあります。しかしそこを活用したことで医療費がどれぐらい軽減されているか、そういったものをチェック機能を高めていくことによって、そういったところも試算できるはずですので、将来は公立病院言っているかどうか、病院の方ですとね、システムをしっかり双方で構築してそういった、月に2回通っていた方が1回で済むようになりましてよとか、必ずそういう結果につながっている方がおるはずですので、そういうところまで綿密にチェックして

いけるような機能の強化もはかっていただききたいなと思っております。

それからあと、担当課長から確認は終えているわけですが、この場で敢えて取り上げるまでもないかと思うんですが、再確認、絶対あってはならないということから、ひとつこの議事録に残すために、私、敢えて申し上げます。13ページの、旅費の中に奥武島をオーハ島地区を整備基本構想があります。これは金額の高い低いは別です。ただ申し上げたいのははご承知のとおりあれだけ開発されていますが、オーハ島だけは絶対にながあっても人が踏み込むようなことがあってはならないと、担当課に聞いてみますと、そこに希少な生物とか、そういったものを調査するためにやるんだということですが、横行するこの頻度が高まってきたら必ずやまた我々も行こう我々も行こう、往来する過程で満潮時にはいけないから、またちょっとした橋を架けた方がいいんじゃないとか、そういうふうによやもするとなりかねないです。

かつて話はとんざするんですが、岐阜県の高山、飛騨回ってしまして、その先の方にバイクでしか行けなかった奥飛騨があったのが、いつの間にか人の往来が激しくなってきたことで、交通というのを考えて、またどんどんその奥のほうまで入り込んでいって、そのらしさがまったく失われてきていると、そういうこともきいております。オーハ島だけはこれは町民挙ってですね、この唯一の久米島の奥座敷として、これはいつまでも今の景観を残していく必要があると思っておりますので、そこだけはしっかりやっていただきたいと思っております。

それから歳出の16ページですけれども、担

当課の方から説明を求めます。久米島コーディネートセンター構築事業、これよく内容わからないですので、担当課長の方でよく説明してください。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

久米島コーディネートセンター構築事業ですが、これは商工会が主体となってやる事業です。これは久米島出身の本島での企業家、地元で商品を作っている皆さんとの接点を作って事業拡大を図るための手助けする事業ということで事業内容となっております。

○ 議長 喜久里猛

11番山里昌輝議員。

○ 11番 山里昌輝議員

これは別途に施設を設けるということですか、または何処かの既存施設を活用するということですか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

これは本島、久米島出身の企業家、地元の企業家と商品を作って、販路の拡大するのにいろんな障害があって情報が不足だということで、そういう人達の接点を作る機会を本島であれば本島の会場で、年何回か設定してそういう情報交換会とか、そういったものを作っていくということです。これは会場使用料で対応するという事です。後はそこで対応できる人件費とか、そういったもので対応する予定になっております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

私の方からも2点ほど伺いたいと思います。まず最初に、15ページ16ページの15ページの13節の委託料、B&G海洋センター体育館改修の515万、16ページの改修事業の4千635万円、こういった内容なのか、こういった工事なのか、説明をお願いしたいと思います。また一括交付金で対応できるのか、等々もお願いしたいと思います。

次に予算の最後のページですね、34ページなのですが、土木施設の災害復旧、そこは担当課長とも話はしてあるんですが、確認のために伺いたいと思います。災害復旧工事ですね、総額で5千779万円計上されております。国庫支出金が4千万、起債が3千220万円、トータルすると7千220万円になります。これが後のほうで5千779万円。一般財源の方に1千410万1千円、意味の分からないのが入って、私の頭では理解しがたいのがありまして、課長とも話しましたんですが、そこらへん、今災害の査定もしていますので、今後どのように処理するのか、また財政の方から説明をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

15ページの委託料の中でB&G海洋センター体育館改修事業515万円と工事請負費15節の方でB&G海洋センター体育館改修事業4千635万円が計上されております。それについてはご説明します。皆さんご存知のとおりB&Gの海洋センターは楽天のキャンプのときですね、バッティングゲージとして活用されております。ただ施設の現状は雨漏りが激しくて、今の状態では使えない状況であります。

地域の皆さんからも改修して、そこを日ご

ろからキャンプだけじゃなくて、日ごろから少年野球や中学生の野球、老人のグランドゴルフ等に活用できるようにという要望がございました。それでB&G財団本部の方ともいろいろ調整をしまして、取り敢えず、屋根の板金の補修と防水工事、それから外壁の塗装工事、そして床面の内部の人工芝を貼るというような改修を今予定しております。それについては沖縄振興特別調整交付金を活用して、今計画をいたしております。

それから、災害対応費については後ほど建設課長から詳しい経過については、ご説明いただくとしまして、財政担当課長として点検不十分でございまして、起債が過充当との状態になっております。それで大変申し訳ないんですが、今回はこれでご承認いただいて、次の補正で、この分を減額をお願いしたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

盛本寛建設課長。

○ 建設課長 盛本寛

結果としては、今総務課長が答弁したとおりでございます。元々は、7千万ぐらいの事業費で調整したなかで、起債充当が3千200万ということでやってたんですけれども、その後、事業費に減額が生じて、現在その5千779万9千円でやったんですが、その流れのなかで起債も本来は減額するべきだったんですけども、気が付かないで、そのままの状態でおいたもんですから、結果として一般財源が1千400万円の減額が生じるということになっております。

今日、査定があつてほぼ事業費が決定しますので、次の議会で、そのへんの数字を変更したいと思いますのでよろしくお願いま

す。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

災害の工事費については、今後こういうことがないように、次期補正で適正に処理してほしいと思っております。

それからB & Gの体育館の補修工事についてなんですが、体育館については22年度ですかね、前にも議会の方でも取り上げられたと思うのですが、その時の人工芝を張ると言うことで、町長答弁では当分の間は金を掛けしないで耐用年数の問題のある等々の答弁もなされていますが、その鉄骨の耐用年数とそういうのも十分調査してこの工事を執行するのでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

総耐用年数も見込んで計算しております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

私としてもこういう事業は町民のために、楽天は1か月弱ですよ、使うのは、あとはその他大学の野球とか社会人も来ますので、そういうふうに管理して充実してやることは非常に大事なことだと思いますので、そこらへん、あと何年耐用年数があるがということになりますよね、5千万近くかけて、どれだけ使用できるかというのもありますので、そこらへんどういう考えかお願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

まずこの施設については、B & G財団から無償譲渡受けておりまして、それを使わないなら完全に撤去するという条件なんです。それをいま撤去するとなるといろいろ撤去にも費用が掛かるし、あとはキャンプにも支障が出るわけでございまして、それをどうにか財源を捻出できないかということで考えております。設計士に専門家に見て貰ったら、駆体の方は頑丈に出来ているということでありまして。今回補修してあと暫くは大丈夫だということですが。ただ屋根の部分については、あと何年大丈夫かはっきり何年ということは難しいところがあると、ただ頑丈な鉄骨で作られておりますので、今回溶接の補修を含めてやりますので当分の間は大丈夫だろうと考えております。

○ 議長 喜久里猛

玉城議員は質問は3回になりましたので、特にあと1回だけ許可します。

○ 13番 玉城安雄議員

今屋根の方の話がありましたが、何年が前でしたかね、3、4前に屋根の補修した経緯があるんですが、塩害でトタンです。鉄骨の部分は大丈夫です。このトタンが錆びて穴が開いて雨漏りしている状態なんです。そこらへん今度の工事で材料とか頑丈なものを使って頂いて、長く使えるような感じで、取り換えたらずぐ4、5年したらまた錆びてダメだったということにならないように、設計士と調整してお願いしたいと思います。また発注の方も地元優先でお願いしたいと思いますのでよろしく申し上げます。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

屋根の今回の補修につきましては板金が痛んでいるところについては切り取って溶接補修いたします。前回の補修工事の時はシートを張って、その上から防水塗装をするという工法でしたが、今回は板金そのものを切り取って板金補修したうえで防水の塗装をするという方法で考えております。

工事の発注につきましては、基本的には地元発注ということでございます。ただ今回は特殊な工法の部分がございますので特殊な方法をどうするかということは若干また検討が必要かと考えています。今現段階でははっきり申し上げられません。特殊な部分は出来る業者しかできませんので、あと一般的なのは当然地元発注で考えています。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

まずは予算の全体的な答弁の金額からですが、今回繰り上げ金1億円あまり、そして特別交付税が2億4千万から4千万約2億8千万、これは前年と比較してどうでしょう。といいますと非常にそれだけ見ますと窮屈なんで、ちゃんとした今の時点で特交を見込めるかどうかひとつお願いします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

交付税の当初予算の組み方としまして、推計を出す仕組みがございまして、その推計とあと前年度の実績を勘案して当初予算で留保財源を確保しております。留保財源というのはそれは交付税の算定は数千万円単位で増減しますので、それに備えたものと、補正財源を見込んでやっております。その留保財源が

当初予算で約2億円、普通交付税については2億円、留保しています。その一部を今回の補正財源にあてるということです。特交につきましては8千万円ほど留保財源を当初予算で見込んでおります。その半分を今回補正であてているということでございます。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

次に、16ページのハワイアンフェスティバル開催事業。これはどういった開催内容なのか、時期的なもの、場所、お願いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

これについても観光協会が事業主体となりますが、これまでやっている事業では、3リゾートホテル、そこで実施しています。今回これの予算活用して、またもう少し強化して取り組みたいということでやっています。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

これは団体助成ですか、例えばフェスティバルを開催しますので、そこで使う備品だとか、消耗品だとか、そういったものですか。個人個人にいくものか、団体の助成なのか見えてこないものですから。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

いま細かいところの予算の打ち明けは把握していませんが、ハワイアンの招聘する人件費とか、そういう感じの予算だと思うんですが、ちょっと細かいところの予算の経費を把



握しておりません。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

33ページの運動公園管理委託料97万9千円を計上されております。これについて3点ほど質問いたします。

1点目は運動公園料管理委託対称カ所、2点目はその中にパークゴルフ場も含まれていると思いますが、パークゴルフ場の植栽について、いま寂しいぐらいの木が存在していますが、そういったところには防潮・防風林は植えたうえでしっかりとした花木等の植林するという考え方はないか。3点目は久米島の固有の花木があります。そのほかにギョボクとか、ギョボクというのはアジサイと似ていて赤と黄色のものが 있습니다。そしてオキナワサザンカ、これは久米島にもいっぱいありますが、表に出ていない。そういったところの活用はないかどうか、予定されてないかどうか、それをまず伺います。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

私からは最初の運動公園の委託箇所をお答えします。久米島球場、そしてグラウンド、ホテルドーム、仲里の野球場、そしてグラウンドそしてBGのプールを含めた施設の管理の部分です。パークゴルフ場は現在、全部完成しておりませんので環境保全課のいま管理となっております。

○ 議長 喜久里猛

盛本寛建設課長。

○ 建設課長 盛本寛

パークゴルフ場の植栽ですが、たしかに少

ないような感じなんです。植栽を増やして防風林とか、そういうものを含めて出来ないかどうかを検討したんですが、事業費の中では、それぐらいの植栽しかできなかった。2期工事に関してもだいたい同じような樹種の計画でいま進めています。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

なぜパークゴルフ場を例えていったのかというと、いま植栽しているクメクレナイについても僕は向こうの場所では持たないだろうとみています。理由、塩害がすごいです。風もすごい。そして昨日も一般質問でやりましたけれども、築山というのを海岸線に作ってからそこで防潮・防風林を植栽したうえでやらないと持ちませんよということです。築山というのはご存じですが、日本庭園の中で山造ってそこで植栽して眺めるというようなものからでているわけです。そういったものをパークゴルフ場のみならず海岸線の例えば、ドーム、そういったものは津波対策にもなるし景観もよくなるしと、こういう観点からの発想をしないと、単なる作って置くだけ、さみしい限りだなというようなことであります。ギョボクの話をしました。これも子供の好きなツマベニ蝶の餌なんです。この幼虫もハブに似てカマチをあげるわけですね。それからオキナワサザンカについても臭いがいいんです。そういったものが久米島にいっぱいある。いっぱいあるんだけど単なるコンクリートだけでは護岸を作ってそれで終わり、ということで非常に景観が壊されてきている。そういう景観を復活されるための、これ町長どう考えているか意見を聞きたいと思ってお

ります。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

パークゴルフ場については、すべて完成したあと、海岸沿い、あるいはそこはウォーキングコースにもなりますので、逐次そこらへの植栽は考えていこうと思います。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

ぜひ久米島にはクメクレナイの他、ヤブツバキ立派なものがあります。クメシロもあるし、そういったものを公園の中に植えていくというような発想で、ぜひ対応をして頂きたい。

○ 議長 喜久里猛

他に質疑ありませんか。

1番棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

18ページの総務費の選挙費なんですけど、県議会議員選挙の費用として計上されて、これは終わっておりますが、今年は8月に公選法適用される海区漁業調整委員会の選挙、これが予定されております。町の方にもこれから連絡が来ると思います。その予算が組み込まれてませんが財政課の方で説明をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

海区漁業調整委員選挙の費用につきましては、当初予算で計上されております。

○ 議長 喜久里猛

1番棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

25ページの漁港建設費、これは補正で860万円増額されております。これにつきましては漁港整備、どこの漁港整備でしょうか。

○ 議長 喜久里猛

盛本寛建設課長。

○ 建設課長 盛本寛

工事費は儀間漁港の沖防の工事費となっております。

○ 議長 喜久里猛

1番棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

先ほども質問がございましたが、33ページの保健体育施設費のパークゴルフ場の需用費の方で、消耗品費これが129万8千円、それと備品購入費38万7千円計上されております。これについて説明お願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

ただいまの質問にお答えいたします。パークゴルフ場の消耗費につきましては、3月までの肥料代と農薬代になります。

備品購入費につきましては、エッジカッターが15万8千200円。エッジカッターといいますと、グリーンの周りの芝をきれいに刈っていく機械になります。そしてブロードカスターはトラクターに装着して肥料を撒く機械になりますので、それはまた野球場と兼用で使っていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

棚原哲也議員は3回になりました。あと1回だけ許可します。

○ 1番 棚原哲也議員

35ページに地方債の補正、これの起債の方

法なんです、借入方法、それから利率が10%以内とありますが借入先につきまして、町の指定金融機を利用されるのか、そのへん説明お願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

借入先につきましては、いろいろございまして国の財政融資と市町村の金融機構というのがございまして、そことあと縁故債というのがございまして、縁故債というのは一般の市中銀行です。それぞれ何カ所か、この3カ所が主にございます。その中で調整しながら借入先を決めていくということになります。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午前11時55分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前11時56分)

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

25ページからお願いします。工事請負費で中山間地域総合整備工事と思うんですけど、どの辺の工事ですか。

それと、これは先ほど幸地議員も質問していましたけれど、ハワイアンフェスティバル、産業振興課長は細かいところはわからないいう感じがしておっしゃっていたようなんですが、これは団体は役場じゃないですね、役場が直接はやってませんよね、どこかに補助しているんでしょう。その補助の申請した団体と運営主体を、お願いします。

○ 議長 喜久里猛

盛本寛建設課長。

○ 建設課長 盛本寛

中山間地域総合整備事業の施行箇所は、字具志川と仲村渠の地域に入ります。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

ハワイアンの実施については観光協会が事業実施主体になっております。観光協会が主体になって、実施する場所が3つのリゾートホテルです。その中の、経費が内訳が手元に持っていないということです。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

私達もいろいろ団体を持っておりますので、補助金の申請にはちゃんとやっています。それには細かくどういうものにはいくら掛かるというものにはいくら掛かるとちゃんと出します。ですから課長もそういう中身までよくわからないと補助金は出来ないと思います。ただ観光協会に出してますじゃなくて、この110万、これが島外から来る出演者に払われているのか、どういうものに使うから110万必要なのか、その理由があると思うんですよ。そういうところがわからないと。ハワイアングループも久米島にもいるんですよ。久米島にもハワイアングループがあって、そうとう練習してますね。この人達は1回もでたことがないですね。このフェスティバルにはよ。那覇からは5、6のグループが来てますね、課長もご覧になっていると思うんですけど、そういうグループがきてます。これに払われているのか、それともそれ以外のものに払われているのか、そういうところわからないですか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

内訳の資料が持ち合わせていなくて説明できないんですが、いま説明したハワイアンの参加者の報償費というか、その会場設営費とか消耗費とか、そういった部分でつかわれると思うんですが、いま説明資料の分を持ち合わせてなくて、細かいところを説明できないんですが、後ほど、その部分は説明したいと思います。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

これはお願いもあるんですが、私もこのフェスティバルには行ったことがあります。ありますが観光客を対象にしているのか、それとも島の人を対象にしているのか、両方対象にしているかもしれませんが、あまり予算掛けている割には参加者というんですかね、見物人、この祭りに参加する人が少ないような気がするんですよ。ですからこういう補助を出すでしたら、もっと呼びかけしてサイプレス、アイランド、イーブビーチホテル3カ所でやっているみたいですが、もっと呼びかけて多くの人に解かって貰わないと、ややもするとこれ3ホテルで、ホテルだけでお金をだしてやっていると考えている方も多いですよ。リゾートホテルが共同でお金を出し合っ、て、ですからそういうところは開催するときには、もっと大きく宣伝して呼び込みも図ったほうがいいと思います。できたらこういう予算審議の場合は細かい要望書を持ってきて答弁してください。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

2点ほど、大綱引きが復活するというところで、いつぐらいやるとかは聞いているんですけど、どうかたちで、まえ僕がみた具志川の大綱引きはすごかったんです。これは西銘と仲地が中心になってやっていました。僕も中に入って大変ですよ、準備が、今回復活したらどのように考えているのか。

もう1件は堆肥センター、民営化ありきで話しておりますが、なんで民営化に急ぐのかその理由もお願いします。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

綱引きの件につきましては、以前、旧具志川村でやってた綱引きの形態、実際は西銘と仲地を中心に今回、合併をして協力できる方もたぶん多くなると思うんで、西銘と仲地を基本としたい。そしてそこを町民全員で協力するというので進めたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

堆肥センターの運営については、これまで町が3年間、やって運営してみると700万から800万赤字を出して運営しているということは、臨時職員で対応して実際に技術的な部分の問題もあるんじゃないかと思います。堆肥センターを実際運営しているところが黒字経営で運営できているというノウハウを活かして、これが民間運営で実際に専門的な部分で運営した方が島のためにもよくなるんじゃないかということで考えております。財政的な問題もそこらへんで改善がはかれるんじゃないかということで民間委託を考えておりま

す。

○ 議長 喜久里猛

10番 饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

綱引きの件なんですけど、僕、綱引きのやり方ですね、宜野湾の大山の綱引きをみたんですよ、あれはそうとう特徴のある綱引きなんです。ぜひ復活するんだったら、あの綱引きも1回は視察行ってみた方がいいと思います。

それと堆肥センター、民営化より経営努力の方に力を入れてやった方がいいと思うんです。民営化3年やってすぐ民営化するということは、あんなお金かけて、できないから民営化にしましょうと、とても責任のない話だと思います。それに対してお願いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

先ほども説明したとおり民営化するには民営化の堆肥センターの製造の経験がノウハウがかなり蓄積されていると思っています。町でやるとどうしても臨時職員で対応をしているという状況で、職員を採用して運営してもやはり今までの状態では赤字を抱えて運営しないといけないという状況があります。そういうことも踏まえて民間のノウハウを活用して堆肥センターを運営したほうが、今後島全体のためにもいいんじゃないかという判断で民間運営委託をやっていきたいと考えています。

○ 議長 喜久里猛

10番 饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

今話を聞いていたら、島にはノウハウが

思っている業者はいないんですよ、いま課長が言っていることは、結局、那覇の業者にさせるというようにしか聞こえないですよ。もし民営化した場合は。島で堆肥工場を持ってやってる人もいないし、そういう業者もいないです。今の話では民営化になったときは確実にノウハウを持っている那覇の業者が入ってきてやるような話ですよ。それは納得できるような話ではない。もし、やるのであれば4、5年かけてノウハウを民間ができるようにやってから下ろした方がいいと思います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

公募については、あくまでも島内を対象に公募しますが、島内の人で運営をやるにしてもノウハウをもっているところの提携とか、そういう方法もありますので、必ずしも島内にいないからということではなくて、そういうものもできる方向があるんじゃないかということ考えております。

○ 議長 喜久里猛

饒平名議員は3回超えましたが、1回だけ発言を許します。

○ 10番 饒平名智弘議員

これ民間から那覇の業者とか技術的なものはもらえないのですか、お願いして。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

これも含めて、本島でそういったノウハウ、実績、経験、指導も想定して、今、考えております。

○ 議長 喜久里猛

これで饒平名議員の質問を終わります。  
質疑終わりたいと思いますが、よろしいですか。ほとんどの方やったみたいで。

それでは質疑を終わります。

討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

賛成ですか。反対ですか。

○ 13番 玉城安雄議員

賛成の立場から討論します。

○ 議長 喜久里猛

反対討論はありませんか。

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

若干、第2号、補正予算、災害復旧工事において、数字のマジック的なものがありましたので、そこらへんは、次回補正で金額が確定次第、訂正するという事で答弁を承りました。

それから一括交付金、昨日の新聞等にも載っていました。なかなか初年度ということで、交付金決定がなかなか進まないということもあります。今日の冊子にも46行にありますね。早めに事業計画を取りまとめていただき、申請、提出していただき、年度内に執行できるように、よろしくお願ひしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

他に討論はありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第30号、平成24年度久米島町一般会計補正予算（第2号）についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成

の方は挙手願ひます。

（全員挙手）

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第30号、平成24年度久米島町一般会計補正予算（第2号）については、原案のとおり可決されました。

日程第13 平成24年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第1号）について

○ 議長 喜久里猛

日程第13、議案第31号、平成24年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第1号）についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

（大田治雄副町長登壇）

○ 副町長 大田治雄

議案第31号、平成24年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第1号）の概要についてご説明申し上げます。

予算書の1ページをお開き下さい。平成24年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第1号）予算概要は歳入歳出それぞれ1千490万4千円を増額し、総額3億1千136万4千円と定めます。

主な概要についてご説明申し上げます。予算書の6ページをお開き下さい。

歳入としましては、3款1項繰入金で1千890万4千円を増額。

6款1項町債で400万円の減額となっております。

続きまして、予算書の7ページ、歳出に移ります。歳出としましては、下水道事業費の4節共済費で、定期人事異動に伴う人件費の

組み換え、7節賃金で不明水及び不正接続調査業務のため312万9千円の増額、11節需用費の修繕費で集中豪雨等による機械修繕のため1千25万5千円の増額となっております。

以上が、平成24年度下水道事業特別会計補正内容となっております。

平成24年6月13日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしくお願ひいたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

6ページの過疎対策事業債というのがありますが、これ借金してのことではありますが、久間地川の上流の方、これ一帯の下水道について、直結するような、施行している所、まだ実施されていない所、これについて今後どのようなかたちで、施行できるように構想があるのか。その理由として、やはり久間地川一帯というものは仲地川も含めて、そういった下水処理を非常に良くすれば、このホテルが非常に再生できると、昔みたいに五枝松がイルミネーションみたいに集るとこういうような。

○ 議長 喜久里猛

宇江原議員、過疎対策事業費と関連に結び付かないような気がするんですが…。

○ 5番 宇江原総清議員

結び付くと思うんですが、要は、これについて、そういうような対策というようなかた

ちで、対策費を増やして、まだ未施行のところを実施できるようなかたちで、やっていただきたいということですよ。

○ 議長 喜久里猛

回答は、結ばないのを、どうするのかの回答でいいんだよね。まだ結ばれていない部分をどうするかという回答でいいんですよ。

○ 議長 喜久里猛

又吉敏雄上下水道課長。

○ 上下水道課長 又吉敏雄

お答えします。現在、すでに接続の地域については、久間地川一帯だけではなくて、イーフ含めて該当します。そのところについては、今、強制力がないものですから、お願いやっている途中であります。これからは、今、現に接続率を60%台しか達していないので、その接続の協力について、強力に進めていきたいと思っています。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

これについて年寄りが多いと思います。その方々にお金を長期間にわたっての貸付をして対応できないかということも含めて考えているかということです。

○ 議長 喜久里猛

又吉敏雄上下水道課長。

○ 上下水道課長 又吉敏雄

町では接続に対して、無利息の貸付もやっております。これについては、手続きやって月々いくら払いなさいと、利息無しで徴収していく方法ですが、そういう感じで貸付もをしておりますので、そういうのもピーアールしていきたいと思っています。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

(全員挙手)

○ 5番 宇江原総清議員

仲地川、久間地川一帯の地域の人たちに今のことを十分に説明して早めに接続、施行できるようなかたちをとってもらいたいということで、質問終わりますが、それに対してどういう方法を考えているのかと地域住民に対する説明ですよ。特に山里地域とかを含めてのモデル地域として、考えていないかということ。

○ 議長 喜久里猛

又吉敏雄上下水道課長。

○ 上下水道課長 又吉敏雄

これについては、個人名で文書を作成して、例えば、大岳工区でしたらカンジンに流れていきますので、カンジンが汚染されます。汚染されたら、その畑灌水は地域の畑に持っていきますので、この汚染を防ぐために、その地域は協力するようにとのことも、貸出のことも含めて個人名で通知をしております。

○ 議長 喜久里猛

これで宇江原総清議員の質問を終わります。

他にありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第31号、平成24年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第1号）についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第31号、平成24年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第1号）については、原案のとおり可決されました。

日程第14 久米島町固定資産評価審査委員会委員の選任について

○ 議長 喜久里猛

日程第14、同意第2号、久米島町固定資産評価審査委員会委員の選任についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

同意第2号、久米島町固定資産評価審査委員会委員の選任について。

下記の者を久米島町固定資産評価審査委員会委員の選任したいので議会の同意を求め

記

住所 島尻郡久米島町字儀間148番地

氏名 日高清有

生年月日 昭和27年3月6日

平成24年6月13日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

久米島町固定資産評価審査委員会委員の高江洲一雄氏が平成24年6月30日付けをもって任期満了となるに伴い、日高清有を専任するため、地方税法第423条第3項の規定により議会の同意を得る必要がある。

これがこの議案を提出する理由であります。



す。

次のページに、本人の略歴書と刑罰等の調書が添付してあります。

よろしくご審議お願い申し上げます。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

2番幸地猛議員。

賛成ですか。反対ですか。

○ 2番 幸地猛議員

賛成です。

○ 議長 喜久里猛

反対者の意見ありませんか。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論ありません。

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

今回、提案されています。同意第2号に賛成の立場から討論をいたします。

今回、専任されています日高清有氏は、次のページにもあるとおり、非常に行政経験が豊富で適任者だと思いますので、この同意案件に賛成します。

○ 議長 喜久里猛

他に討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから同意第2号、久米島町固定資産評価審査委員会委員の選任についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、同意第2号、久米島町固定資産評価審査委員会委員の選任については、原案のとおり可決されました。

日程第15 教育委員会委員の任命について

○ 議長 喜久里猛

日程第15 同意第3号、教育委員会委員の任命についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

同意第3号、教育委員会委員の任命について。

下記の者を教育委員会委員の任命したいので地方教育行政の組織及び運営に関する法律、第4条第1項の規定により議会の同意を求める。

記

住 所 久米島町長字比嘉88番地

氏 名 儀間剛

生年月日 昭和41年5月11日

平成24年6月13日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

現教育委員の松本一也氏の任期満了に伴う後任委員を任命するため地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定に

より、議会の同意を得る必要がある。

これがこの議案を提出する理由であります。

次のページに本人の学歴表を添付してあります。その次のページに証明書を添付してあります。

よろしくご審議をお願いいたします。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

まず、はじめに原案に反対者の発言を許します。

発言ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

次に提案に賛成者の発言を許します。

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

同意3号に提案されております教育委員会の任命について、ここに上げられております儀間剛氏は、次のページの下の方にありますとおり、現在、仲里小サッカークラブにも関係しております。久米島高校PTAの会長でもあります。そして私たち比嘉の会計責任者としても、約7年になりますが、非常に責任感の強い方でもあります。人格的にも優れていますし、適任者だと思いますので、賛成の立場から同意いたします。

○ 議長 喜久里猛

他に討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから同意第3号、教育委員会委員の任命についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、同意第3号、教育委員会委員の任命については原案のとおり可決されました。

日程第16 平成23年度久米島町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

○ 議長 喜久里猛

日程第16、報告第1号、平成23年度久米島町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

報告第1号、平成23年度久米島町一般会計繰越明許費繰越計算書について、地方自治法施行例、第146条第2項の規定により、平成23年度久米島町一般会計予算の繰越明許費にかかる繰越計算書を調整したので別紙のとおり報告する。

平成24年6月13日提出

久米島町長 平良朝幸

次ページをお開き下さい。大枠の中でそれぞれ項目、9つの事業が今回の該当する事業

であります。

合計額におきまして、5億4千333万円となっております。

以上が今回の明許繰越金の詳細となっております。

ご審議よろしくお願いいたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

以上で本日の議事日程は全て終了しました。

会議を閉じます。

6月13日、昨日から始まった平成24年第3回久米島町議会定例会は予定されておりました全議案が議員各位並びに執行部のご協力により無事終了することができました。ここに深く感謝申し上げます。

これにて平成24年第3回久米島町議会定例会を閉会します。

お疲れさまでした。

(閉会 午前12時31分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 喜久里 猛

署名議員（議席番号13番） 玉城 安雄

署名議員（議席番号1番） 棚原 哲也